

事務事業及び予算の執行実績 (令和6年度分「一部、令和7年度分を含む」)

静岡県立天竜高等学校

(本校) 浜松市天竜区二俣町二俣 601

電話 (053)925 - 3139 (代表)

F A X (053)925 - 7422

(春野校舎) 浜松市天竜区春野町堀之内 284

電話 (053)985 - 0306 (代表)

F A X (053)985 - 0848

目 次

事務事業の概要	3
事務執行の根拠法令調	37
学校施設の概要	38
在籍生徒調	43
入学志願者及び入学者数調	44
卒業生の動向調	45
生徒の状況	47
歳入予算執行状況調	49
県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調	52
授業料収納状況調	53
現金出納調	57
保管現金有高調	59
預金調	59
郵券等受払調	60
材料品受払調	61
歳入歳出外現金調	62
歳出予算執行状況調	64
委託料等歳出予算執行状況節別集計表	70
委託料等歳出予算執行状況節別集計表	71
委託料に関する調	72
負担金支出調	75
公有財産調	78
借地借家等調	80
事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調	84
行政財産貸付・使用許可調	85
普通財産・借受財産等貸付調	89
備品・図書調	90
主要備品調	98
動物管理状況調	100
生産物受払調	101
職員調	102
職員の年齢調	106
健康管理	107

事務事業の概要

1 概況

(1) 学校の沿革

ア 学校の前史

(ア) 静岡県立天竜林業高等学校（浜松市天竜区二俣町二俣 601 番地）

- 大正13年4月2日 二俣町立二俣実業補習学校として開校
- 昭和2年4月1日 静岡県立二俣林業学校と改称
- 昭和3年4月1日 静岡県立天竜林業高校と改称
- 昭和4年4月1日 静岡県立二俣高等学校と統合し、農業部となる。
- 昭和6年4月1日 静岡県立天竜林業高等学校として独立
- 平成5年4月1日 生産流通科・環境システム科・建築デザイン科・情報経営科となる。
- 平成15年4月1日 生産流通科を森林科学科に改編
- 平成26年3月31日 静岡県立天竜林業高等学校閉校

(イ) 静岡県立二俣高等学校（浜松市天竜区二俣町二俣 196 番地-2）

- 大正4年4月1日 二俣町立実科高等女学校として開校
- 大正8年6月12日 二俣実科高等女学校と改称
- 大正12年4月1日 静岡県立二俣高等女学校と改称
- 昭和2年4月1日 県立移管、静岡県立二俣高等女学校と改称
- 昭和3年4月1日 静岡県立二俣高等学校と改称
- 昭和4年4月1日 静岡県立天竜林業学校と統合し、普通部・農業部を設置
- 昭和5年4月1日 水窪分校を設置
- 昭和33年4月1日 定時制課程に商業課程を設置
- 昭和34年3月31日 水窪分校を静岡県立佐久間高等学校に移管
- 昭和35年4月1日 家庭課程を廃止
- 昭和60年3月31日 定時制課程を閉課
- 平成26年3月31日 静岡県立二俣高等学校閉校

(ウ) 静岡県立春野高等学校（浜松市天竜区春野町堀之内 284 番地）

- 昭和24年1月13日 静岡県立周智農業高等学校の犬居分校（町立）として創立
- 昭和24年4月1日 本校の改称に伴い、静岡県立周智高等学校犬居分校（町立）と改称
- 昭和28年4月1日 本校の改称に伴い、静岡県立周智農林高等学校犬居分校（町立）と改称
- 昭和39年4月1日 昼間定時制課程農業科・家庭科から昼間定時制普通科に変更
- 昭和42年4月1日 県立移管、静岡県立周智農林高等学校春野分校と改称。課程が定時制課程普通科から全日制普通科に変更
- 昭和43年4月1日 本校の改称に伴い、静岡県立周智高等学校春野分校と改称
- 昭和55年4月1日 静岡県立春野高等学校として独立
- 平成26年3月31日 静岡県立春野高等学校閉校

イ 本校の設立経緯

- 平成17年3月29日 「静岡県立高等学校第二次長期計画」公表
- 平成22年4月1日 天竜地区新構想高等学校（仮称）設置準備委員会設置
- 平成24年4月1日 天竜地区新構想高等学校（仮称）開校準備委員会設置
- 平成25年3月28日 静岡県立学校設置条例の一部改正により、校名が「静岡県立天竜高等学校」に決定
- 平成25年4月15日 「静岡県立天竜高等学校春野校舎」の名称が決定

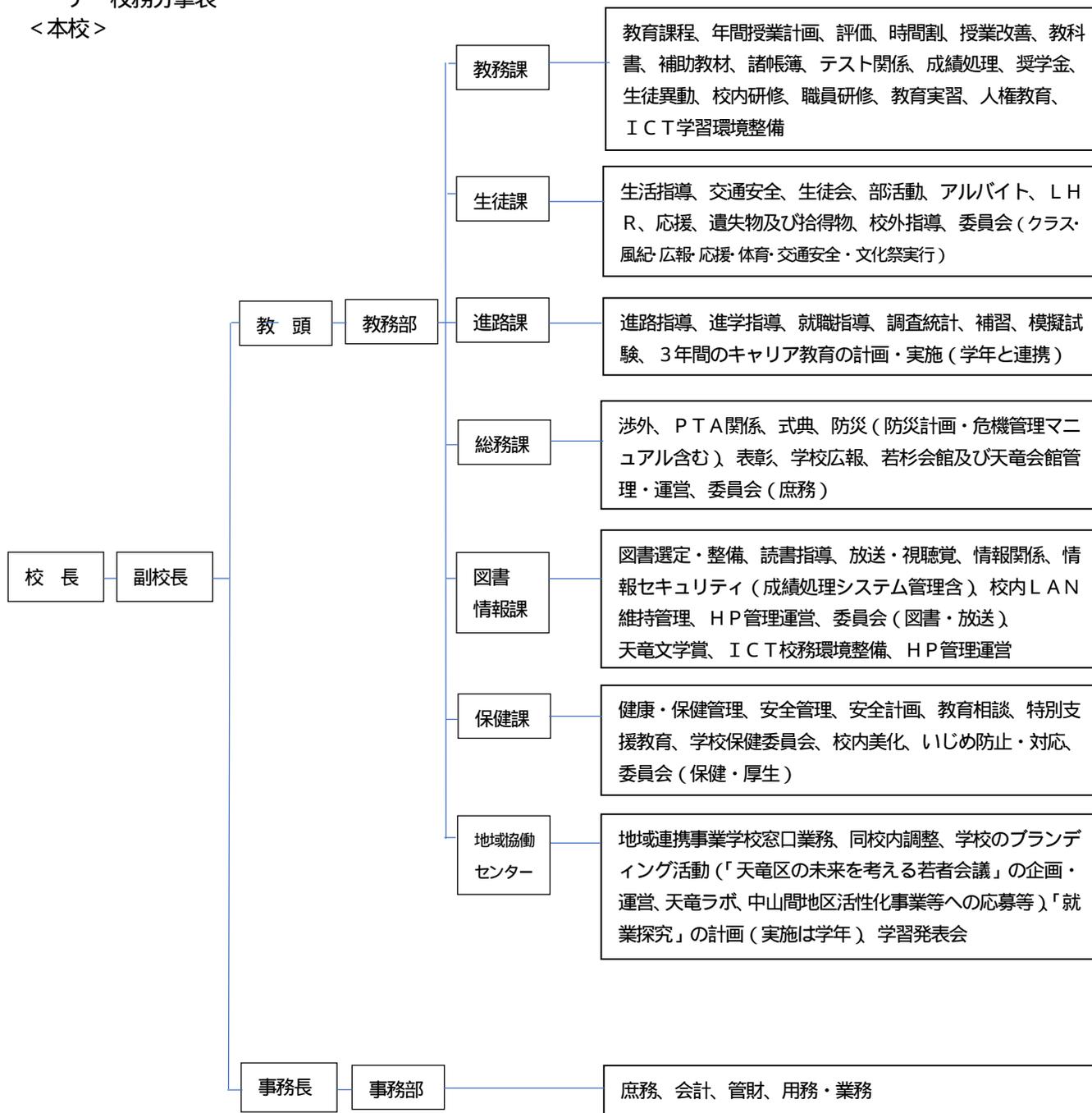
ウ 本校の沿革

- 平成26年4月1日 静岡県立天竜高等学校開校 農業科（森林科・環境科）定員 80 人、総合学科定員 160 人
- 平成26年4月1日 静岡県立天竜高等学校春野校舎開校 普通科定員 35 人
- 平成26年4月7日 開校式挙行
- 令和3年4月1日 静岡県立天竜高等学校 農業科（森林・環境科）定員 40 人
- 令和5年4月1日 静岡県立天竜高等学校 総合学科定員 120 人、福祉科定員 20 人
- 令和7年4月1日 静岡県立天竜高等学校 総合学科定員 80 人

(2) 組織図

ア 校務分掌表

<本校>

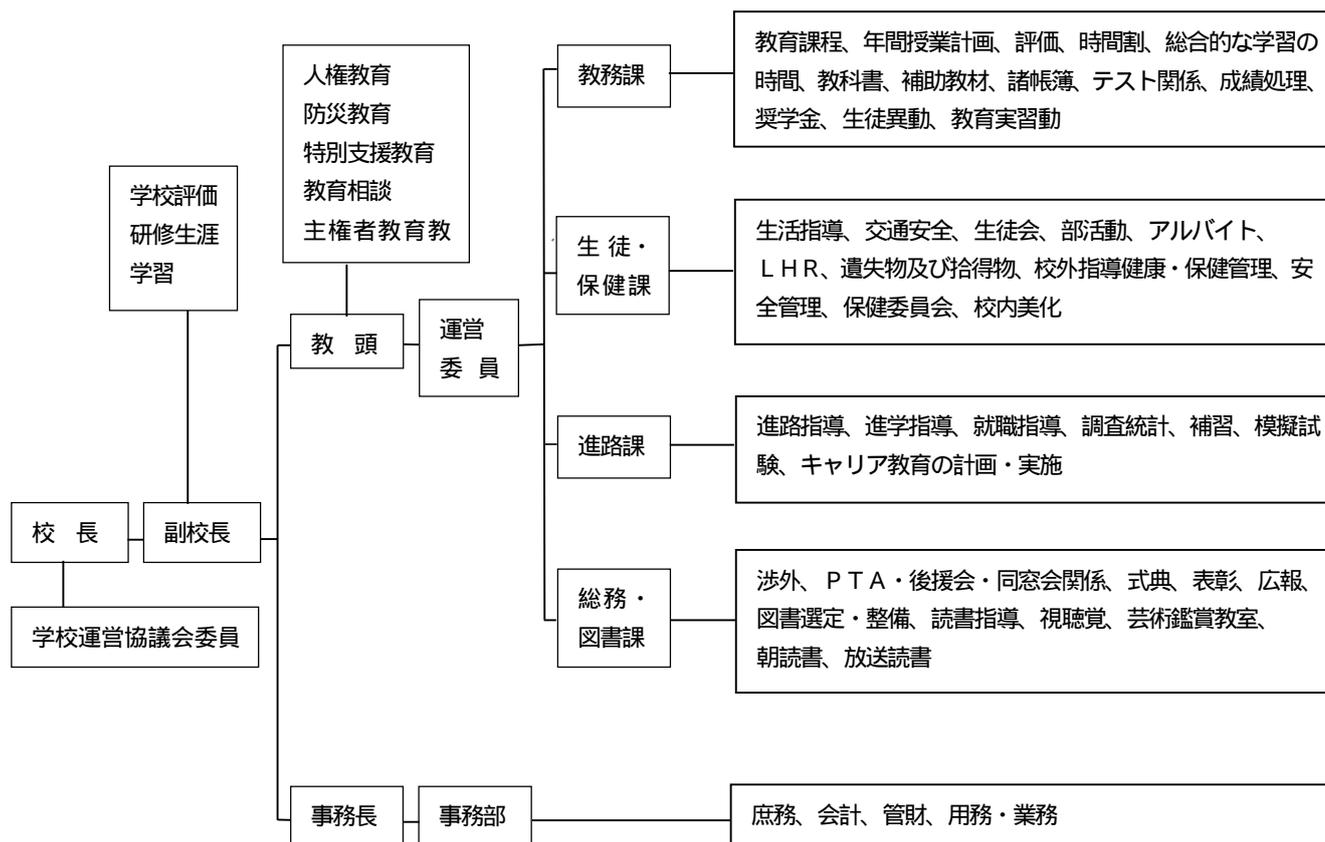


各種委員会

	委員会名	内容
1	運営委員会	校務全般、行事検討
2	教科主任会	授業、教育課程検討
3	部活動運営委員会	部活動の在り方検討
4	修学旅行検討委員会	修学旅行
5	施設開放・活用委員会	天竜会館、若杉会館、バス
6	奨学金審査委員会	奨学金
7	学校保健委員会	学校保健
8	職員安全衛生委員会	職員の健康衛生保持
9	特別支援教育委員会	特別支援教育

	委員会名	内容
10	教育相談委員会	教育相談
11	いじめ防止対策委員会	いじめ防止対策
12	コンプライアンス委員会	不祥事防止、保護者相談対応
13	総合学科推進委員会	「産業」「総探」の企画・運営
14	天竜高校改革推進プロジェクトチーム	天竜高校の在り方・魅力化検討
15	地域協働委員会	地域の連携の推進
16	カリキュラムマネジメント委員会	学習発表会の運営、学科間連携等
17	広報委員会	本校の魅力発信、生徒募集
18	ICT推進委員会	教育活動のデジタル化推進、業務改善

<春野校舎>



各種委員会

	委員会名	内容
1	運営委員会	校務全般
2	学校保健委員会	学校保健
3	職員安全衛生委員会	職員安全衛生
4	交通安全委員会	交通安全
5	生徒サポート委員会	生徒支援
6	いじめ対策委員会	いじめ対策
7	学校運営協議会	学校評価

	委員会名	内容
8	教育課程検討委員会	教育課程
9	図書購入委員会	購入図書選定
10	コンピュータ委員会	情報システム、学校HP管理・運用
11	修学旅行(行事)検討委員会	修学旅行(行事)検討
12	部活動検討委員会	部活動の改廃
13	コンプライアンス委員会	不祥事防止、保護者からの権威対応
14	探究推進委員会	地域学等、探究活動推進

2 目指す学校像

<本校>

(1) スクール・ミッション

天竜地区における地域人財、専門人財育成の拠点校として、地域の企業、大学、団体等との連携・協働を通して、地域の自然や文化を愛し地域の発展に貢献するとともに、自らの目標に向かって粘り強く努力し未来を切り拓くことができる人財の育成を目指す。

(2) スクール・ポリシー

地域の未来を創造し、明日を創る竜になる3つの「人財」を育てる。

天竜高生が付けたい8つの力を備え、物事を探究しようとする「人財」

自己実現を目指して、常に努力し続けようとする「人財」

自己や他者、地域の自然や文化を尊重し、社会に貢献しようとする「人財」

個々のニーズに応じた3つの「学」を提供する。

基礎的な知識・技能の習得と活用を促す「学」

他者と協働しながら目標の実現を促す「学」

地域との連携を通して、自分の成長を促す「学」

自分や人、生活する地域を大切に、何事にも誠実に取り組む3つの「ひと」を求める。

自然と向き合い、環境に関わろうとする「ひと」(森林・環境科)

人々と向き合い、他者と関わろうとする「ひと」(福祉科)

自分と向き合い、社会に関わろうとする「ひと」(総合学科)

【天竜高生が付けたい8つの力】

- ・理解力 書かれたものや話されたことを理解することができる。
- ・学力 高校生として必要な学力をつけることができる。
- ・リスペクト 自分や人、生活する地域を大切にすることができる。
- ・チームワーク 組織の一員として協働することができる。
- ・自律 自分をコントロールすることができる。
- ・コミュニケーション力 自分の考えを伝えることができる。
- ・向上心 目標を持ち、意欲的に努力することができる。
- ・適応力 様々な状況に適応することができる。

(3) スクール・ポリシー具現化の柱

ア 基本的な生活習慣を確立し、時間、マナー、ルールを守ることのできる生徒を育成する。(自律)

イ 爽やかな挨拶を励行するとともに、感謝の気持ちを素直に表現できる生徒、他の生徒の努力を認めることができる生徒を育成する。また、いじめ、迷惑行為、暴力行為を絶対に許さない雰囲気を醸成する。(リスペクト)

ウ 個々の実態に応じた学習指導の確立と、新学習指導要領を踏まえた授業改善を推進する。(学力・理解力・コミュニケーション力)

エ 授業、学習発表会、面接指導等を通じてコミュニケーション力を育成する。(コミュニケーション力)

オ 語彙力、理解力、集中力を高め、柔軟な人間性を育む読書指導を推進する。(理解力)

カ 個々の目標を明確にし、個に応じたきめ細やかな進路指導を推進する。(向上心)

キ 学校行事、ホームルーム活動、清掃、部活動に積極的に参加する生徒を育成する。(チームワーク)

ク ボランティア活動、校外活動に積極的に参加する生徒を育成するとともに、地域との連携、系列・類型間での連携を積極的に行う。(適応力、リスペクト、チームワーク)

ケ 生徒の学校生活を支えるため、健康教育活動を推進する。

コ 保護者、地域に信頼される学校づくりを推進するため、本校の特色や教育活動を積極的に情報発信する。

サ 教職員の資質向上を図るとともに、働き方に関する意識改革を推進し業務分担の適正化を図る。

シ 危機管理体制及び「命を守る教育」の充実を図る。

ス 効率の良い業務遂行、業務改善に努め、職員の適正なワークライフバランスの推進と安全・安心な教育環境の整備充実を図る。

<春野校舎>

(1) スクール・ミッション

一人ひとりの生徒を大切にするとともに、生徒が「信頼」「信用」「安心」して学ぶことができる天竜・磐周地区の普通科高校として、個に応じた教育、地域人材・企業・団体等との連携、協働による教育の推進を通して、夢や希望に向かって努力し自分らしく生きるとともに、人の役に立ち地域の文化・産業を支える人材の育成を目指す。

(2) スクール・ポリシー

教師と生徒の磨き合いによる「春野らしさ」を備えた3つの人材を育成する。

自己を実現するために、夢や希望に向かって努力し続けようとする人材

他者の役に立つために、自分らしさを発揮して成長し続けようとする人材

地域の文化・産業を支えるために、社会に貢献し続けようとする人材

生徒が「信頼」「信用」「安心」して学習することができる3つの学びを提供する。

徹底した個別指導により「わかる」を実現する学び

温かく落ち着いた環境により「できる」を実感する学び

地域との連携・協働により「なぜ」を追究する学び

自分・人・地域を「リスペクト」する3つの人を求める。

自分を大切にし、目標に向かって誠実に努力しようとする人

他者を大切にし、人々と誠実に関わろうとする人

生活する地域を大切にし、地域の課題と誠実に向き合おうとする人

(3) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 基礎・基本を重視した学習指導の徹底
- イ 基本的な生活習慣、規範意識の確立
- ウ 個に応じた進路指導の充実
- エ 部活動、特別活動、読書活動の充実
- オ 心身の健康の保持増進
- カ 信頼される学校づくりの推進と広報活動の充実
- キ 地域との連携、協働による探究活動の充実
- ク 危機管理意識の向上
- ケ 教職員の資質の向上と働き方改革の推進

3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

(1) 令和6年度の取組目標への評価及び成果と課題

<本校> [重点目標はゴシック体で記載]

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	基本的な生活習慣を確立し、時間、マナー、ルールを守ることのできる生徒を育成する。	問題行動発生件数(年10件以内)	R4年度 10件 R5年度 11件 R6年度 17件	C	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒課、学年、担任の連携ができた。 ・家庭と協力した関係性を持てた。 ・特別に全校集会を実施し、折に触れ校則やモラルの周知徹底を呼び掛けた。 ・問題行動発生件数は目標より7件多い17件であった。 ・多様な背景をもつ生徒への対応や予防的生徒指導が必要である。
		遅刻者数(前年比20%削減)	R5年度 670件 R6年度 870件	B	<ul style="list-style-type: none"> ・職員全体で指導をしているが、さらに様々な場面で時間厳守を徹底して指導していく必要がある。
		情報講座の実施(年1回) 使用状況調査導入	天竜警察署員による講話を実施した。 スマートフォン使用状況調査を実施した。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・警察署によるスマートフォン安全教室、間バイトの注意喚起を実施した。 ・スマートフォンの利用状況を調査し、結果を担当が面談等に活かした。 ・引き続き長時間使用や適切な利用への指導が必要である。

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
イ	爽やかな挨拶を励行するとともに、感謝の気持ちを素直に表現できる生徒、他の生徒の努力を認めることができる生徒を育成する。また、いじめ、迷惑行為、暴力行為を絶対に許さない雰囲気を醸成する。	朝の特別挨拶運動（年5回）	毎朝風紀委員が当番制で行ったが、特別強化日は設定しなかった。	B	<ul style="list-style-type: none"> 毎朝の挨拶当番の生徒が意欲的に挨拶していた。生徒が自然な挨拶をするようになってきている。 学期始めと学期末に当番の人数を増やすなど、更なる生徒全体の意識の向上を目指す。
		いじめ防止等の指導方法を学ぶ	人権教育に関する研修を実施した。	B	<ul style="list-style-type: none"> 折に触れ、他人を尊重する大切さ等について生徒に呼び掛けた
		ソーシャルスキルトレーニングをLHRにて行う。	各HRでLHR等において実施した。	B	<ul style="list-style-type: none"> 限られた時間の中で、ソーシャルスキルトレーニングやいじめ、暴力をテーマにしたLHRを実施することができた。 LHRの時数が少ないのが課題である。
		生徒面談実施（年2回） 生活アンケート（年2回）	面接週間を2回設定した。 アンケートを6月、12月に実施	A	<ul style="list-style-type: none"> 面接週間以外にも日常的に面談を実施している。 アンケートではGoogleフォームを活用して、生徒の状況を確認できた。 教育活動に対する姿勢は肯定的な回答が多かった。 さらに安心して学校生活が送れるように日ごろから面談や声掛けを丁寧に行う。
		ホームルームごとにMVP表彰（学期1回）	担任の協力を得て学期に1回表彰を行った。	A	<ul style="list-style-type: none"> 1年を通じて生徒が互いに尊重し合う雰囲気を学校全体として作り上げることができた。MVPの選出方法に工夫をするクラスも見られた。 一部の真剣に取り組めない生徒への指導が必要である。
ウ	個々の実態に応じた学習指導の確立と、新学習指導要領を踏まえた授業改善を推進する。	授業が分かると答える生徒（80%）	生徒アンケート肯定回答 授業に意欲的 R5 88.9% R6 91.4% 授業がよくわかる R5 84.6% R6 83.9% 授業に満足 R5 86.5% R6 88.4%	A	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度より授業に意欲的な生徒、満足していると回答する生徒が増加している。 ICT活用やグループワーク、プレゼンテーションなどにより言語活動が充実している。（生徒回答90%） 授業がよく分かると回答する生徒が0.7%減少している。 多様な生徒への個に応じた指導が必要である。

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
		2, 3年生において前年4月成績と比較しD層の生徒が減少する。	【1学年】D3ゾーンは昨年度1年生より5名減少し、Dゾーン全体としては5名減少した。 【2学年】「D3ゾーン」は昨年度より10名増加した。Dゾーン全体では変化がなかった。 【3学年】「D3ゾーン」は昨年度より5名増加した。Dゾーン全体では6名減少した。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・中間報告を全校集会で生徒にフィードバックすることができた。 【1学年】 <ul style="list-style-type: none"> ・ほとんどが落ち着いた雰囲気です授業を行えている。学習時間の必要性は理解している。一部の落ち着きのない生徒に対し適切な指導が行えた。 ・日々の家庭学習が習慣化されるまでに至っていない生徒が多い。 【2学年】 <ul style="list-style-type: none"> ・全体一律の課題については、教員の呼び掛けや指導もあり取り組む生徒が増えた。 ・個々、特にDゾーンの生徒の自主的な家庭学習が定着していない。 ・数学を履修していない生徒へ課題は出しているが、授業で解説ができないため、アプローチが難しい。 【3学年】 <ul style="list-style-type: none"> ・各教科の先生方の粘り強い指導や担任の励ましのおかげでD層が減少した。 ・数学は履修していない生徒へ課題は出しているが、授業で解説ができないため成績の向上が難しい。
		各生徒が、スタディサプリの確認テストに年20回以上取り組む。	各学年年20回以上取り組んだ。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・1、2年生は毎週木曜日の朝学習の時間に取り組んだ。(全26回予定)生徒は真剣に取り組んでいる。
		スタディサプリの確認テストマスター数が全校平均80%以上	各学年確認テストマスターになるまで繰り返し取り組んだ。(97%)	A	<ul style="list-style-type: none"> ・教務科からテストマスターになるまで取り組むよう呼び掛け、複数回の実施を促した。 ・業者の分析でも活用率が高かった。
		ロイロノート、スタディサプリ、ゲーグルクラスルームを活用した授業を実施する教員(80%)	1年をかけ、ほぼすべての教員が授業で活用するようになった。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTの活用など校内の状況を考慮テーマを設定することができた。 ・校内研修会参加率は90%以上だった。 ・新しいアプリの導入など、工夫されたICTの活用や共有が大幅に進んだ。
エ	授業、学習発表会、面接指導等を通じてコミュニケーション力を育成する。	コミュニケーション力アップを実感する生徒(80%)	生徒アンケート肯定回答(86%)	A	<ul style="list-style-type: none"> ・新課程の学習指導要領の内容に準じて言語活動を取り入れた授業を行うことができた。 ・授業での発表経験が、総合的な探究の時間で生かされていた。

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
		3年就職希望者の面接指導(年5回)	外部指導者(ハローワーク、PTA等)の面接指導を3回、教職員のチューター制面接を計5回以上行った。	A	・進学、就職希望者に面接指導担当をつけることで面接指導を丁寧に行った。面接力が低い生徒には、外部受験産業と協力し、個別に指導を行った。
オ	語彙力、理解力、集中力を高め、柔軟な人間性を育む読書教育を推進する。	朝読書を(原則毎日)実施するとともに、図書館の年間貸し出し冊数を前年比1.1倍にする。	朝読書はほぼ計画どおり実施 8時25分からのBGMも朝読書実施の有無にかかわらず実施した。 選考会、文化講座は充実した内容で実施できた。 図書館の貸し出し冊数は、4月~12月の9か月間で536冊(R5 389冊)で昨年比1.37倍を達成	A	・より多くの生徒に図書館を利用してもらうことができた。 ・天竜文学賞選考会は、短期間にも関わらず課題図書を読み、作品の魅力を掘り下げる選考会を行うことができた。 ・天竜文学賞では受賞作家と編集者の話を聞き、文学への関心が高まった。今後は情報機器の活用などで、より多くの生徒に参加させたい。 ・8時25分からのBGMによって体制が整うクラスを増やしていきたい。朝読書の時間は生徒指導等を行わないように通知する。
カ	個々の目標を明確にし、個に応じたきめ細やかな進路指導を推進する。	進路希望調査(年2回)	進路希望調査2回実施 進路ガイダンス実施	A	・1、2年生は進路希望調査を3回実施し、指導に活かした。 ・進路希望調査をもとに、1年次生には体験型の進路探究授業を、2年次生には分野別のガイダンスを実施するなど、早期からの進路指導体制を構築した。
		就業探究の実施	7月に2年生が実施した。	B	・地域の企業等の協力を得て2年生の時期に実施することができ、生徒の進路意識の向上に役立っている。 ・学年と分掌との業務分担が不明確で、相互に難しさを感じた。受け入れ企業等に一部ご迷惑をかけてしまった。来年度に向けてマニュアルを作成する必要がある
		希望進路達成率(90%)	進路(進学)達成率(97.16%)	A	・担任を中心に、受験形態の選定、指導を展開した。 ・今後は推薦・総合型選抜といった多様化する受験形態に応じた指導体制の充実を図っていく。
キ	学校行事、ホームルーム活動、清掃、部活動に積極的に参加する生徒を育成する。	意欲的に取り組んだと答えた生徒(85%以上)	生徒アンケート肯定回答(93.2%)	A	・生徒会が体育大会で独自種目やアンケートを実施したり、提案・呼びかけ等を行ったりするなど主体的な取り組み見られた。 ・学校行事を大切にしている姿勢がみられた。 ・文化祭やLHRでは生徒が目的を持って意欲的に取り組んだ。

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
		部活動に一生懸命取り組んだと答える生徒（80%以上） 休養日年間100日程度を達成する部活動（70%以上）	生徒アンケート肯定回答（86.6%） 年間休養日100日以上取得部活動（95.8%） 効果的に休養日を設定することができた。 年度当初に設定した目標を達成した部活動（91.7%）	A	<ul style="list-style-type: none"> 今年度から2、3年生は部活動への登録を自由としたが、多くの生徒が部活動に継続参加し、積極的に活動ができた。 ほぼすべての部活動でガイドラインに準拠した活動を行った。
		清掃活動（週3回）	週3回行い、校内美化に努められた。 分別の呼び掛けはできたが、分別の徹底はできなかった。	B	<ul style="list-style-type: none"> 生徒、職員に呼びかけ、限られた時間の中で行うことができた。 保健厚生委員会を通して箒をフックに掛けるなど、清掃用具の管理をすることができた。 分別方法の周知を行ったが、徹底は難しかった。
ク	地域活性化に取り組み、ボランティア活動、校外活動に積極的に参加する生徒を育成するとともに、地域との連携、系列・類型間での連携を積極的に行なう。	天竜クリーンボランティア（年2回）	天竜クリーンボランティアとしては、1年生の「産業社会と人間」で、その他、ボランティア部が毎月、部活動で随時、実施することができた。	B	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度の反省を踏まえ、エリアが広域にならないようにするとともに、回収するごみを指定したため、円滑に実施できた。 野球部が地域の方々の清掃活動に複数回参加するなど、日ごろから連携や交流が行われている。 学校全体でさらなる推進体制を検討している。
		地域との連携講座（年3回） 近隣の保育園・小学校等との交流（年6回）	天竜商工会を中心に、天竜区役所、天竜区観光協会、天竜厚生会などと連携を深めた。（年45回実施） 杉の子保育園との交流活動全7回実施した。	A	<ul style="list-style-type: none"> 様々な科や教科で地域連携を題材とした授業実践があった。 地域は本校に対して協力的である。継続的な活動ゆえなので、引き続き途切れることなく地域に貢献する学校であり続けることが重要である。こうした取り組みの際、管理職からの地域への声掛けが重要である。 「農業体験交流」をやまびこ保育園と杉の子保育園の園児を迎えて行った。 地域協働センターと各教科や分掌とのさらなる効果的・効率的な連携を検討する。

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
		「天竜区の未来を考える若者会議」の実施（年3回） 「天竜ラボ」の活動推進（年3回）	「天竜区の未来を考える若者会議」を3回開催した。 「天竜ラボ」は年11回活動した。 三遠南信の高校とつながりを作ることができた。	A	・浜松市と連携協定を締結することができた。今後新たに地域連携を拡充させていきたい。
		検討会議（年3回） 類型、系列連携活動の実施（3組）	学習発表会を3学科連携事業として開催した。 検討会議を年4回実施した。	A	・系列・類型に加え、有志での参加も増えた。 ・全学年の参加 校外への公開 展示発表の追加など、新しい形で実施した。 ・福祉科主催の「クリスマス会」にて森林・環境科と連携し、箸の製作をした。 ・福祉科の生徒が1年介護体験実習で総合学科と森林・環境科の生徒に実演や説明を行った。 ・3学科併設の強みをさらに模索する必要がある。
ケ	生徒の学校生活を支えるため、健康教育活動を推進する。	朝食摂取率（90%以上） 各種疾病治療（65%以上）	10月末の朝食摂取状況調査は90.7%だった。（生徒アンケート結果は88.7%） 疾病治療率 内科79%、 歯科59%、 視力69%、 眼科100% 耳鼻科83%、 尿検査100% 心電図100%、 貧血検査71%	A	・疾病治療率を上げるために学年主任にも協力を依頼し、個別指導を積極的に行った結果、治療率が大幅に増加した。今後もこの方法を継続するとともに、早期受診につながるような声掛けの工夫をする。 ・朝食摂取状況が0.8%減少した。引き続き、委員会活動等で声掛けを行う。
		ケース会議の実施（年2回以上）	ケース会議を年8回実施した。 4名の個別の指導計画を作成した。 振り返りのケース会議も実施し、次年度や卒業後を見据えた支援方法を模索した。 職員会議等を通して、全職員で情報を共有した。	A	・保健室頻回来室者（10日以上）が、R5は36人 R6は37人であるが、20日以上の頻回来室者がR5の11人からR6は6人と減少した。 ・日々、担任や学年主任と情報共有を行い、指導に活かした。 ・通級指導を希望する生徒への指導体制を整えられた。 ・困っている生徒をスクールカウンセラーにつなぎ、専門家の見立て等を職員間で情報共有し、指導に活かすことができた。相談シートを活用してスクールカウンセラーにつなげる前の生徒の心身の状況把握に活かすことができた。

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
					・今後は希望人数が増加した時の教員負担を軽減する工夫を検討する。
コ	保護者、地域に信頼される学校づくりを推進するため、本校の特色や教育活動を積極的に情報発信する。	PTA 活動 (年8回)	PTA 役員による朝の交通指導(年2回)、就職面接指導、学校保健委員会への参加など連携した教育活動を実施できた。	A	・PTA 役員会を開催し、役員との意思疎通を行った。特に3年生の就職面接指導は、全学年のPTA 役員に協力を求め、充実した内容にすることができた。
		学校だよりの発行(年10回) 学校説明会開催(年2回)	「学校だより」を11回発行した。 中学生一日体験入学(8月)、学校説明会・授業見学会(10月)を開催した。	A	・「学校だより」をホームページ、保護者への配信、クラス掲示、地域の回覧板で広報することにより、本校の教育内容の発信力を強化した。 ・学校説明会(計2回)の参加者は、中学生267名、中学生保護者194名であった。(計461名)事後アンケートでは、「参加して良かった」との回答が、ほぼ100%であり、本校の魅力を発信できた。
		ホームページの更新(随時)	ホームページを192回更新した。 学校ホームページのシステムを刷新し、見やすく編集した。	A	・学校ホームページのリニューアルを行い、見やすくなり、更新回数が増えている。 ・Google Drive を使用し、記事の書き方を分かりやすく示すことで、部活動、教科、分掌の協力を得ることができた。
サ	教職員の資質向上を図るとともに、働き方に関する意識改革を推進し、業務分担の適正化を図る。	校内研修会(年2回)	ICT 活用などテーマに6回実施	A	・参加率も良く、主体的に学びあう研修ができた。 ・研究授業週間では、ICT の活用を取り入れた授業など工夫された授業が多く見られた。
		不祥事根絶研修(月1回)	職員会議で月1回実施	A	・県の「コンプライアンス強化月間取組」を利用できた。同時にGeneralist による研修の受講方法も周知できた。
		定時退勤の実施(週1回) 夏季休暇取得推進期間の休暇取得率(75%以上)	完全退勤20時、定時退勤日を推進した。 夏季休暇取得促進期間休暇取得率88.2%	A	・完全退勤時刻を20時、月曜日を定時退勤日とし、呼び掛けを行った。 ・ストレスチェックの職場としての総合評価は良好であった。
		業務総量が削減した分掌の割合(80%以上)	業務削減をそれぞれの分掌課において実施	A	・「シン・リバイス天竜」による業務の見直しが行われた。 ・2年次からの部活動の加入任意化、文書のデータ化など業務の削減が具体的に行われている。 ・採点システム「百問繚乱」の活用が進んでいる。

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
					・半面、新しい事業導入による業務増加の懸念もある。
シ	危機管理体制及び「命を守る教育」の充実を図る。	重大交通事故発生件数（0件） 街頭交通指導（年10日）	重大交通事故発生件数（0件） 街頭交通指導を10日実施した。	B	・自転車指導カードの指導は、昨年度140件、今年度66件と大幅に減少した。内訳の中で一旦停止違反が52件と最も多い。 ・3件の事故が発生した。その内、重大事故は発生していない。 ・自転車並進の苦情があり、生徒課で特別登校指導を実施した。
		防災訓練（年2回）	防災訓練を2回実施。第2回の防災訓練は、天竜消防署と連携した緊急対応訓練を実施した。	A	・避難訓練を年2回（4月、11月）立案・実施した。内容、実施方法等を精査し、実効性の高い訓練となった。 ・教職員対象の「校内防災ツアー」（5月）を行い、防災設備・備蓄食料の点検を実施できた。
ス	効率の良い業務遂行、業務改善に努め、安全・安心な教育環境の整備充実を図る。	定期的な検査等（指摘0回）	会計処理に関し、指導検査等において、指摘に該当する項目は1件あった。	A	・事務室内で、再度法令規則や通知等を確認し、知識等を共有するなど、謝りのないよう事務処理を進めていく。
		施設設備の点検（月2回）	技能員を中心に施設設備の点検を月2回実施した。	A	・定期的な点検や、教職員とのコミュニケーションを図ることで情報収集するなど危険個所の早期発見に努め、安全・安心な教育環境整備を行った。
		危険箇所の確認、迅速な修理による危険回避（随時）	危険個所の確認を速やかに行い、迅速な修繕を心掛けた。	A	・危険個所への対応はできる限り速やかに行った。

<春野校舎> [重点目標はゴシック体で記載]

取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	多様な生徒に対する学習指導体制を整え、基礎学力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の進度はちょうど良いと答える生徒の割合【98.3%】 ・「先生は丁寧に教えてくれていると答える生徒の割合【100%】 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度と大きな変化はなく、多くの生徒が前向きに授業に取り組んでいる。引き続き全生徒が学びを得られるような授業内容を検討していく。 ・少人数制を生かし、丁寧な授業を行っている。対話的な授業、質問しやすい雰囲気づくりを継続する。 ・1年生でBYODが始まり、多くの授業でICTの活用が見られた。授業の振り返りや、課題配信、生徒連絡等のオンライン化を図り、ICTのさらなる有効活用を模索する。

取組目標		成果目標	達成状況	評価	成果と課題
		いると答える生徒の割合【80%以上】	いると答える生徒の割合【100%】		
		<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習時間の平均【平日 45 分以上】【テスト前 90 分以上】 ・家庭学習時間調査【年間 4 回実施】 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習時間の平均【平日 45 分以上】【テスト前 90 分以上】 ・家庭学習時間調査【全 4 回実施】 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学習時間調査を活用し、担任を通じて生徒への声掛けを行った。学習状況だけでなく、生活状況も把握できるため、今後も継続する。 ・学習時間調査に定期試験の目標・振り返りの記入欄を新設し、学習に取り組む姿勢を各自で確認できるようにした。
イ	<p>基本的な生活習慣を身につけ、他者をいたわり、人間関係を大事にする心を養い、問題行動の未然防止を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して落ち着いた学校生活を送っていると答える生徒の割合【100%】 	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して落ち着いた学校生活を送っていると答える生徒の割合【91.3%】 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・あえて高く設定したため目標には届かなかったが、数値は高水準を維持した。 ・SST 講座での人間関係づくりの演習や各教職員の個に応じた声掛けを引き続き行う。
		<ul style="list-style-type: none"> ・問題行動の件数、前年度より減少【令和 5 年度 1 件】 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題行動の件数は前年度同様【令和 6 年度 2 件】 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・人との距離感が掴めないことが原因のトラブルが起こりやすい。 ・生徒の自己有用感をさらに醸成することにより問題行動を予防したい。
ウ	<p>生徒一人ひとりに寄り添い、よりよい進路を見つけ、その実現を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・進路についての指導が適切になされていると答える生徒の割合【85%以上】 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路についての指導が適切になされていると答えた生徒の割合【98.3%】 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・3 年生進路状況は就職が例年並み、進学は共通テスト受験者 2 人で昨年 0 人から増加した。 ・各自が希望する進路実現のため、面接指導、小論文指導、個別補習を通年で行った。 ・進路検討会を開き適切な進路指導へつなぐことができた。 ・生徒の希望進路とマッチングを考えた進路検討会や進路指導の更なる充実を図る。
		<ul style="list-style-type: none"> ・学年進行に応じて進路講話や企業・学校見学、進路ガイダンスを実施【年間 3 回以上】 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内進路ガイダンスを実施【全 3 回】 ・外部機関と連携した進路講座を実施 ・インターンシップを実施 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年に応じた進路行事を通して生徒に自己と向き合わせ、進路意識を持たせることができた。 ・自己理解と合わせて、上級学校や職業等についての研究と理解を深め、よりよい進路指導につながる企画を行う。 ・インターンシップを通して地元企業と連携し、地域との繋がりを念頭に協力企業と参加生徒の増加を図り、より高い進路意識を持たせていく。

取組目標		成果目標	達成状況	評価	成果と課題
工	環境を整え、部活動、特別活動、読書活動において、充実感が得られるよう指導する。	・部活動に積極的に参加し充実していると答える生徒の割合【80%以上】	・部活動に積極的に参加し充実していると答えた生徒の割合【87.7%】	A	・部活動に意義を感じ積極的に取り組んでいる生徒が、昨年度より増加した。
		・学校行事が充実していると答える生徒の割合【85%以上】	・学校行事が充実していると答えた生徒の割合【96.5%】	A	・生徒会や委員会を中心に、主体的に学校行事に取り組む姿が見られた。 ・*昨年度 93.9%
		・朝読書の時間は読書に親しむのに役立つと答える生徒の割合【80%以上】	・朝読書の時間は読書に親しむのに役立つと答える生徒の割合【35.1%】	B	・天竜文学賞の授賞者と編集者を招いて授賞式を実施することができた。 ・交通事情により朝読書と読書月間が12月まで実施できなかったが、天竜文学賞関連の本を読書感想文の課題図書とするなど読書活動の充実を図った。 ・秋葉バス運行再開で1月から朝読書も再開した。引き続き、様々な工夫で読書活動の充実を図る。
オ	自己健康管理ができる生徒を育成するとともに、教育相談体制の充実を図る。	・保健関係たよりの発行【月1回】 ・生徒の状況把握調査【年2回実施】	・保健関係たよりの発行及び生徒の状況把握調査を目標どおり実施	A	・生徒とつながりを持つことで、援助できる存在としてとらえてもらえる体制づくりをしていきたい。次年度も調査後の面談を実施したい。
		・先生は悩みや相談に親身になってくれると答える生徒の割合【85%以上】 ・生徒サポート委員会【週1回程度開催】	・先生は悩みや相談に親身になってくれると答える生徒の割合【96.4%】 ・生徒サポート委員会【20回程度開催】	A	・SC、SSWと担任、学年との連携を密にすることにより、生徒の困り感に寄り添うことができた。また、通級講師による研修会等により、支援体制についての知識の充実を図った。 ・生徒サポート委員会以外も生徒の情報共有を随時行い、全教員が共通認識の上で支援・指導にあたった。
カ	地域・保護者との連携を推進し、信頼される学校づくりを行う。	・地域貢献活動に参加をしている生徒の割合【50%以上】 ・行事等への参加率【60%以上】	・地域貢献活動に参加をしている生徒の割合【57.9%】 ・総会への参加率【70%を維持】	A	・磐田地区の事務局として役員は全員参加し、熱心に取り組んだ。 ・遠方の研修をオンライン形式、近隣の研修を対面形式で併用している。
		・春校だより発行【年間4回以上】 ・HPの更新【毎月4回以上】	・春校だより発行【全4回】 ・HPの更新【毎月4回以上】	A	・春校だよりを予定どおり発行することができた。生徒の言葉を中心にした構成にし、見やすさを心掛けた。 ・春野地区に関連した活動に視点を置き、紙面づくりを行った。

取組目標		成果目標	達成状況	評価	成果と課題
		<ul style="list-style-type: none"> ・監査・検査の文書指示・指摘件数 【0件】 ・校内での事故・災害箇所 【0件】 	<ul style="list-style-type: none"> ・監査・検査の文書指示・指摘件数 【0件】 ・校内での事故・災害箇所 【0件】 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・法令を遵守し適切な事務処理や効果的な予算執行を行うことができた。 ・校内巡視や環境整備を行い、校内での事故や災害箇所を防ぐことができた。職員間の連絡を密にして相互理解に努め、少人数体制での施設設備の効率的な管理を行う。
キ	地域資源を活用し、探究活動を通して社会性を育む。	<ul style="list-style-type: none"> ・探究活動を仲間と協力しながら主体的に行ったと答える生徒の割合 【80%以上】 ・校外での探究活動が有意義であったと答える生徒の割合 【80%以上】 	<ul style="list-style-type: none"> ・「探究活動を仲間と協力して主体的に行っている」と答える生徒の割合 【93.0%】 ・校外での探究活動が有意義であったと答える生徒の割合 【91.3%】 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・1学年は、春野地域での林業や茶園について学習した。調べ学習、講話、レポート作成等を通じて春野地域についての知識を深めることができた。 ・2学年は、林業について学習した。班ごとのテーマで、レポート作成を行い、林業についての知識を深めることができた。 ・3学年は、過去2年間の探究活動を踏まえて、秋葉街道新聞にまとめることができた。
ク	校内の危機管理体制を整備するとともに、危機管理意識を向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急メール登録 【100%（全家庭）】 ・防災訓練実施 【年間3回】 ・施設安全点検実施 【年間2回】 	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急メール登録 【100%（全家庭）】 ・防災訓練実施 【全3回】 ・施設安全点検実施 【全2回】 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて緊急メールを活用できた。 ・防災訓練を4, 9, 3月に実施した。 ・土砂災害による交通遮断時のための備蓄食料等の整備を今後も進める。
ケ	研修を通じて教職員の資質の向上を図るとともに、教職員の働き方改革を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・職員研修会の実施 【年5回】 ・不祥事根絶研修の実施 【月1回】 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT活用研修1回、発達障害研修2回、コンプライアンス研修10回程度実施 ・職員会議後、年次研修報告会2回実施 ・不祥事根絶に係る研修会及びコンプライアンス通信を使った話し合いを8回実施 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・2つの学年部で通級の授業を担当するため、通級指導講師による「発達障害について」の研修会を行い理解を深めた。また、職員会議では、発達支援についてプリントを配付し、さらに理解を深めている。 ・事務長による公金の取扱いについての研修会の他、情報漏洩防止、交通安全、性暴力防止について的小グループでの討論等を実施した。 ・毎回職員会議後に注意喚起を行い、研修内容を自分事としてとらえることができるよう引き続き研修を行う。

取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
	・平均 18:30 までの退勤	・押し並べてほぼ目標は達成したが、時期により教職員の退勤時刻は異なり、学期始め及び学期末は遅くなる傾向にある。長期休業期間の時間外勤務は少ない。	B	・毎週月曜日を定時退勤日として、昨年度に引き続き呼びかけた。 ・教職員の業務内容を見直し、勤務時間以降の留守番電話対応や朝打ち合わせの回数削減等を行った。これからも業務内容を精選していく。

(2) 令和 7 年度の取組目標・達成方法・成果目標

<本校> [重点目標はゴシック体で記載]

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	基本的な生活習慣を確立し、時間、マナー、ルールを守ることのできる生徒を育成する。	全職員が共通理解を持って指導に当たるとともに、校内外巡視や家庭との連携を通して校則遵守の必要性を生徒に理解させ、問題行動を未然に防ぐ。	問題行動発生件数 (年 10 件以内)	生徒課 教務課 各学年部
		登校指導と家庭との連携を通して、5 分前行動を徹底させる。	遅刻者数 (前年比 20%削減)	
		スマートフォン・SNS の使用マナーを指導する。 スマートフォンの利用状況を調査し、指導に活用する。	情報講座の実施 (年 2 回) 使用状況調査導入	
イ	爽やかな挨拶を励行するとともに、感謝の気持ちを素直に表現できる生徒、他の生徒の努力を認めることができる生徒を育成する。また、多様性を尊重するとともに、いじめ、迷惑行為、暴力行為を絶対に許さない雰囲気醸成する。	朝の挨拶運動強化週間を設定し、自発的な挨拶の習慣化を図る。	朝の特別挨拶運動(原則月 1 回)	生徒課 保健課 各学年部
		いじめ防止、暴力行為防止、マナー向上に対する指導方法を学ぶ。	外部研修会への参加、事後報告などを行う。 (年 2 回)	
		ソーシャルスキルトレーニングを生徒が受講し、人間関係の構築方法を学ぶ。	ソーシャルスキルトレーニングを LHR にて行う。	
		定期的に担任が面談を行うとともに、学校生活に関するアンケートを実施する。	生徒面談実施(年 2 回)学校生活アンケート(年 1 回)	
		HR 活動を通して、努力している人を互いに認め合う雰囲気を醸成する。	HR ごとに MVP 表彰(学期 1 回)	教務課 各学年部
ウ	個々の実態に応じた学習指導の確立と、学習指導要領を踏まえた授業改善を推進する。	「何ができるようになるか」を意識して授業を行うとともに、教員間の授業公開、生徒アンケートの分析等を授業改善に活かす。	授業が分かると答える生徒(80%)	教務課 各教科 各学年部 図書情報課
		「学びの基礎診断」の測定ツールを活用し、生徒に応じた指導の改善に努める。	2, 3 年生において前年 4 月成績と比較し D 層の生徒が減少する。	
		スタディサプリの活用を促進する。	各生徒が、スタディサプリの確認テストに年 20	

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
			回以上取り組む。 スディアプリの確認テストマスター数が全校平均80%以上	
		授業改善、ICT活用指導力の研修会を実施する。	ロイロノート、スタディサプリ、グーグルクラスルームを活用した授業を実施する教員（80%）	
工	授業、学習発表会、面接指導等を通じてコミュニケーション力を育成する。	授業やHR活動の中で、1分間スピーチ、グループワーク、プレゼンテーションを積極的に導入する。	コミュニケーション力アップを実感する生徒（80%）	教務課 各教科
		生徒の適性・進路希望に応じた面接指導を実施し、自己表現力の向上を図る。	3年全就職希望者対象の面接指導（年5回）	進路課
オ	語彙力、理解力、集中力を高め、柔軟な人間性を育む読書指導を推進する。	天竜文学賞を中心とした読書アクションを推進し、10分間の朝読書を徹底する。 図書館表示を改善し、利用しやすくする。	朝読書を週3回実施する。 天竜文学賞実施	図書情報課
カ	個々の目標を明確にし、個に応じたきめ細やかな体系的・系統的なキャリア教育を推進する。	1年次から生徒の希望や適性を踏まえた進路指導を行う。	進路希望調査（年2回）	進路課
		職業研究を深め、体験を通して自己の適正、興味、関心を探究する。	就業探究の実施	
		就職指導では企業開拓を行い、履歴書指導など就職希望者の指導体制の充実を図る。	就職内定率（100%）	地域協働センター
		進学希望者に対し、学力の伸長を促し、個々の受験形態に応じた進学指導体制の充実を図る。	希望進路達成率（90%）	各学年部
キ	学校行事、ホームルーム活動、清掃、部活動に積極的に参加する生徒を育成することで創造性を育む学びを充実させる。	学校行事・HR活動への動機付けと広報を積極的に行い、参加意欲の向上を図る。	意欲的に取り組んだと答える生徒（85%以上）	生徒課 各学年部 保健課
		部活動では、生徒の主体的な活動を促すとともに、意欲の持続を目的として効果的に休養日（年100日程度）を設ける。	一生懸命取り組んだと答える生徒（80%以上） 年度当初に設定した目標を達成する部活動（70%以上）	
		清掃活動や厚生委員会を通して、校内美化に積極的に取り組む。	清掃活動（週3回）	
ク	地域の将来を担う人材を育成するため、生徒が地域活性化に主体的に取り組み、ボランティア活動、校外活動に積極的に参加する機会を創出するとともに、地域との連携、系列・類型間での連携を積極的に行なう。	地域と連携したボランティア活動や校外活動を推進する。	地域と連携したボランティア活動や校外活動に取り組んだ生徒（延べ100人以上）	地域協働センター 生徒課
		地域の関係機関と連携し、地域理解・探究に関する学習活動を推進する。	天竜区の未来を考える若者会議の実施（年3回） 地域との連携的な学習（年50回以上）	農業科 福祉科 総合学科 地域協働センター

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
		学科長と連携し、地域社会との連携を円滑に進めるための情報共有、情報交換、協力体制を構築する。	学科長との情報交換会の開催（年3回）	地域協働センター
		類型、系列間が連携した学習活動のあり方について検討し、実施する。	検討会議（年3回）類型系列連携活動の実績（2組）	農業科 総合学科 福祉科
ケ	生徒の学校生活を支えるため、健康教育活動を推進する。	「ほけんだより」による広報活動、各学年部の協力を得て受診指導を行い、心と体の健康管理を図る。	朝食摂取率（90%以上） 各種疾病治療率（65%以上）	保健課 各学年部
		特別な配慮が必要な生徒に関する情報を全職員で共有する。	ケース会議の実施（年2回以上）	
コ	保護者、地域に信頼される社会とともにある開かれた学校づくりを推進するため、本校の特色や教育活動を積極的に情報発信する。	PTA と連携した教育活動の展開。	PTA 活動（年8回）	総務課
		地域や中学校に本校の教育活動を知ってもらうため、学校だよりを作成する。また、中学生・保護者対象の学校説明会を実施する。	学校だよりの発行（年10回） 学校説明会開催（年2回）	
		閲覧しやすく更新が手軽なホームページを構築し、積極的に更新するとともに、内容の充実を図る。	ホームページの更新回数170回以上	図書情報課
サ	教職員の資質向上を図るとともに、働き方に関する意識改革を推進し、業務分担の適正化を図る。	教科指導や生徒指導等に関する研修会を実施する。	校内研修会（年2回）	教務課
		コンプライアンス意識の高揚を目的とした研修を行う。	不祥事根絶研修（月1回）	管理職
		教職員の勤務時間の適正化を図るとともに長期休業中の休暇取得を促進する。	定時退勤の実施（週1回） 夏季休暇取得促進期間の休暇取得率（80%以上）	
		各分掌で、ICT ツールの活用等により、業務内容と分担の見直し、精選を図る。	業務総量を削減した分掌の割合（80%以上）	管理職 各分掌
シ	危機管理体制及び「命を守る教育」の充実を図る。	交通安全指導、下校指導等を通じて、交通ルールやマナーに対する生徒の意識の高揚を図る。	重大交通事故発生件数（0件） 街頭交通指導（年10日）	生徒課
		防災計画や危機管理マニュアル等の共通理解を深め、訓練等を通して、生徒・職員の危機への対応力を高める。	防災訓練（年2回）	総務課 管理職
ス	ICT ツールの活用等により効率の良い業務遂行、業務改善に努め、安全・安心な教育環境の整備充実を図る。	ICT ツールの活用等により校務のDX化を推進する。	ICT ツールの活用等による業務改善（年2件以上）	事務部 管理職
		法令に基づき、迅速で的確・適切な事務処理を行う。	定期的な検査等（指摘0回）	
		定期的に校内を巡視し、危険箇所等を早期に発見するとともに適切な施設管理を行う。	施設設備の点検（月2回） 危険箇所の確認、迅速な修繕による危険回避（随時）	

<春野校舎> [重点目標はゴシック体で記載]

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	多様な生徒に対する学習指導体制を整え、基礎学力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・年1回の研究授業の実施や「高校生のための学びの基礎診断」の分析を活用し、生徒の資質・能力に応じた授業内容の改善に取り組む。 ・ICT機器を適切に活用して、生徒が効率的に学習できるようにする。 ・教科や学年のICTの活用事例を共有する機会を設け、さらなるICT活用のきっかけを作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業を通して新たな学びや成長を感じられる生徒の割合（90%以上） ・先生は丁寧に教えてくれていると答える生徒の割合（90%以上） ・先生は授業でICT機器（chromebookやiPad、プロジェクター）を活用していると答える生徒の割合（80%以上） 	教務課 副校長
		<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な学習の指導手法を各教科で確認する。 ・各教科で家庭学習で行うべき内容を生徒に適切に提供する。 ・定期テスト前に家庭学習時間調査を実施し、目標設定、学習の習慣付けと振り返りを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習時間の平均（平日45分以上）（テスト前90分以上） ・家庭学習をしっかりと答える生徒の割合（70%） ・家庭学習時間調査（年間4回実施） 	
イ	基本的な生活習慣を身につけ、他者をいたわり、人間関係を大事にする心を養い、問題行動の未然防止を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣が身につくよう個に応じた注意喚起を行う。 ・外部講師を招いて「人間関係づくり」や「コミュニケーション」について学ぶ機会を設ける。 ・集会時の講話により、他者をいたわり人間関係を大事にする意識を喚起する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して落ち着いた学校生活を送っていると答える生徒の割合（90%以上） ・SSTやHR活動等により、コミュニケーション能力が高まったと答える生徒の割合（70%） 	生徒・保健課・教頭
		<ul style="list-style-type: none"> ・1年生を対象に情報モラル講座を実施する。 ・職員全体で生徒の情報を共有し、問題を抱える生徒を早期発見するとともに適切に対応できるよう協議する。 ・ホームルーム、授業、部活動等で日常的に挨拶や言葉遣い、服装等の指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題行動の件数を前年度より減少させる。（令和6年度2件3名） ・挨拶や言葉遣いがしっかりと答える生徒の割合（90%） 	
ウ	生徒一人ひとりに寄り添い、よりよい進路を見つけ、その実現を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・面接週間を実施し、生徒一人ひとりの進路希望状況を把握する。 ・進路講話、進学補講・基礎学力補講等を実施し、環境整備を行う。 ・生徒、教職員、家庭が連携し、生徒一人ひとりが納得できる進路実現を果たす体制を構築する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路についての指導が適切になされていると答える生徒の割合（85%以上） ・進路についての指導が適切に行われていると答える保護者の割合（90%以上） 	進路課

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
		<ul style="list-style-type: none"> ・地元企業との連携や外部講師の招致、卒業生の活用を積極的に行うとともに、社会で起きていることや必要とされる人物像等への理解を深める機会を多く設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年進行に応じて進路講話や企業・学校見学、進路ガイダンスを実施（年間3回以上） 	
工	環境を整え、部活動、特別活動、読書活動において、充実感が得られるよう指導する。	<ul style="list-style-type: none"> ・運動部の試合や文化部の発表会等を広報し、学校全体で応援する雰囲気醸成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動に積極的に参加し充実していると答える生徒の割合（80%以上） 	生徒・保健課
		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会執行部を中心に、生徒が主体となって企画・運営できる学校行事を実施する。（春祭祭・体育大会・球技大会等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事が充実していると答える生徒の割合（85%以上） 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の朝読書を実施する。 ・すべての生徒が、夏休み読書感想文を通して天竜文学賞に親しむよう指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝読書の時間は読書に親しむのに役立つと答える生徒の割合（80%以上） 	総務・図書課
オ	自己健康管理ができる生徒を育成するとともに、教育相談体制の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・健康管理ができる基礎作り（栄養面での充実を含めて）のため、個別指導を行う。 ・さまざまな機会を利用して、生徒・保護者に朝食の大切さ、健康管理の大切さを知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健関係たよりの発行（月1回） ・生徒の状況把握調査（年2回実施） 	生徒・保健課
		<ul style="list-style-type: none"> ・気になる生徒の情報の共有化を図るため、生徒サポート委員会を実施する。 ・生徒の心のケアを充実させるために、スクールカウンセラー、通級、外部機関との連携を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・先生は悩みや相談に親身になってくれると答える生徒の割合（85%以上） ・生徒サポート委員会（年20回程度開催） 	教頭
力	地域・保護者との連携を推進し、信頼される学校づくりを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活性化や社会貢献の活動への積極的な参加を促す。 ・特別養護老人施設「秋葉の苑」や地元幼稚園、春老連との連携事業を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域貢献や地域との連携活動に参加をしている生徒の割合（50%以上） 	教科・部活動
		<ul style="list-style-type: none"> ・PTAの学校行事等への見学を働きかける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の行事等の見学率（60%以上） 	総務・図書課
		<ul style="list-style-type: none"> ・本校の教育活動を広報するため、地域に寄り添う「春校だより」を発行する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・春校だより発行（年間4回以上） 	

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
		<ul style="list-style-type: none"> 学校の活動の様子をタイムリーに幅広く情報発信するため、HPを積極的に活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> HPの更新（毎月平均6回以上） 学校便りやHPを通して、学校の教育方針をわかりやすく理解することができるかと答える保護者の割合（90%） 	教頭
		<ul style="list-style-type: none"> 管理職、教務課、教科担当者等と連携を図り、学校経営計画並びに中長期を見据えた効果的な予算執行を行う。 法令遵守を徹底し適正な予算執行を行う。 定期的に校内を巡視し、老朽箇所や危険箇所を早期発見するとともに、必要な予算要求や改修を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 監査・検査の文書指示・指摘件数（0件） 校内での事故・災害箇所（0件） 	副校長 教頭
キ	地域資源を活用し、探究活動を通して社会性を育む。	<ul style="list-style-type: none"> 地域学等の探究活動を通して、地域の自然、産業、歴史、文化、信仰等について多角的な視点で捉える。 調べ学習や体験活動を地域の方々と協働で行う。 地域での体験活動に主体的に取り組み、探究の学習成果をまとめ、発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 探究活動を仲間と協力しながら主体的に行ったと答える生徒の割合（80%以上） 校外での探究活動が有意義であったと答える生徒の割合（80%以上） 	学年
ク	校内の危機管理体制を整備するとともに、危機管理意識を向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> 緊急連絡用メールの登録を推進する。 生徒の防災意識を高めるため、効果的な防災訓練を実施するとともに、地域防災への積極的な参加を促す。 定期的な施設の安全点検を通して、学校施設の安全性を確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> 緊急メール登録100%（全家庭） 防災訓練実施（年間3回） 施設安全点検実施（年間2回） 	副校長 教頭
ケ	研修を通じて教職員の資質の向上を図るとともに、教職員の働き方改革を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 教職員の資質能力向上、授業改善のための職員研修や職員相互の授業見学を実施する。 不祥事根絶研修を計画的に実施する。 教職員の働き方改革を推進し、ICTの活用等により業務の精選、スリム化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員研修会の実施 年5回 不祥事根絶研修の実施 月1回 職員室の最終退出時 平均18:30以内 リバイス天竜による業務等の改善の取組 	副校長

4 監査対象期間における特色ある取組

<本校>

年度	取組概要	成果及び課題
令和6年度	<p>地域の行政や企業等との協働により、校内に留まらない多様な学びの機会を創出することにより、生徒の成長を図り、自ら未来を切り開く人財、地域を支える人財の育成を目指す。</p> <p>ア 地域協働センター 地域と連携した多様な教育活動を推進している本校における地域連携事業の窓口として、地域協働センターを設置し、「総合的な探究の時間」等の地域と連携した授業や、「就業探究」生徒有志による「天竜ラボ」、「天竜区の未来を考える若者会議」、「天竜クリーンアップ大作戦」、部活動によるボランティア活動等を行う。</p> <p>イ 地域探究 総合学科未来創造系列探究コース教科「探究」の「地域探究」(学校設定科目)において、「地域連携」と「自己探究」を目的に地域の人々と積極的に関わり、課題などの考察に取り組む。</p> <p>ウ インターンシップ事業(天竜フォレストガイドダンス、高性能林業機械講座、スマート林業講座) 森林・環境科において、専門的な職業観を高めるために、各類型で学んだことに関連のある内容でインターンシップ事業を実施する。</p> <p>エ 福祉科企画イベント 令和5年度に自主企画で行った「スマホなんでも相談室」を6年度は社会福祉協議会が事業化して7月と3月に行う。 地域スーパーマーケットの2階会議室を利用し、地域のお年寄りを招いたクリスマス会を実施する計画である。</p> <p>オ 地域と連携した進路指導 1年次から大学や専門学校等を招き、生徒の社会や職業への知見を広める機会を創出した。 また、2年次7月に「就業探究」を地元企業の協力の下、実施した。 3年生就職希望者に対して外部専門家を招いて、公務員試験の勉強会、チエルコミュニケーションブリッジ、ハローワーク、本校PTAによる面接指導(8月、9月)を実施し、主体的に自らの未来を切り開く力を高める。</p>	<p>生徒が、授業や行事等で地域の多様な人や団体等と関わることで、学びを広げ、主体的に自ら未来を切り開く人財、地域を支える人財として成長する機会を持てた。</p> <p>ア 授業や行事、地域の交流イベントへの参加など、生徒が地域の関係機関と交流・協働し、地域理解・地域探究につながる学習活動を教科、学科の枠組みを超え、領域横断的に行う環境の整備、提供を分掌として行った。</p> <p>イ 地域課題を題材として、探究学習の基礎となるスキルやツールを学ぶとともに、それぞれが設定したテーマについて地域の企業や施設等にフィールドワークに出かけて行き、探究活動を行った。</p> <p>ウ 県農林局など外部の多様な専門機関の協力を受け、最先端の機械や技術を直接学ぶことができ、知識・技術のみならず、産業や職業に対する理解を深めることができた。</p> <p>エ 福祉科生徒が積極的に企画、運営に係ることで、福祉科生徒としての自覚を高め、学習意欲の向上に繋げている。また、「スマホなんでも相談室」は地域からも大変好評であった。</p> <p>オ 1年次は、社会や進路に関する視野を広げることができ、系列の選択等も主体的に考えることができた。 2年次は、インターンを経験することにより、就業観等を養うことができた。 3年次は、これまでの学習や経験を通して自分の将来に関して、真剣に向き合う姿や努力する姿が見られている。</p>

年度	取組概要	成果及び課題
	<p>カ 東京キャリア研修（ディズニーアカデミー） ディズニーアカデミーの研修受講と現地見 学等を行い、コミュニケーション能力の育成、 キャリア教育、集団行動、「おもてなしの心」、 マナー、探究活動など、課題解決の力を鍛える。</p> <p>キ 「天竜文学賞」 高校生のための読書アクションとして、高校 生が高校生に薦める本の選考を春野校舎と共 同で生徒が行い、その選考過程を通して、読み、 考え、話し合うことによる読書体験をさせる。</p> <p>ク 高大連携事業 有志グループの「天竜ラボ」の生徒、ボラン ティア部の生徒等が近隣大学とのコラボレー ションによる高大連携事業を実施し、生徒の学 びを充実させる。</p> <p>ケ 「行きたい学校づくり」探究学習推進の実施 （3年計画1年目） 浜松北部の高校・特別支援学校と連携し、探究コ ンソーシアムを構築する。</p>	<p>カ 1学年生徒がディズニーアカデミーの オンライン研修を受講した後、11月に現 地においてパーク体験することにより、 キャストの活動を中心に、キャリア教育、 「おもてなしの心」、探究活動を意識し、 将来を考えるきっかけとした。</p> <p>キ 9月17日に選考会を行い、受賞作を決 定した。受賞作品を生徒に広報し、読書 を勧める。</p> <p>ク ボランティア部の生徒が静岡文化芸術 大学と連携し、国登録有形文化財の建造 物である旧田代家のイベントを実施した り、総合学科の1年生が愛媛大学、東京 大学と連携した防災研修に参加したり、 天竜ラボの生徒が常葉大学と連携して天 竜おにぎり交流会を実施したりして、天 竜地区の課題探究活動を行った。</p> <p>ケ 浜北西高校を拠点校とする探究コンソ ーシアムに連携校として参加し、各科、 各教科、行事等で探究的な学習や活動を 推進した。</p>
令和7年度	<p>地域の行政や企業等との協働により、校内に留 まらない多様な学びの機会を創出することによ り、生徒の成長を図り、自ら未来を切り開く人財、 地域を支える人財の育成を目指す。</p> <p>ア 地域協働センター 浜松市との連携協定等を活用し、「総合的な 探究の時間」等の地域と連携した授業や、「就 業探究」、生徒有志による「天竜ラボ」、「天竜 区の未来を考える若者会議」、「天竜クリーンア ップ大作戦」、部活動によるボランティア活動 等を行う。</p> <p>イ 学習発表会 探究学習の発表会において、生徒が主体とな って本校の学びを活かしつつ地域産業等と連 携した企画を実施する。</p> <p>ウ インターンシップ事業(天竜フォレストガイ ダンス、高性能林業機械講座、スマート林業講</p>	<p>生徒が、授業や行事等で地域の多様な人 や団体等と関わることで、学びを広げ、主 体的に自ら未来を切り開く人財、地域を支 える人財として成長する機会を持っている。</p> <p>ア 授業や行事、地域の交流イベントへの 参加、生徒による地域課題の解決に向け た取組など、生徒が地域の関係機関と交 流・協働し、地域理解・地域探究につな がる学習活動を教科、学科等の枠組みを 超え、領域横断的に行う環境の整備、提 供を分掌として行っている。</p> <p>イ 生徒が主体的に企画、調整等を行い、 実施に向けて準備をしている。</p> <p>ウ 実施に向けて準備をしている。</p>

年度	取組概要	成果及び課題
	<p>座) 森林・環境科において、専門的な職業観を高めるために、各類型で学んだことに関連のある内容でインターンシップ事業を実施する。</p> <p>エ 福祉科企画イベント 社会福祉協議会と連携し、「スマホなんでも相談室」を3月に、e-スポーツで交流する企画を10月に実施する計画である。 地域スーパーマーケットの2階会議室を利用し、地域のお年寄りを招いたクリスマス会を実施する計画である。</p> <p>オ 地域と連携した進路指導 1年次から大学や専門学校等を招き、生徒の社会や職業への知見を広める機会を創出した。 また、2年次7月に「就業探究」を地元企業の協力の下、実施した。 3年生就職希望者に対して外部専門家を招いて、公務員試験の勉強会、チエルコミュニケーションブリッジ、ハローワーク、本校PTAによる面接指導(8月、9月)を実施し、主体的に自らの未来を切り開く力を高める。</p> <p>カ 東京キャリア研修(ディズニーアカデミー) ディズニーアカデミーの研修受講と現地見学等を行い、コミュニケーション能力の育成、キャリア教育、集団行動、「おもてなしの心」、マナー、探究活動など、課題解決の力を鍛える。</p> <p>キ 「天竜文学賞」 高校生のための読書アクションとして、高校生が高校生に薦める本の選考を春野校舎と共同で生徒が行い、その選考過程を通して、読み、考え、話し合うことによる読書体験をさせる。</p> <p>ク 高大連携事業 有志グループの「天竜ラボ」の生徒、ボランティア部の生徒等が近隣大学とのコラボレーションによる高大連携事業を実施し、生徒の学びを充実させる。</p> <p>ケ 「行きたい学校づくり」探究学習推進の実施(3年計画2年目) 浜松北部の高校・特別支援学校と連携し、探究コンソーシアムを構築する。</p>	<p>エ 実施に向けて準備をしている。</p> <p>オ 1年次は、社会や進路に関する視野を広げることができ、系列の選択等も主体的に考えることができた。 2年次は、インターンを経験することにより、就業観等を養うことができた。 3年次は、これまでの学習や経験を通して自分の将来に関して、真剣に向き合う姿や努力する姿が見られている。</p> <p>カ 1学年生徒がディズニーアカデミーのオンライン研修を受講した後、11月に現地においてパーク体験することにより、キャストの活動を中心に、キャリア教育、「おもてなしの心」、探究活動を意識し、将来を考えるきっかけとする。</p> <p>キ 9月に選考会を行い、受賞作を決定する。受賞作品を生徒に広報し、読書を勧める。</p> <p>ク ボランティア部の生徒が静岡文化芸術大学との共催で国登録有形文化財の建造物である旧田代家のイベントを実施したり、総合学科の1年生が愛媛大学、東京大学と連携した防災研修に参加したりして、天竜地区の課題探究活動を行った。</p> <p>ケ 浜北西高校を拠点校とする探究コンソーシアムに連携校として参加し、各科、各教科、行事等で探究的な学習や活動を推進する。</p>

<春野校舎>

年度	取組概要	成果と課題
令和6年度	<p>ア 基礎学力の向上 少人数制を生かし、対話的に授業を進めるとともに家庭学習の習慣化を目指して学習ノートの回収・点検を行った。また、必要な生徒に学習支援のための基礎補習を放課後に実施した。</p>	<p>ア ホームルーム担任が学習ノートを毎日回収し、点検を行った。また、学年ごと週末課題を課した。基礎学力補習は、進学補習と平行して学習等支援事業として放課後に実施した。(年間47回実施、22人参加)</p>
	<p>イ 多様な生徒への支援体制 生徒サポート委員会を週1回程度開催することに加え、職員会議では配慮が必要な生徒に関する情報交換を行った。</p>	<p>イ 生徒サポート委員会では、生徒の情報の共有を図った。職員会議においても配慮を要する生徒についての情報交換を行うなど、情報共有の徹底と、スクールカウンセラーへの連絡、全教員による適切な声かけなど組織的な対応を行った。</p>
	<p>ウ 支援が必要な生徒へのサポート 外部専門機関の職員を講師として招請し、人間関係づくりやコミュニケーションスキルの向上をサポートした。</p>	<p>ウ 1・2年生を対象に人間関係づくりを目的に外部講師を招請してコミュニケーションスキルトレーニングを実施した。(年間13回、計26時間) 天竜特別支援学校の特別支援コーディネーターと連携を図り、支援を必要とする生徒に対する適切な支援のあり方について協議を行った。</p>
	<p>エ 「GIGA スクールサポート充実事業」用機器の活用 令和3年度に導入したクロームブック44台及び一人一台端末を活用した分かりやすい授業の実践に向けて互見授業による研究を実施した。</p>	<p>エ デザインツール canva を活用した授業実践や生徒発表等、授業での活用が多く見られた。また、ロイロノートを試験的に導入し、授業だけではなく生徒への連絡手段として利用するなど、授業の改善や業務の効率化に繋がった。</p>
	<p>オ 「行きたい学校づくり」探究学習推進の実施(3年計画1年目) 中山間地域における地域資源を活用した多様な学習機会の在り方について研究した。</p>	<p>オ 「地域学」などの探究活動を通して、地域の自然、産業、歴史、文化などについて多角的な視点で捉え、調べ学習や体験活動を協働で行った。地域での探究活動に主体的に取り組み、学習成果をまとめ、発表することができた。</p>
	<p>カ 「はるてんむすび」商品開発 地元の特産品を盛り込んだおむすびを生徒有志が開発、販売した。</p>	<p>カ 平成30年に作成された春野キャラクターをモチーフに、地元の農家や養魚所等と協力した取組となった。</p>

年度	取組概要	成果と課題
令和7年度	<p>ア 基礎学力の向上 少人数制を生かし、対話的に授業を進めるとともに家庭学習の習慣化を目指して学習ノートの回収・点検を行う。また、学び直しが必要な生徒に、学習支援のための基礎補習を放課後に実施する。</p>	<p>ア ホームルーム担当が学習ノートを毎日回収し、点検を行う。また、学年ごと週末課題を課している。基礎学力補習は、進学補習と平行して学習等支援事業として放課後に実施している。(年間43時間予定)</p>
	<p>イ 多様な生徒への支援体制 生徒サポート委員会を週1回程度開催することに加え、職員会議では配慮が必要な生徒に関する情報共有を行う。</p>	<p>イ 生徒サポート委員会において、様々な生徒の情報の共有化を図っている。職員会議においても配慮を要する生徒についての情報を共有している。また、スクールカウンセラーや通級講師も含めた全教職員による適切な対応を組織的に行っている。</p>
	<p>ウ 支援が必要な生徒へのサポート 外部専門機関の職員を講師として招請し、人間関係づくりやコミュニケーションスキルの向上をサポートする。</p>	<p>ウ 1・2年生には人間関係づくりを目的に外部講師を招請してコミュニケーションスキルトレーニングを実施する。(年間13回、計26時間) 通級講師による研修を計画的に行い、特別な指導を必要とする生徒について、教職員の知識や実践的な指導力の向上を目指している。</p>
	<p>エ 天竜文学賞 高校生のための読書アクションの取組として、二俣校舎と合同で実施している。ノミネートされた4冊から話し合いによる選考を経て、「高校生が選ぶ高校生のための天竜文学賞」を決定する。</p>	<p>エ 9月3日に校舎内での選考会を実施後、二俣校舎にて合同選考会を行う。</p>
	<p>オ 「行きたい学校づくり」探究学習推進の実施(3年計画2年目) 浜北西高校を拠点とした、浜松北部の高校・特別支援学校と連携し、探究学習を推進する。</p>	<p>オ 地域の自然や文化に触れる体験的なプログラムを通して、地域の課題や解決したい願いを見付け、解決に向けた取組を推進する。また、探究学習の成果をまとめ、発表する。</p>
	<p>カ 「はるてんむすび」による地元PR 令和6年度に引き続き、地元の特産品を盛り込んだおむすびによる地域PRに取り組む。</p>	<p>カ 昨年度の担当生徒及び1年生を中心に、地元について理解を深めながらよりよいPR方法等について研究する。</p>

r

5 教職員について

<本校>

(1) 令和6年度異動状況

(単位：人)

区分	本務職員													任期付・臨時・会計年度任用職員											合計		
	教育職員							行政職員						本務計	任期付			臨時職員					会計年度任用職員			臨時等計	
	校長	副校長	教頭	教諭	勤務教職員 短時間	養護教諭	主任実習助手	実習助手	小計	事務長	主任	主任	主任技能員		小計	教諭	教諭	実習助手	主事	非常勤講師	非常勤嘱託員	非常勤 労務職員	非常勤 部活動指導員	A L T			学校歯科医
転出者				9				9	1				1	10											0	10	
退職者				1				1					0	1	1		1		5	1			2	1	11	12	
役職定年 再任用 (退職)				2				2					0	2										0	0	2	
転入者				5				5	1				1	6										0	6		
新任者				2			1	3					0	3		1			3				1	1	6	9	
役職定年 再任用 (新任)				1				1					0	1										0	0	1	
差引増減	0	0	0	4	0	0	0	1	3	0	0	0	0	3	1	1	1	0	2	1	0	1	0	0	5	8	

(2) 現員数

(令和7年7月31日現在) (単位：人)

本務職員													任期付・臨時・会計年度任用職員・校医等											合計	
教育職員							行政職員						本務計	任期付			臨時職員					臨時等計			
校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	主任実習助手	実習助手	小計	事務長	主任	主任	主任技能員	小計		教諭	教諭	主事	非常勤講師	非常勤嘱託員	非常勤 労務職員	非常勤 部活動指導員	A L T		カ ウ ン セ ラ ー		校 医 等
1	1	1	40	1	2	4	50	1	1	2	2	6	56	1	3	1	10		4	1	1	3	5	29	85

再任用職員(教諭)...週38時間45分 2人・週19時間25分 1人、
再任用職員(主任)...週38時間45分 1人 再任用職員(主任技能員)...週38時間45分 2人

(3) 健康管理について

ア 健康管理状況について

- (ア) 令和6年度定期健康診断の受診率は100%であった。令和7年度も受診可能者の受診率100%を目指している。
- (イ) 検査結果により精密検査、定期検査を勧め、疾病の早期発見・早期治療につながるよう指導している。
- (ウ) 健康管理のため毎週月曜日を定時退勤日としている。
- (エ) 新型コロナやインフルエンザの流行が予測されるため手洗いうがいの注意喚起を行った。

(単位：人)

健診区分	年度等	令和6年度			令和7年7月31日現在		
		対象者数	受診者数	未受診者数	対象者数	受診者数	未受診者数
指定年齢		8	8	0	9	1	8
人間ドック		32	32	0	30	4	26
生活習慣病検診		23	23	0	21	20	1
脳ドック		4	4	0	7	0	7

イ 職場環境の向上について

- (ア) 職員安全衛生委員会の毎月1回開催
- (イ) 職員健康づくり講座の年間1回開催

ウ 実績(成果)と課題

職員安全衛生委員会等を通して、職員の健康管理に関する意識を高めている。

毎週月曜日を定時退勤日、20:00を最終退勤時間として設定し、職員室内に掲示するとともに声掛けを行うようにしている。また、疲労回復のために年次有給休暇の有効な利用を呼び掛けている。

(4)教職員の研修について

ア 令和6年度

目的	研修内容及び成果
ICT活用をして授業改善を図り、教員のスキルを高め、生徒にとってわかりやすい授業を進め、学力向上を目指す。	4月：教育活動についての理解を深める。(生徒指導、進路指導、エピペン講習等) ICT推進委員会で授業改善の検討 5月：ICT活用事例研修 6月：授業の相互参観 自動採点システムの活用 7月：ICT活用事例研修 9月：ICTを活用した授業推進研修 10月：canva活用研修 2月：canvaを使った動画作成研修
教職員の資質向上を図るとともに、働き方に関する意識改革を推進し、業務分担の適正化を図る。	教科指導や生徒指導等に関する研修会を実施する。教職員経験者研修が充実した研修となるよう、各課・各分掌との連携を強化するとともに、自律的、主体的に学び合う教職員関係を目指す。また、研修を通して校内の組織・業務の理解を深め、業務の効率化を進める。
不祥事を根絶する	4月 校長訓示(教育に携わる者としての在り方) 不祥事根絶計画、コンプライアンスの徹底について 教職員の生徒指導に係る共通ルール確認 教育情報セキュリティ研修(生徒の情報資産を守る) 5月 不祥事根絶取組計画、コンプライアンスの徹底について 学校徴収金等事務処理基準の説明、適正な会計処理について注意喚起 人事評価面談を利用した職員との対話 6月 人権教育担当者研修の報告 ハラスメント自己チェックシート、スクールセクハラチェックシートへの記入、グループ意見交換 児童生徒が被害者となる不祥事案等の根絶 交通事犯・事故の削減 7月 生徒の個人情報の取り扱いについて 綱紀の厳正な保持について 8月 特別支援教育伝達講習 性暴力等について 9月 個人情報収集基準について コンプライアンスの徹底について 10月 多様な学習ニーズへの対応について コンプライアンス通信の活用 11月 個人情報の取り扱いに関する注意喚起 ワークシートを活用したコンプライアンス研修 12月 アンガーマネジメント動画視聴、意見交換

目 的	研修内容及び成果
	交通事故・飲酒運転の防止、暴力根絶等に関するコンプライアンス研修 1月 人事評価面談での振り返りと懇談・相談 2月 コンプライアンス委員会での意見交換 不祥事根絶研修 3月 年度未会計処理についての注意喚起

イ 令和7年度

目 的	研修内容及び成果
ICT活用をして授業改善を図り、教員のスキルを高め、生徒にとってわかりやすい授業を進め、学力向上を目指す。	5月：ICT活用研修（百問繚乱） 9月：ICT活用研修 1月：ICT活用研修
安心・安全な環境整備	4月 エピペン講習会 5月 職員防災ツアー
教職員の資質向上を図るとともに、働き方に関する意識改革を推進し、業務分担の適正化を図る。	教科指導や生徒指導等に関する研修会を実施する。教職員経験者研修が充実した研修となるよう、各課・各分掌との連携を強化するとともに、自律的、主体的に学び合う教職員関係を目指す。また、研修を通して校内の組織・業務の理解を深め、業務の効率化を進める。 4月 授業参観週間（約10日）を設定し、授業力向上を図った
不祥事を根絶する	4月 校長訓示（教育に携わる者としての在り方） 不祥事根絶計画、コンプライアンスの徹底について 教職員の生徒指導に係る共通ルール確認 教育情報セキュリティ研修（生徒の情報資産を守る） 5月 不祥事根絶取組計画、運転免許確認、コンプライアンスの徹底について 学校徴収金等事務処理基準の説明、適正な会計処理について注意喚起 人事評価面談を利用した職員との対話 6月 性暴力初動対応マニュアル等について 暴言・体罰等に関するグループ意見交換 7月 交通事犯・事故の削減 綱紀の厳正な保持について

<春野校舎>

(1) 令和6年度異動状況

(単位:人)

区分	本務職員										臨時・会計年度任用職員						臨時等計	合計	
	教育職員					行政職員					臨時職員等		会計年度任用職員						
	副校長	教頭	教諭	勤務短時間教職員	養護教諭	小計	主査	主事	主任技能員	小計	本務計	教諭(臨時)	教諭(兼)	非常勤講師	非常勤嘱託員	非常勤労務職員			非常勤カウンセラー
転出者			3			3	1			1	4							0	4
退職者						0				0	0			1				1	1
役職定年再任用(退職)				1		1				0	1							0	1
転入者			3			3	1			1	4							0	4
新任者						0				0	0		2	1	1			4	4
役職定年再任用(新任)				1		1				0	1							0	1
差引増減	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	3	3

(2) 現員数

(令和7年7月31日現在)

(単位:人)

本務職員										臨時・会計年度任用職員・校医等							臨時等計	合計
教育職員					行政職員					臨時職員等		会計年度任用職員				校医等		
副校長	教頭	教諭	養護教諭	小計	主査	主事	主任技能員	小計	本務計	教諭(臨時)	教諭(兼務)	非常勤講師	非常勤嘱託員	非常勤労務職員	非常勤カウンセラー			
1	1	10	2	14	1	1	1	3	17	1	2	9	1	1	1	3	18	35

再任用職員(教諭)...週38時間45分 1人・週19時間25分 1人、

再任用職員(養護教諭)...週38時間45分 1人、再任用職員(主任技能員)...週38時間45分 1人

(3) 健康管理について

ア 健康管理状況について

(ア) 健康管理の面から毎週月曜日を定時退勤日にしている。

(イ) 定期健康診断として生活習慣病健診等を積極的に受診するよう指導し、疾病の早期発見・早期治療につながるよう指導している。

(単位:人)

健診区分	令和6年度			令和7年7月31日現在		
	対象者数	受診者数	未受診者数	対象者数	受診者数	未受診者数
指定年齢	0	0	0	1	0	1
人間ドック	7	7	0	8	0	8
生活習慣病健診	11	11	0	9	9	0
脳ドック	0	0	0	1	0	1

イ 職場環境の向上について

(ア) 職員安全衛生委員会の毎月1回開催

(イ) 職員健康講座の開催

令和6年度は、養護教諭が講師となり、災害や疾病等による生徒、教職員の万一の場合を想定し、担架の使い方、救急車の呼び方など対処の仕方を身につけた。

ウ 実績（成果）と課題

職員安全衛生委員会等を通して、職員の健康管理に関する意識を高めている。また、養護教諭が定期的に発行する健康通信により、時節に応じた健康管理の情報を周知している。

毎週月曜日を定時退勤日として設定し、疲労が蓄積しない環境を整えるほか、疲労回復のために年次有給休暇の有効な利用を呼び掛けている。

(4) 教職員の研修について

ア 令和6年度

目的	研修内容	成果と課題
多様な生徒一人ひとりを尊重した支援・指導のあり方	4月・生徒情報の共有を行った。 5月・TK式検査結果について全職員で情報を共有した。 6月・生徒の心身状態に関するアンケート（すみれアンケート第1回）の結果を共有した。 7月・通級講師による研修会「発達障害について～特性に着目しながら相談業務と生徒指導をつなぐ～」を実施した。 9月・通級講師による研修「特別支援と進路指導」を行った。 11月・互見授業を実施し、ICTの活用による授業支援の工夫の仕方について情報共有を行った。 12月・生徒の心身状態に関するアンケート（すみれアンケート第2回）の結果を参考に、生徒の変容について共有した。	特別な支援を必要とする生徒の数は年々増加している。サポート委員会を時間割に位置付け、生徒の進捗状況を伝え合っていることの意義が大きいと考えられる。また、通級指導講師から教職員が発達支援に関して知識を学び、理解を深めていることも大変役に立っている。今後は、生徒が成長していけるよう、全校支援体制の組織力の向上と支援の実効性が課題となっている。
救急法を知る。防災意識を高める。	4月 事故発生時の救急体制とAED、担架の配置場所を確認した。 7月・アレルギー疾患等で管理を要する生徒について、具体的な取り組みについてプランの共有を図った。 9月 職員救急法講習会により担架の使い方、救急車の呼び方等を演習した。 3月 学校における防災備蓄食料の保管等について、全職員で確認を行った。	AED講習は毎年実施している。災害・疾病等による生徒・教職員の万一の場合を想定して、対処の仕方を身に付けた。 備蓄食料の安全な保管方法や本校における保管場所等について毎年確認している。

目的	研修内容	成果と課題
不祥事を根絶する。	4月 校長訓示（学校経営目標の中の教員の姿勢） 教職員の生徒指導に係る共通ルールについて 不適切な言動（暴言）について 5月 学校徴収金等事務処理基準についての説明 会計処理の取扱い等の注意喚起 人事評価期首面談を利用した職員との対話 6月 情報漏洩防止について コンプライアンス動画の視聴、グループ協議 児童生徒に対する体罰や不適切な言動について 7月 交通安全への取組 網紀の厳正な保持等 9月 情報セキュリティについて 10月 リスクマネジメント（自分事としてとらえるとは） 11月 生徒に対する不適切な対応（グループワーク） 12月 網紀の厳正な保持について ハラスメントについて協議 2月 コンプライアンス研修 3月 コンプライアンスの徹底について 1年の振り返り	不祥事根絶への取組を積極的に行い、グループによる話し合い等を通して教職員の職務の責任と倫理感の意識を高めた。

イ 令和7年度

（令和7年7月31日現在）

目的	研修内容
生徒一人ひとりを尊重した多様な学びの支援について	4月・健康上配慮が必要な生徒の情報共有 5月・生徒支援、教育相談体制について共有 6月・春野すみれアンケート結果の共有 7月・ソーシャルスキルトレーニングについて
救急法を知る。 防災意識を高める	4月 事故発生時の救急体制について 緊急非常事態への対応について 5月 アレルギー疾患等で管理を要する生徒の取り組みプラン
不祥事を根絶する。	4月 校長訓示（学校経営計画書の中の教職員の姿勢） 安全安心な学校づくりを目指して（体罰・不適切な言動のない学校づくり） 5月 学校徴収金等事務処理基準についての説明、会計処理の取扱い等の注意喚起 人事評価期首面談を利用した職員との対話 6月 交通事故・事犯について事例から学ぶ コンプライアンス動画の視聴 7月 児童生徒性暴力等の防止について、事案の早期発見について

6 防災対策について

<本校>

（令和6年度）

取組目標	成果目標	実績（成果）と課題
危機管理意識の向上を図る。	防災訓練を2回実施する。 防災設備、備蓄食料の確認、点検を実施する。	4月 地震発生時の避難訓練、帰宅集団の組織編成 11月 地震及び火災発生時の避難訓練と防災組織の役割分担による班別訓練を天竜消防署等の協力を得て実践的になるよう工夫をして実施した。 5月 「校内防災ツアー」の実施 防災設備、備蓄食料の確認、点検 マンホールトイレの組み立て

取組目標	成果目標	実績（成果）と課題
施設設備を整備して、安全で快適な教育環境の充実に努める。	施設設備の点検 （月2回以上） 危険箇所の確認、迅速な修理による危険回避	月2回の定期点検の実施など施設の維持管理に努めた。 定期や随時の点検により必要な修繕を行い、危険除去に努めた。

（令和7年度）

（令和7年7月31日現在）

取組目標	成果目標	実績（成果）と課題
危機管理意識の向上を図る。	防災訓練を2回実施する。 防災設備、備蓄食料の確認、点検を実施する。	4月 地震発生時の避難訓練、帰宅集団の組織編成 10月 地震及び火災発生時の避難訓練 防災組織の役割分担による班別訓練 5月 「校内防災ツアー」の実施 防災設備、備蓄食料の確認・点検、災害用マンホールトイレの組立・解体を行い、防災意識を高めた。
施設設備を整備して、安全で快適な教育環境の充実に努める。	施設設備の点検 （月2回以上） 危険箇所の確認、迅速な修理による危険回避	定期点検を実施し、安全安心な施設管理を徹底する。 危険箇所の早期発見に努め、必要な修繕を行う。

<春野校舎>

（令和6年度）

取組目標	成果目標	実績（成果）と課題
発災時の対処を身に付ける。	防災訓練の実施 （年3回実施）	4月：校舎内からの火災発生を想定した避難訓練と通学区別の集合訓練 9月：授業中の突発地震を想定し、ガラス飛散の危険に対応した避難訓練と通学区別集合訓練 3月：消防署職員による、火災発生時の消火器による初期消火及び緊急通報の講習とう実習 生徒・職員の災害時への意識の向上を図ることができた。 今後、生徒の防災意識をさらに高揚させられるような訓練を計画したい。
施設設備を整備して、安全で快適な教育環境の充実に努める。	施設設備の点検 （月1回以上） 危険箇所の確認、迅速な対応による危険回避	生徒が安全・安心な学校生活を送るため、毎日の校内巡視や定期的施設設備の点検に加えて、生徒・保健課が実施する安全点検の結果に留意し、施設・設備の異常箇所について早期に発見、改善に努めた。

（令和7年度）

（令和7年7月31日現在）

取組目標	成果目標	実績（成果）と課題
発災時の対処を身に付ける。	防災訓練の実施 （年3回実施予定）	4月：火災発生を想定した避難訓練と通学区別の集合訓練 9月：突発地震を想定した避難訓練と通学区別の集合訓練 3月：避難時における防災知識の講習
施設設備を整備して、安全で快適な教育環境の充実に努める。	施設設備の点検 （月1回以上） 危険箇所の確認、迅速な対応による危険回避	定期的に校内を巡視し、老朽箇所や危険箇所を早期発見するとともに、必要な整備、修繕を行う。

7 学校開放について

<本校>

施設開放の実施

(令和6年度)

施設名	利用種目	利用日数	利用者数	摘要
武道場	剣道、柔道	59日	617人	電気料利用者負担 169,989円
体育館	ハンドボール	211日	5,323人	
アリーナ	ハンドボール	91日		
計		361日	5,940人	

(令和7年度)
(令和7年7月31日現在)

施設名	利用種目	利用日数	利用者数	摘要
武道場	剣道	17日	188人	電気料利用者負担 54,845円
体育館	バレーボール	2日	26人	
体育館	ハンドボール	79日	2,155人	
アリーナ	ハンドボール	33日		
計		131日	2,369人	

<春野校舎>

施設開放の実施

(令和6年度)

施設名	利用種目	利用日数	利用者数	摘要
生活館	駅伝	1日	30人	電気料利用者負担 4,068円
体育館	バレーボール	8日	75人	
グラウンド	野球	92日	4,158人	
計		101日	4,263人	

(令和7年度)
(令和7年7月31日現在)

施設名	利用種目	利用日数	利用者数	摘要
体育館	バレーボール	2日	22人	電気料利用者負担 723円
グラウンド	野球	29日	1,410人	
計		31日	1,432人	

事務執行の根拠法令調

項 目	根 拠 法 令
1 学校教育に関する こと	教育基本法（第1条、第2条） 学校教育法（第1条、第2条、第3条、第50条、第51条、第52条、 第56条、第57条、第59条、第62条） 学校教育法施行規則 静岡県立学校設置条例 静岡県立高等学校学則 高等学校学習指導要領 理科教育振興法（第11条） 理科教育振興法施行令 産業教育振興法（第18条） 産業教育振興法施行令
2 学校の管理・ 運営に関する こと	学校教育法（第12条、第60条、第137条） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第33条） 教育公務員特例法（第17条、第18条、第21条、第22条、第23条、 第24条、第25条） 学校保健安全法（第5条、第13条、第15条、第27条） 社会教育法（第43条、第45条、第47条） 学校図書館法（第3条、第4条、第5条） いじめ防止対策推進法 独立行政法人日本スポーツ振興センター法（第16条、第17条） 高等学校等就学支援金の支給に関する法律 高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行令 高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行規則 高等学校等修学支援事業費補助金（高校生等臨時支援）交付要綱 静岡県立学校の授業料等の徴収に関する条例 静岡県立学校授業料等徴収規則 静岡県手数料徴収条例 静岡県手数料徴収条例施行規則 静岡県立学校管理規則 静岡県教育委員会処務規程 静岡県立高等学校学則 静岡県高等学校等教育資金及び高等学校等奨学金貸与規則 静岡県情報公開条例施行規則 静岡県立学校職員安全衛生管理規程 静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱 高等学校遠距離通学費補助金交付要綱

学校施設の概要

(本校)

1 面積及び所有区分

(令和7年7月31日現在)

区 分	面 積 m ²	所 有 内 訳					摘 要
		県 有 m ²	国 有 m ²	市町村有 m ²	後援会有 m ²	民 有 m ²	
学校敷地	79,524.11	78,784.42		665.00		74.69	
内 訳	校舎敷地	25,308.92	25,308.92				
	運動場敷地	14,618.05	13,972.05	646.00			
	その他の敷地	39,597.14	39,503.45	19.00		74.69	旧二俣高校跡地 (38,157.78m ²)含む。
実習地	6,879.01	6,879.01					
内 訳	畑	6,879.01	6,879.01				
演習林	328,523.45	328,523.45					大沢 314,969.67 山香 13,553.78
校 舎	建 5,118.05	5,118.05					
	延 12,994.76	12,994.76					
体 育 館	建 2,322.13	2,322.13					
	延 3,100.03	3,100.03					
武 道 場	建 512.62	512.62					
	延 512.62	512.62					
その他の建物	建 6,150.38	6,044.68			105.70		P T A等所有
	延 11,424.02	11,271.52			152.50		旧二俣高校建物 含む。
生 活 館	建 349.54				349.54		同窓会所有
	延 327.58				327.58		
プ ール	400.00	400.00					25m × 16m 7コー入

2 配置・規模等

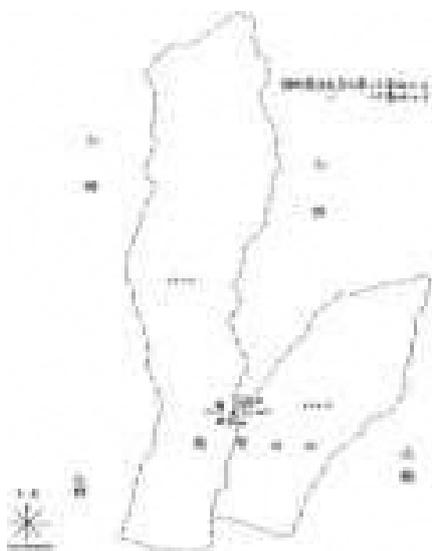
(1) 校舎等の配置図

校舎



演習林（大沢）

静岡県浜松市天竜区山東23番地の2
" 23番地の3



演習林（山香）

静岡県浜松市天竜区佐久間町大井宮下310番地
" 314番地



二俣高等学校跡地

静岡県浜松市天竜区二俣町二俣196-2



(2) 学校施設の規模等（法面・演習林等を除く）

区分	学校敷地面積	校舎延面積	運動場面積
当校	40,626.64 m ²	12,994.76 m ²	13,972.05 m ²
県平均	45,574.48 m ²	9,782.41 m ²	22,506.84 m ²

学校施設の概要

(春野校舎)

1 面積及び所有区分

(令和7年7月31日現在)

区 分	面 積 m ²	所 有 内 訳					摘 要
		県 有 m ²	国 有 m ²	市町村有 m ²	後援会有 m ²	民 有 m ²	
学校敷地	41,727.91	41,727.91					
内 訳	校舎敷地	16,579.57	16,579.57				
	運動場敷地	15,552.68	15,552.68				
	その他の敷地	9,595.66	9,595.66				
校 舎	建 1,196.00	1,196.00					
	延 3,805.15	3,805.15					
体 育 館	建 1,078.34	1,078.34					
	延 1,129.78	1,129.78					
武 道 場	建 726.54	726.54					
	延 726.54	726.54					
その他の建物	建 655.74	579.18			76.56		
	延 655.74	579.18			76.56		
生 活 館	建 590.16	590.16					
	延 778.94	778.94					
プ ー ル	400.00	400.00					25m × 16m 8コース

2 配置・規模等

(1) 校舎等の配置図



(2) 学校施設の規模等（法面・演習林等を除く）

区分	学校敷地面積	校舎延面積	運動場面積
当校	36,338.18㎡	3,805.15㎡	15,552.68㎡
県平均	45,574.48㎡	9,782.41㎡	22,506.84㎡

在 籍 生 徒 調

(令和7年7月31日現在)

学年	学科別 区分	森林・環境科				福祉科				総合学科				本校計				普通科(春野校舎)				合計			
		定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	合計
1年	入学者	40	35	5	40	20		4	4	80	28	55	83	140	63	64	127	35	12	11	23	175	75	75	150
	増加																		1		1		1		1
	減少																								
	現在		35	5	40			4	4		28	55	83		63	64	127		13	11	24		76	75	151
2年	入学者	40	30	10	40	20		6	6	120	49	43	92	180	79	59	138	35	15	7	22	215	94	66	160
	増加																								
	減少		3		3						4	1	5		7	1	8		1	3	4		8	4	12
	2年時当初		27	10	37			6	6		45	42	87		72	58	130		14	4	18		86	62	148
	増加																								
	減少																								
	現在		27	10	37			6	6		45	42	87		72	58	130		14	4	18		86	62	148
3年	入学者	40	26	14	40	20	2	2	4	120	67	39	106	180	95	55	150	35	17	14	31	215	112	69	181
	増加																								
	減少		3		3						8	2	10		11	2	13		2	4	6		13	6	19
	2年時当初		23	14	37		2	2	4		59	37	96		84	53	137		15	10	25		99	63	162
	増加																								
	減少		1		1						4		4		5		5						5		5
	3年時当初		22	14	36		2	2	4		55	37	92		79	53	132		15	10	25		94	63	157
	増加																								
	減少																								
現在		22	14	36		2	2	4		55	37	92		79	53	132		15	10	25		94	63	157	
合計		84	29	113		2	12	14		128	134	262		214	175	389		42	25	67		256	200	456	

入学志願者及び入学者数調

区 分	3 年 度			4 年 度			5 年 度				
	森林・ 環境科	総合学科	春野校舎 普通科	森林・ 環境科	総合学科	春野校舎 普通科	森林・ 環境科	福祉科	総合学科	春野校舎 普通科	
生徒定員(A)	40	160	35	40	160	35	40	20	120	35	
募集者数(B)	40	160	35	40	160	35	40	20	120	35	
志願者数	男	40 (0)	80 (0)	12 (0)	31 (0)	74 (1)	16 (0)	29 (0)	5 (0)	67 (1)	22
	女	10 (0)	53 (0)	8 (0)	4 (0)	56 (3)	4 (1)	16 (0)	3 (0)	39 (0)	16 (2)
	計(C)	50 (0)	133 (0)	20 (0)	35 (0)	130 (4)	20 (1)	45 (0)	8 (0)	106 (1)	38 (2)
受検者数	男	40 (0)	80 (0)	12 (0)	31 (0)	73 (1)	16 (0)	29 (0)	5 (0)	67 (1)	21
	女	10 (0)	53 (0)	7 (0)	4 (0)	55 (2)	4 (1)	16 (0)	3 (0)	39 (0)	16 (2)
	計(D)	50 (0)	133 (0)	19 (0)	35 (0)	128 (3)	20 (1)	45 (0)	8 (0)	106 (1)	37 (2)
合格者数	男	32 (0)	86 (0)	12 (0)	30 (0)	71 (1)	16 (0)	26 (0)	2 (0)	67 (1)	17
	女	10 (0)	52 (0)	7 (0)	4 (0)	54 (2)	2 (0)	14 (0)	2 (0)	39 (0)	14 (1)
	計(E)	42 (0)	138 (0)	19 (0)	34 (0)	125 (3)	18 (0)	40 (0)	4 (0)	106 (1)	31 (1)
志願倍率(C)/(B)	1.25	0.83	0.57	0.88	0.79	0.54	1.13	0.40	0.88	1.03	
受検倍率(D)/(B)	1.25	0.83	0.54	0.88	0.78	0.54	1.13	0.40	0.88	1.00	
入学者数	男	32	86	12	30	71	16	26	2	67	17
	女	9	52	7	4	54	2	14	2	39	14
	計(F)	41	138	19	34	125	18	40	4	106	31
充足率(F)/(A)	1.03	0.86	0.54	0.85	0.78	0.51	1.00	0.20	0.88	0.89	

区 分	6 年 度				7 年 度				
	森林・ 環境科	福祉科	総合学科	春野校舎 普通科	森林・ 環境科	福祉科	総合学科	春野校舎 普通科	
生徒定員(A)	40	20	120	35	40	20	80	35	
募集者数(B)	40	20	120	35	40	20	80	35	
志願者数	男	32 (0)	1 (0)	46 (2)	17 (0)	36 (0)	0 (1)	34 (0)	13 (0)
	女	10 (0)	9 (0)	40 (2)	7 (0)	6 (0)	5 (3)	58 (0)	11 (0)
	計(C)	42 (0)	10 (0)	86 (4)	24 (0)	42 (0)	5 (4)	92 (0)	24 (0)
受検者数	男	32 (0)	1 (0)	46 (2)	17 (0)	36 (0)	0 (1)	34 (0)	13 (0)
	女	10 (0)	9 (0)	40 (2)	7 (0)	6 (0)	5 (3)	58 (0)	11 (0)
	計(D)	42 (0)	10 (0)	86 (4)	24 (0)	42 (0)	5 (4)	92 (0)	24 (0)
合格者数	男	30 (0)	0 (0)	49 (2)	15 (0)	35 (0)	0 (0)	28 (0)	13 (0)
	女	10 (0)	6 (0)	43 (2)	7 (0)	5 (0)	3 (1)	55 (0)	11 (0)
	計(E)	40 (0)	6 (0)	92 (4)	22 (0)	40 (0)	3 (1)	83 (0)	24 (0)
志願倍率(C)/(B)	1.05	0.50	0.68	0.69	1.05	0.05	1.15	0.69	
受検倍率(D)/(B)	1.05	0.50	0.68	0.69	1.05	0.05	1.15	0.69	
入学者数	男	30	0	49	15	35	0	28	12
	女	10	6	43	7	5	4	55	11
	計(F)	40	6	92	22	40	4	83	23
充足率(F)/(A)	1.00	0.30	0.77	0.63	1.00	0.20	1.04	0.66	

卒業生の動向調

(本校)

1 進路状況

学 科 別	森林科	環境科	森林・環境科		総合学科			(計)			
	4年度	4年度	5年度	6年度	4年度	5年度	6年度	4年度	5年度	6年度	
卒業生徒数	21	20	39	31	109	120	110	150	159	141	
内 (進学志願者)	(4)	(5)	(14)	(7)	(53)	(40)	(41)	(62)	(54)	(48)	
進学者	大学・短大	4	2	5	4	27	19	15	33	24	19
	専修・各種学校等	0	3	9	3	25	19	25	28	28	28
小計	4	5	14	7	52	38	40	61	52	47	
就職者	17	15	25	24	56	80	66	88	105	90	
自営者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
進学準備者	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	
訳その他	0	0	0	0	0	1	3	0	1	3	
合計	21	20	39	31	109	120	110	150	159	141	

2 求人状況

区 分	4年度	5年度	6年度
就職希望者数	88	104	93
求人 数	400	400	400
求人 倍 率	4.5	3.8	4.3

3 資格取得状況

(令和6年度)

学 科 別	森林・環境科	総合学科	(計)
卒業生徒数	31	110	141
日本漢字能力検定	2 級	1	1
	準 2 級	1	2
	3 級	9	9
	4 級	1	3
実用英語検定	準 2 級	1	1
	3 級	2	3
被服製作技術検定(全高家庭科)	3 級	14	14
	4 級	15	15
食物調理技術検定(全高家庭科)	2 級	7	7
	3 級	9	9
	4 級	9	9
保育技術検定(全高家庭科)	3 級	9	9
	4 級	9	9
計算技術検定(工校長協)	3 級	7	18
フォークリフト運転技能講習		9	9
高性能林業機械講習修了		8	8
ビジネス文書実務検定(全商)	1 級	3	4
	2 級	8	9
	3 級	9	13
ビジネス計算実務(全商)	1 級	15	15
	2 級	4	4
簿記実務検定(全商)	2 級	3	3
	3 級	23	24
情報処理検定(ビジネス情報部門)	3 級	12	12
介護職員初任者研修課程修了		4	4
合 計	39	175	214

卒 業 生 の 動 向 調

(春野校舎)

1 進路状況

学 科 別		普 通 科		
年 度		4 年度	5 年度	6 年度
卒 業 生 徒 数		19	14	13
内 訳	(進学志願者)	13	11	5
	進 学 者	5	4	4
	専修・各種学校等	8	7	1
	小 計	13	11	5
就職者		5	3	7
自営者		0	0	0
進学準備者		0	0	0
その他		1	0	1
合 計		19	14	13

2 求人状況

区 分	4 年度	5 年度	6 年度
就職希望者数	3	3	7
求 人 数	34	33	33
求 人 倍 率	11.3	11.0	4.7

3 資格取得状況 (令和6年度)

学 科 別		普 通 科	
卒 業 生 徒 数		13	
实用英語技能検定	3 級	1	
日本漢字能力検定	2 級	1	
日本漢字能力検定	3 級	3	
全商ビジネス計算実務検定	3 級	4	
全商簿記実務検定	3 級	3	
合 計		12	

生徒の状況（本校）

1 生徒の出身地域及び通学方法

(1) 出身地 （令和7年7月31日現在）（単位：人）

市町名	湖西市	浜松市	磐田市	森町	袋井市	掛川市	合計
生徒数	1	261	101	10	14	2	389
構成比%	0.2%	67.1%	26.0%	2.6%	3.6%	0.5%	100.0%

(2) 通学方法 （令和7年7月31日現在）（単位：人）

区分	徒歩	自転車	バス	電車	その他	合計
生徒数	17	154	67	118	33	389
構成比%	4.4%	39.6%	17.2%	30.3%	8.5%	100.0%

2 部（クラブ）の加入状況

（令和7年7月31日現在）（単位：人）

区 分		運動部	文化部	未加入者	計
部（クラブ）数		11	8	/	19
男子	1年	38	25	0	63
	2年	49	16	7	72
	3年	38	22	19	79
	計（A）	125	63	26	214
	構成比	58.4%	29.4%	12.2%	100%
女子	1年	25	39	0	64
	2年	17	34	7	58
	3年	10	36	7	53
	計（B）	52	109	14	175
	構成比	29.7%	62.3%	8%	100%
合計	（A + B）	177	172	40	389
	構成比	45.5%	44.2%	10.3%	100%

生徒の状況（春野校舎）

1 生徒の出身地域及び通学方法

(1) 出身地 （令和7年7月31日現在）（単位：人）

市町名	浜松市	磐田市	掛川市	袋井市	森町	県外	合計
生徒数	28	11	1	15	11	1	67
構成比%	41.8%	16.4%	1.5%	22.4%	16.4%	1.5%	100%

(2) 通学方法 （令和7年7月31日現在）（単位：人）

区分	徒歩	自転車	バス	電車・バス	その他	合計
生徒数	3	4	38	13	9	67
構成比%	4.5%	6.0%	56.7%	19.4%	13.4%	100%

2 部（クラブ）の加入状況

（令和7年7月31日現在）（単位：人）

区 分		運動部	文化部	未加入者	計
部（クラブ）数		2	3	/	5
男子	1年	5	7	1	13
	2年	2	12	0	14
	3年	7	8	0	15
	計（A）	14	27	1	42
	構成比	33.3%	64.3%	2.4%	100%
女子	1年	1	10	0	11
	2年	1	3	0	4
	3年	1	8	1	10
	計（B）	3	21	1	25
	構成比	12.0%	84.0%	4.0%	100%
合計	（A + B）	17	48	2	67
	構成比	25.4%	71.6%	3.0%	100%

歳 入 予 算

一般会計

区 分	調 定 額 A	収 入 済 額	
		納 期 内 B	納 期 後 C
款 08使用料及び手数料	円 57,258,220	円 57,020,620	円 237,600
項 01使用料	56,286,620	56,049,020	237,600
目 09教育使用料	56,286,620	56,049,020	237,600
02全日制高等学校授業料	56,152,800	55,915,200	237,600
08庁舎等使用料	133,820	133,820	0
項 02手数料	971,600	971,600	0
目 07教育手数料	971,600	971,600	0
01高等学校入学料	904,000	904,000	0
02証明書発行手数料	32,400	32,400	0
04高等学校全日制入学検 定料	35,200	35,200	0
款 10財産収入	886,200	886,200	0
項 01財産運用収入	755,500	755,500	0
目 01財産貸付収入	755,500	755,500	0
02土地貸付料	755,500	755,500	0
項 02財産売払収入	130,700	130,700	0
目 02物品売払収入	11,610	11,610	0
01不用品売払収入	11,610	11,610	0
目 03生産物売払収入	119,090	119,090	0
07学校生産物売払収入	119,090	119,090	0
款 14諸収入	1,616,538	1,614,838	1,700
項 07雑入	1,616,538	1,614,838	1,700
目 02雑入	1,616,538	1,614,838	1,700
87保険料負担金	1,119,433	1,119,433	0
保険料負担金	367,646	367,646	0
非常勤職員	751,787	751,787	0
90雑収	497,105	495,405	1,700

執 行 状 況 調

(令和 6年度)
(令和 7年 4月30日現在)

不 納 欠 損 額 D	収 入 未 済 額			収 入 歩 合 A-D-F	納 期 内 収 入 率 B A-D-F
	納 期 限 経 過 E	納 期 限 未 到 来 F	計		
円 0	円 0	円 0	円 0	% 100.0	% 99.5
0	0	0	0	100.0	99.5
0	0	0	0	100.0	99.5
0	0	0	0	100.0	99.5
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	99.8
0	0	0	0	100.0	99.8
0	0	0	0	100.0	99.8
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	99.6

様式第 5 号

一般会計

区 分	調 定 額 A	収 入 済 額	
		納 期 内 B	納 期 後 C
計	円 59,760,958	円 59,521,658	円 239,300

(令和 6年度)
(令和 7年 4月30日現在)

不 納 欠 損 額 D	収 入 未 済 額			収 入 歩 合 $\frac{B+C}{A-D-F}$	納 期 内 収 入 率 $\frac{B}{A-D-F}$
	納 期 限 経 過 E	納 期 限 未 到 来 F	計		
円 0	円 0	円 0	円 0	% 100.0	% 99.5

歳 入 予 算

一般会計

区 分	調 定 額 A	収 入 済 額	
		納 期 内 B	納 期 後 C
款 08使用料及び手数料	円 6,008,110	円 5,997,610	円 10,500
項 01使用料	5,151,610	5,141,110	10,500
目 10教育使用料	5,151,610	5,141,110	10,500
02全日制高等学校授業料	5,019,300	5,019,300	0
08庁舎等使用料	132,310	121,810	10,500
項 02手数料	856,500	856,500	0
目 09教育手数料	856,500	856,500	0
01高等学校入学料	847,500	847,500	0
02証明書発行手数料	9,000	9,000	0
款 10財産収入	836,860	836,860	0
項 01財産運用収入	755,500	755,500	0
目 01財産貸付収入	755,500	755,500	0
02土地貸付料	755,500	755,500	0
項 02財産売払収入	81,360	81,360	0
目 03生産物売払収入	81,360	81,360	0
07学校生産物売払収入	81,360	81,360	0
款 14諸収入	520,690	520,322	0
項 07雑入	520,690	520,322	0
目 02雑入	520,690	520,322	0
90保険料負担金	364,714	364,714	0
保険料負担金	125,149	125,149	0
非常勤職員	239,565	239,565	0
93雑収	155,976	155,608	0
計	7,365,660	7,354,792	10,500

執 行 状 況 調

(令和7年度)
(令和7年7月31日現在)

不 納 欠 損 額 D	収 入 未 済 額			収入歩合 A-D-F	納期内収入率 B A-D-F
	納 期 限 経 過 E	納 期 限 未 到 来 F	計		
円 0	円 0	円 0	円 0	% 100.0	% 99.8
0	0	0	0	100.0	99.7
0	0	0	0	100.0	99.7
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	92.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	368	0	368	99.9	99.9
0	368	0	368	99.9	99.9
0	368	0	368	99.9	99.9
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	368	0	368	99.7	99.7
0	368	0	368	99.9	99.8

県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調

区 分	令和 6 年度	令和 7 年度 (令和 7 年 7 月 31 日 現在)
	件 数	件 数
入 学 検 定 料	1 5 1	0

(全日制)

授 業 料

期別	月別	調 定 の 状 況							
		1年		2年		3年		計	
		人	員調定額	人	員調定額	人	員調定額	人	員調定額
		人	円	人	円	人	円	人	円
一期	4								
	5								
	6								
	7	6	178,200	2	59,400	6	178,200	14	415,800
		2	59,400	4	118,800	3	89,100	9	267,300
	8			1	29,700			1	29,700
	計	8	237,600	5	148,500	9	267,300	22	653,400
二期	7								
	8								
	9								
	10	6	297,000	1	49,500	6	297,000	13	643,500
		1	49,500	5	247,500	2	99,000	8	396,000
	11								
	12					1	49,500	1	49,500
計	7	346,500	6	297,000	7	346,500	20	990,000	
三期	12								
	1	6	237,600	1	39,600	6	237,600	13	514,800
		1	39,600	4	158,400	2	79,200	7	277,200
	2								
	3								
計	7	277,200	5	198,000	8	316,800	20	792,000	
合計		22	861,300	16	643,500	24	930,600	62	2,435,400

令和7年度 該当なし

収 納 状 況 調

(令和6年度)

収 納 の 状 況				異 動 者 等 の 状 況
納 期 内	収 納 額	納 期 後	収 入	
円	率	円	未 済 額	
	%	円	円	A . 期首収納権利発生額 = 683,100円 1年:本 校 6人×9,900円×3月 = 178,200円 2年:本 校 2人×9,900円×3月 = 59,400円 3年:本 校 6人×9,900円×3月 = 178,200円 1年:春野校舎 2人×9,900円×3月 = 59,400円 2年:春野校舎 4人×9,900円×3月 = 118,800円 3年:春野校舎 3人×9,900円×3月 = 89,100円
				B . 収納権利増減()額 = 29,700円 8月14日:2年:就学支援金認定 1(春野校舎) 1人×9,900円×3月 = 29,700円
356,400	85.7	0	59,400	C . 収納必要額 A (±) B = 653,400円
267,300	100.0	0	0	
		59,400	0	
29,700				
594,000	90.9	59,400	0	
				A . 期首収納権利発生額 = 1,039,500円 1年:本 校 6人×9,900円×5月 = 297,000円 2年:本 校 1人×9,900円×5月 = 49,500円 3年:本 校 6人×9,900円×5月 = 297,000円 1年:春野校舎 1人×9,900円×5月 = 49,500円 2年:春野校舎 5人×9,900円×5月 = 247,500円 3年:春野校舎 2人×9,900円×5月 = 99,000円
				B . 収納権利増減()額 = 49,500円 12月18日:3年:就学支援金認定 1(春野校舎) 1人×9,900円×5月 = 49,500円
544,500	84.6	0	99,000	C . 収納必要額 A (±) B = 990,000円
396,000	100.0	0	0	
		99,000	0	
49,500				
891,000	90.0	99,000	0	
				A . 期首収納権利発生額 = 792,000円 1年:本 校 6人×9,900円×4月 = 237,600円 2年:本 校 1人×9,900円×4月 = 39,600円 3年:本 校 6人×9,900円×4月 = 237,600円 1年:春野校舎 1人×9,900円×4月 = 39,600円 2年:春野校舎 4人×9,900円×4月 = 158,400円 3年:春野校舎 2人×9,900円×4月 = 79,200円
475,200	92.3	0	39,600	B . 収納権利増減()額 = 0円
237,600	85.7	0	39,600	C . 収納必要額 A (±) B = 792,000円
		39,600	0	
		39,600	0	
712,800	90.0	79,200	0	
2,197,800	90.2	237,600	0	D . 収納必要額 = 2,435,400円

(単位制の全日制)

授 業 料

期別	月別	調 定 の 状 況		調 定 の 状 況		調 定 の 状 況		調 定 の 状 況	
		1年		2年		3年		計	
		人	員調定額	人	員調定額	人	員調定額	人	員調定額
前期	4	人	円	人	円	人	円	人	円
	5								
	6								
	7								
	8								
	9	1	49,500					1	49,500
	10	13	653,400	8	386,100	8	386,100	29	1,425,600
	11					1	29,700	1	29,700
	計	14	702,900	8	386,100	7	356,400	29	1,445,400
後期	10								
	11								
	12					1	19,800	1	19,800
	1	12	623,700	6	356,400	6	356,400	24	1,336,500
	2								
	3								
	計	12	623,700	6	356,400	7	376,200	25	1,356,300
合計	26	1,326,600	14	742,500	14	732,600	54	2,801,700	

令和7年度 該当なし

収 納 状 況 調

(令和 6 年度)

収 納 の 状 況				異 動 者 等 の 状 況
納 期 内	収 納 額	納 期 後	収 入	
円	収 納 率	収 納 額	未 済 額	
円	%	円	円	
				A . 期首収納権利発生額 = 1,485,000円 1年: 10人 × 9,900円 × 6月(4~9月) = 594,000円 1年: 1人 × 9,900円 × 3月(4~6月) = 29,700円 1年: 3人 × 9,900円 × 3月(7~9月) = 89,100円 2年: 5人 × 9,900円 × 6月(4~9月) = 297,000円 2年: 2人 × 9,900円 × 3月(4~6月) = 59,400円 2年: 1人 × 9,900円 × 3月(7~9月) = 29,700円 3年: 5人 × 9,900円 × 6月(4~9月) = 297,000円 3年: 0人 × 9,900円 × 3月(4~6月) = 0円 3年: 3人 × 9,900円 × 3月(7~9月) = 89,100円
				B . 収納権利増減 () 額 = 39,600円 8月22日 1年: 退学 1 1 × 9,900円 × 1月 = 9,900円 10月28日 3年: 就学支援金認定 1 1 × 9,900円 × 3月 = 29,700円
49,500	100.0			
1,395,900	97.9		29,700	C . 収納必要額 A (±) B = 1,445,400円
			29,700	
1,445,400	100.0	0	0	
				A . 期首収納権利発生額 = 1,485,000円 1年: 12人 × 9,900円 × 6月(10~3月) = 712,800円 2年: 6人 × 9,900円 × 6月(10~3月) = 356,400円 3年: 7人 × 9,900円 × 6月(10~3月) = 415,800円
				B . 収納権利増減 () 額 = 128,700円 10月31日 1年: 転学 1 1 × 9,900円 × 5月 = 49,500円 11月29日 3年: 退学 1 1 × 9,900円 × 4月 = 39,600円 1月9日 1年: 就学支援金認定 1 1 × 9,900円 × 4月 = 39,600円
19,800	100.0			
1,336,500	100.0			C . 収納必要額 A (±) B = 1,356,300円
1,356,300	100.0	0	0	
2,801,700	100.0	0	0	D . 収納必要額 = 2,801,700円

現 金 出 納 調

天竜高等学校

(令和 6年度)

(令和 7年 4月30日現在)

区 分	受 入 額			払 出 額	残 高	出納員領収書 発行総額及び 枚 数	現金払込調書 兼領収書総額 及び枚数
	越 高	受 高	計				
教育手数料	円 0	円 936,400	円 936,400	円 936,400	円 0	円 936,400 239 枚	円 936,400 69 枚
物品売払収入	0	7,810	7,810	7,810	0	7,810 2 枚	7,810 2 枚
生産物売払収入	0	6,890	6,890	6,890	0	6,890 1 枚	6,890 1 枚
計	0	951,100	951,100	951,100	0	951,100 242 枚	951,100 72 枚

Z1B0110
Z1RB0110

現 金 出 納 調

天竜高等学校

(令和 7年度)

(令和 7年 7月31日現在)

区 分	受 入 額			払 出 額	残 高	出納員領収書 発行総額及び 枚 数	現金払込調書 兼領収書総額 及び枚数
	越 高	受 高	計				
教育手数料	円 0	円 856,500	円 856,500	円 856,500	円 0	円 856,500 176 枚	円 856,500 25 枚
生産物売払収入	0	81,360	81,360	81,360	0	81,360 151 枚	81,360 2 枚
計	0	937,860	937,860	937,860	0	937,860 327 枚	937,860 27 枚

ZIB0110
ZIRB0110

保管現金有高調

(令和7年度)
(令和7年7月31日現在)

現金保管者	区 分	金 額 (円)
静岡県立天竜高等学校事務長	令和7年7月31日現金領収分	300

預 金 調

(令和7年7月31日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口 座 名 義 人	残高(円)	摘 要
静岡銀行 天竜支店	無利息型 普通預金	0608581	静岡県立天竜高等学校 資金前渡者 渡邊 二三彦	0	給与等 資金前渡用
浜松磐田 信用金庫 二俣支店	無利息型 普通預金	5045696	(自振口) 静岡県立天竜高等学校 資金前渡者 渡邊 二三彦	0	光熱水費等 口座振替用
残 高 合 計				0	

郵 券 等 受 払 調

(令和7年7月31日現在)

(単位:枚、円)

(本校)

区分	種類	6 年 度						7 年 度						差引現在高	摘 要	
		繰 越		受 入		払 出		繰 越		受 入		払 出				
		枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額			
郵券	2 円券	0	0	1	2	1	2	0	0		0		0	0	0	公 務 連 絡 用
	5 円券	0	0	1	5	1	5	0	0	1	5	1	5	0	0	公 務 連 絡 用
	10 円券	1	10	19	190	20	200	0	0	1	10	1	10	0	0	公 務 連 絡 用
	20 円券	0	0	0	0	0	0	0	0	7	140	7	140	0	0	公 務 連 絡 用
	22 円券	0	0	0	0	0	0	0	0	1	22	1	22	0	0	公 務 連 絡 用
	40 円券	0	0	1	40	1	40	0	0	0	0	0	0	0	0	公 務 連 絡 用
	50 円券	0	0	0	0	0	0	0	0	1	50	1	50	0	0	公 務 連 絡 用
	63 円券	2	126	0	0	1	63	1	63	0	0	1	63	0	0	公 務 連 絡 用
	110 円券	0	0	2	220	2	220	0	0	0	0	0	0	0	0	公 務 連 絡 用
	210 円券	2	420	3	630	5	1,050	0	0	0	0	0	0	0	0	公 務 連 絡 用
	300 円券	0	0	4	1,200	4	1,200	0	0	7	2,100	7	2,100	0	0	公 務 連 絡 用
	500 円券	0	0	0	0	0	0	0	0	1	500	1	500	0	0	公 務 連 絡 用
計			556		2,287		2,780		63		2,827		2,890		0	

(春野校舎は該当なし)

材 料 品 受 払 調

(令和7年7月31日現在)

区分 品名	6 年 度						7 年 度						差引現在高 数量 金額	摘要		
	繰越		受入		払出		繰越		受入		払出					
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額				
きのこ (生椎茸)		円		円		円		円		円		円		円		
		0	100.92kg	(109,857)	100.92kg	(109,857)		0	7.05kg	(7,614)	7.05kg	(7,614)		0		
苗 (ベチュニア)		0	180本	59,400	180本	59,400		0	180本	59,400	180本	59,400		0		
培養土		0	51袋	42,075	51袋	42,075		0	51袋	44,880	51袋	44,880		0		
赤玉土		0	10袋	5,500	10袋	5,500		0	10袋	5,500	10袋	5,500		0		
計		0		(109,857)		(109,857)		0		(7,614)		(7,614)		0		
				106,975		106,975				109,780		109,780				

歳入歳出外現金調

県立高校中学校 天竜高校

(令和6年度)
(令和7年3月31日現在)

区 分	越 高	受 高	払 高	残 高	摘 要
地方職員共済組合掛金等	円 0	円 0	円 0	円 0	
公立学校共済組合掛金等	0	663,274	663,274	0	
教職員互助組合掛金等	0	41,371	41,371	0	
所得税	39,640	723,430	722,964	40,106	
県市町村民税	11,700	143,300	141,700	13,300	
保証金	107,100	0	31,000	76,100	
計	158,440	1,571,375	1,600,309	129,506	

Z1B0070
Z1RB0070

歳入歳出外現金調

県立高校中学校 天竜高校

(令和7年度)
(令和7年7月31日現在)

区 分	越 高	受 高	払 高	残 高	摘 要
公立学校共済組合掛金等	円 0	円 241,912	円 241,912	円 0	
教職員互助組合掛金等	0	3,864	3,864	0	
所得税	40,106	332,948	315,563	57,491	
県市町村民税	13,300	56,000	54,700	14,600	
保証金	76,100	0	0	76,100	
計	129,506	634,724	616,039	148,191	

Z1B0070
Z1RB0070

歳出予算執行状況調

(令和6年度)
(令和7年5月31日現在)

一般会計

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
款 11 教育費	141,834,061	141,834,061	0	
項 02 教育委員会費	7,272,797	7,272,797	0	
目 02 教育総務費	19,665	19,665	0	
01 報酬	19,665	19,665	0	
03 非常勤職員報酬	19,665	19,665	0	
目 03 教育管理費	7,033,132	7,033,132	0	
08 旅費	9,991	9,991	0	
02 普通旅費	9,991	9,991	0	
10 需用費	2,821,000	2,821,000	0	
01 その他の需用費	2,821,000	2,821,000	0	
12 委託料	4,184,290	4,184,290	0	
13 使用料及び賃借料	17,851	17,851	0	
目 04 教育厚生費	220,000	220,000	0	
01 報酬	220,000	220,000	0	
03 非常勤職員報酬	220,000	220,000	0	
項 04 中学校費	109,667	109,667	0	
目 01 教職員費	109,667	109,667	0	
03 職員手当等	109,349	109,349	0	
01 その他の職員手当等	109,349	109,349	0	
04 共済費	318	318	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	318	318	0	
項 05 高等学校費	125,008,085	125,008,085	0	
目 01 高等学校総務費	31,744,318	31,744,318	0	
01 報酬	20,301,479	20,301,479	0	
03 非常勤職員報酬	20,301,479	20,301,479	0	
03 職員手当等	3,937,938	3,937,938	0	
01 その他の職員手当等	3,937,938	3,937,938	0	
04 共済費	5,848,275	5,848,275	0	

Z1B0030
Z1RB0030

(令和6年度)
(令和7年5月31日現在)

一般会計

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
02報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	5,848,275	5,848,275	0	
08旅費	1,656,626	1,656,626	0	
01その他の旅費	1,300,531	1,300,531	0	
02普通旅費	356,095	356,095	0	
目 02高等学校管理費	93,263,767	93,263,767	0	
01報酬	2,034,840	2,034,840	0	
03非常勤職員報酬	2,034,840	2,034,840	0	
04共済費	536	536	0	
02報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	536	536	0	
07報償費	576,188	576,188	0	
01その他の報償費	576,188	576,188	0	
08旅費	5,908,652	5,908,652	0	
01その他の旅費	77,035	77,035	0	
02普通旅費	5,831,617	5,831,617	0	
10需用費	18,088,452	18,088,452	0	
01その他の需用費	18,086,082	18,086,082	0	
02食糧費	2,370	2,370	0	
11役務費	3,226,979	3,226,979	0	
12委託料	2,688,784	2,688,784	0	
13使用料及び賃借料	1,115,416	1,115,416	0	
17備品購入費	1,247,400	1,247,400	0	
18負担金、補助及び交付金	51,080,520	51,080,520	0	
19扶助費	7,204,800	7,204,800	0	
26公課費	91,200	91,200	0	
項 07特別支援学校費	69,699	69,699	0	
目 02特別支援学校管理費	69,699	69,699	0	
12委託料	69,699	69,699	0	
項 08学校教育費	9,373,813	9,373,813	0	

(令和6年度)
(令和7年5月31日現在)

一般会計

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
目 01 高校教育費	7,507,635	7,507,635	0	
01 報酬	5,745,604	5,745,604	0	
03 非常勤職員報酬	5,745,604	5,745,604	0	
04 共済費	775,847	775,847	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	775,847	775,847	0	
07 報償費	143,920	143,920	0	
01 その他の報償費	143,920	143,920	0	
08 旅費	257,626	257,626	0	
01 その他の旅費	195,704	195,704	0	
02 普通旅費	61,922	61,922	0	
10 需用費	527,438	527,438	0	
01 その他の需用費	527,438	527,438	0	
13 使用料及び賃借料	57,200	57,200	0	
目 04 健康体育費	1,866,178	1,866,178	0	
01 報酬	1,168,000	1,168,000	0	
03 非常勤職員報酬	1,168,000	1,168,000	0	
04 共済費	3,398	3,398	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	3,398	3,398	0	
07 報償費	273,600	273,600	0	
01 その他の報償費	273,600	273,600	0	
08 旅費	157,180	157,180	0	
01 その他の旅費	157,180	157,180	0	
11 役務費	264,000	264,000	0	
計	141,834,061	141,834,061	0	

歳出予算執行状況調

(令和7年度)
(令和7年7月31日現在)

一般会計

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
款 12教育費	127,345,576	25,005,190	102,340,386	
項 02教育委員会費	7,899,771	1,092,602	6,807,169	
目 02教育総務費	404,820	0	404,820	
07報償費	300,000	0	300,000	
01その他の報償費	300,000	0	300,000	
08旅費	24,820	0	24,820	
01その他の旅費	24,820	0	24,820	
10需用費	80,000	0	80,000	
01その他の需用費	80,000	0	80,000	
目 03教育管理費	7,274,951	1,092,602	6,182,349	
10需用費	2,922,000	803,852	2,118,148	
01その他の需用費	2,922,000	803,852	2,118,148	
12委託料	4,335,100	288,750	4,046,350	
13使用料及び賃借料	17,851	0	17,851	
目 04教育厚生費	220,000	0	220,000	
01報酬	220,000	0	220,000	
03非常勤職員報酬	220,000	0	220,000	
項 04中学校費	111,000	55,255	55,745	
目 01教職員費	111,000	55,255	55,745	
03職員手当等	111,000	55,255	55,745	
01その他の職員手当等	111,000	55,255	55,745	
項 05高等学校費	111,248,506	21,244,993	90,003,513	
目 01高等学校総務費	27,883,000	8,457,951	19,425,049	
01報酬	16,294,000	4,797,818	11,496,182	
03非常勤職員報酬	16,294,000	4,797,818	11,496,182	
03職員手当等	4,577,000	2,112,342	2,464,658	
01その他の職員手当等	4,577,000	2,112,342	2,464,658	
04共済費	5,848,000	932,253	4,915,747	

(令和7年度)
(令和7年7月31日現在)

一般会計

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
02報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	5,848,000	932,253	4,915,747	
08旅費	1,164,000	615,538	548,462	
01その他の旅費	858,000	309,771	548,229	
02普通旅費	306,000	305,767	233	
目 02高等学校管理費	83,365,506	12,787,042	70,578,464	
01報酬	296,000	36,000	260,000	
03非常勤職員報酬	296,000	36,000	260,000	
04共済費	3,000	0	3,000	
02報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	3,000	0	3,000	
07報償費	1,031,200	284,226	746,974	
01その他の報償費	1,031,200	284,226	746,974	
08旅費	4,729,880	793,506	3,936,374	
01その他の旅費	247,880	17,506	230,374	
02普通旅費	4,482,000	776,000	3,706,000	
10需用費	15,991,426	4,391,172	11,600,254	
01その他の需用費	15,972,426	4,387,590	11,584,836	
02食糧費	19,000	3,582	15,418	
11役務費	3,500,000	957,328	2,542,672	
12委託料	3,732,000	694,836	3,037,164	
13使用料及び賃借料	1,449,000	261,824	1,187,176	
17備品購入費	1,339,000	238,700	1,100,300	
18負担金、補助及び交付金	51,190,000	5,129,450	46,060,550	
26公課費	104,000	0	104,000	
項 07特別支援学校費	103,000	25,276	77,724	
目 02特別支援学校管理費	103,000	25,276	77,724	
12委託料	103,000	25,276	77,724	
項 08学校教育費	7,983,299	2,587,064	5,396,235	
目 01高校教育費	7,220,436	2,218,967	5,001,469	

(令和7年度)
(令和7年7月31日現在)

一般会計

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
01 報酬	5,770,000	1,936,250	3,833,750	
03 非常勤職員報酬	5,770,000	1,936,250	3,833,750	
04 共済費	721,600	179,136	542,464	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	721,600	179,136	542,464	
07 報償費	236,120	19,500	216,620	
01 その他の報償費	236,120	19,500	216,620	
08 旅費	237,756	48,661	189,095	
01 その他の旅費	213,436	48,661	164,775	
02 普通旅費	24,320	0	24,320	
10 需用費	174,960	35,420	139,540	
01 その他の需用費	174,960	35,420	139,540	
13 使用料及び賃借料	80,000	0	80,000	
目 04 健康体育費	762,863	368,097	394,766	
01 報酬	280,000	84,000	196,000	
03 非常勤職員報酬	280,000	84,000	196,000	
04 共済費	2,413	0	2,413	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	2,413	0	2,413	
07 報償費	108,000	27,000	81,000	
01 その他の報償費	108,000	27,000	81,000	
08 旅費	120,000	9,597	110,403	
01 その他の旅費	120,000	9,597	110,403	
11 役務費	252,450	247,500	4,950	
計	127,345,576	25,005,190	102,340,386	

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

節名	会計	款	項	目	執行済額（円）		
					5年度	6年度	左のうち、5年度からの繰越額分
(12) 委託料	01 一般	11 教育費	02 教育委員会費	03 教育管理費	658,500	4,184,290	/
	01 一般	11 教育費	05 高等学校費	02 高等学校管理費	3,005,680	2,688,784	
	01 一般	11 教育費	07 特別支援学校費	02 特別支援学校管理費	68,281	69,699	
計					3,732,461	6,942,773	0
(14) 工事請負費	01 一般	11 教育費	02 教育委員会費	03 教育管理費	4,415,400	0	/
	01 一般	12 災害対策費	06 教育施設災害復旧費	01 現年災害教育施設復旧費	19,418,300	0	
計					23,833,700	0	0
(16) 公有財産 購入費					0	0	/
計					0	0	0
(17) 備品購入費	01 一般	11 教育費	05 高等学校費	02 高等学校管理費	2,229,370	1,247,400	/
	01 一般	11 教育費	08 学校教育費	01 高校教育費	12,100,000	0	
	01 一般	12 災害対策費	06 教育施設災害復旧費	01 現年災害教育施設復旧費	30,715,300	0	
計					45,044,670	1,247,400	0
(18) 負担金、補助 及び交付金	01 一般	11 教育費	05 高等学校費	02 高等学校管理費	55,326,700	51,080,520	/
	01 一般	11 教育費	08 学校教育費	01 高校教育費	11,550	0	
計					55,338,250	51,080,520	0
(21) 補償、補填及 び、賠償金					0	0	/
計					0	0	0

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和7年7月31日現在)

節名	会計	款	項	目	執行済額(円)	
						うち、6年度からの繰越額分
(12) 委託料	01 一般	12 教育費	02 教育委員会費	03 教育管理費	288,750	0
	01 一般	12 教育費	05 高等学校費	02 高等学校管理費	694,836	0
	01 一般	12 教育費	07 特別支援学校費	02 特別支援学校管理費	25,276	0
計					1,008,862	0
(14) 工事請負費					0	0
計					0	0
(16) 公有財産 購入費					0	0
計					0	0
(17) 備品購入費	01 一般	12 教育費	05 高等学校費	02 高等学校管理費	238,700	0
計					238,700	0
(18) 負担金、補助 及び交付金	01 一般	12 教育費	05 高等学校費	02 高等学校管理費	5,129,450	0
計					5,129,450	0
(21) 補償、補填及 び、賠償金					0	0
計					0	0

委 託 料 に 関 す る 調

(令和 6 年度)

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
1	(事務関係) 静岡県立天竜高等学校外2校警備業務	セコム(株)	4,389,000	4,389,000	0	4,389,000	一般	1.10.1 ~ 6.9.30	6.5.31 6.6.28 6.7.31 6.8.30 6.9.30 6.10.31 小計	(3,950,100) 73,150 73,150 73,150 73,150 73,150 73,150 438,900	警報機器整備 警報機器による 警備業務	R1長期 浜松湖北高 佐久間分校 天竜特支
2	静岡県立天竜高等学校外2校警備業務	セコム(株)	4,389,000	4,389,000	0	4,389,000	一般	6.10.1 ~ 11.9.30	6.11.29 6.12.26 7.1.31 7.2.28 7.3.31 7.4.30 小計	(0) 73,150 73,150 73,150 73,150 73,150 438,900	警報機器整備 警報機器による 警備業務	R6長期 浜松湖北高 佐久間分校 天竜特支
3	静岡県立天竜高等学校浄化槽保守点検業務	(株)ハマエイ	631,400	590,700	0	590,700	随契	6.4.1 ~ 7.3.31	6.5.31 6.6.28 6.7.30 6.8.30 6.9.30 6.10.31 6.11.29 6.12.26 7.1.31 7.2.28 7.3.31 7.4.30 小計	60,500 49,500 39,600 62,700 47,300 39,600 62,700 39,600 47,300 62,700 39,600 39,600 590,700	春野校舎、演習 林の浄化槽4基 の保守点検	随契1号 (少額)
4	静岡県立天竜高等学校エレベーター保守点検業務	三菱電機ビルソリューションズ(株)中部支社 静岡支店	912,384	912,384	0	912,384	随契	6.4.1 ~ 7.3.31	6.5.31 6.6.28 6.7.31 6.8.30 6.9.30 6.10.31 6.11.29 6.12.26 7.1.31 7.2.28 7.3.31 7.4.30 小計	133,276 45,100 45,100 133,276 45,100 45,100 133,276 45,100 45,100 151,756 45,100 45,100 912,384	エレベーターの 保守点検、遠隔 監視、法定点検	随契1号 (少額)
5	静岡県立天竜高等学校外3施設可燃物収集運搬処分業務	(株)リサイクルクリーン	運搬料 天竜 1回 3,300 春野校舎 1回 7,700 佐久間分校 1回 7,700 天竜特支 1回 3,300 処分料 1kg 14.3	運搬料 天竜 1回 2,200 春野校舎 1回 6,600 佐久間分校 1回 6,600 天竜特支 1回 2,200 処分料 1kg 14.3	0	運搬料 天竜 1回 2,200 春野校舎 1回 6,600 佐久間分校 1回 6,600 天竜特支 1回 2,200 処分料 1kg 14.3	随契	6.4.3 ~ 7.3.31	6.5.31 6.6.28 6.7.31 6.8.30 6.9.30 6.10.31 6.11.29 6.12.26 7.1.31 7.2.28 7.3.31 7.4.30 小計	85,669 81,377 78,892 83,651 93,776 75,604 80,977 93,934 84,723 79,063 76,034 86,499 1,000,199	可燃ごみの収 集、 運搬及び処分業 務 天竜高 週2回 春野校舎 週1回 佐久間分校 週1回 天竜特支 月2回	随契2号 (不適) 単価契約 浜松湖北高 佐久間分校 天竜特支
6	産業廃棄物収集・運搬及び処分業務	(株)リサイクルクリーン	8m3コンテナ 収集運搬 1 回 13,200 円 処分 1回 96,800円	8m3コンテナ 収集運搬 1 回 11,000 円 処分 1回 79,200円	0	8m3コンテナ 収集運搬 1 回 11,000 円 処分 1回 79,200円	随契	6.4.24 ~ 7.3.31	7.1.31 7.4.25 小計	90,200 90,200 180,400	産業廃棄物(不 燃物)の収集運 搬・処分	随契1号 (少額) 単価契約
7	春野校舎 産業廃棄物収集運搬処分業務	サンワ環境整備(株)	2m3コンテナ 収集運搬 1 回 13,200 円 処分 1回 24,200円	2m3コンテナ 収集運搬 1 回 13,200 円 処分 1回 24,200円	0	2m3コンテナ 収集運搬 1 回 13,200 円 処分 1回 24,200円	随契	6.5.31 ~ 7.3.31	6.12.26 7.3.21 小計	37,400 37,400 74,800	産業廃棄物(不 燃物)の収集運 搬・処分	随契1号 (少額) 単価契約
8	第1実習棟集塵機鉛等含有調査業務	(株)静環検査センター	61,490	61,490	0	61,490	随契	6.6.4 ~ 6.8.20	6.7.31	61,490	第1実習棟集塵機 の表面塗装材 の鉛・クロム含 有調査	随契1号 (少額)
9	建築基準法第12条に基づく定期点検業務	河合晴夫一級建築士事務所	4,389,000	3,245,000	0	3,245,000	一般	6.8.7 ~ 7.1.31	7.2.28	3,245,000	県立学校建築基 準法第12条に基 づく建築・建築 設備の定期点検	浜松湖北高 佐久間分校 遠江総合高 天竜特支
合	計	9件								6,942,773		

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	増減	更額計						
参考 1	静岡県立浜松湖北高等学校外14校消防用設備等保守点検業務	静岡県消防設備保守点検業協同組合	円	円 18,810,000	円 16,500	円 18,793,500		6.4.1 ~ 7.3.31		円	火災報知 ・消火栓設備等 機器点検1回 機器、総合点検1回	浜松湖北高
参考 2	静岡県立浜松西高等学校外6校建築物環境衛生管理業務	㈱シービーエム		7,773,260	0	7,773,260		6.4.1 ~ 7.3.31			建築物環境衛生管理 空気環境測定 害虫駆除作業 給水管理作業	浜松西高
参考 3	静岡県立天竜特別支援学校外2校(5箇所)自家用電気工作物保安管理業務	遠鉄アシスト㈱		2,010,360	74,030	2,084,390		6.4.1 ~ 7.3.31			自家用電気工作物 保守点検 定期点検隔月1回 年次点検年1回	天竜特支
参考 4	静岡県立浜松東高等学校外25校ブルー浄化装置保守点検業務	清化工業㈱		998,800	17,050	981,750		6.4.8 ~ 6.12.27			ブルー浄化装置 設備保守点検 始業1回、終業1回 緊急点検随時	浜松東高
	計	4件										

委 託 料 に 関 す る 調

(令和7年度)
(令和7年7月31日現在)

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変動額	更計						
	(事務関係)		円	円	円	円				円		
1	静岡県立天竜高等学校外2校警備業務	セコム(株)	4,389,000	4,389,000	0	4,389,000	一般	6.10.1 ~ 11.9.30	7.5.30 7.6.30 7.7.31 小計	(438,900) 73,150 73,150 73,150 219,450	警報機器整備 警報機器による警備業務	R6長期 浜松湖北高 天竜特支
2	静岡県立天竜高等学校浄化槽保守点検業務	(株)ハマエィ	683,540	672,100	0	672,100	随契	7.4.1 ~ 8.3.31	7.5.30 7.6.30 7.7.31 小計	82,500 44,000 44,000 170,500	春野校舎、演習林の浄化槽4基の保守点検	随契1号(少額)
3	静岡県立天竜高等学校エレベーター保守点検業務	三菱電機ビルソリューションズ(株)中部支店 静岡支店	937,200	937,200	0	937,200	随契	7.4.1 ~ 8.3.31	7.5.30 7.6.30 7.7.31 小計	136,620 46,420 46,420 229,460	エレベーターの保守点検、遠隔監視、法定点検	随契1号(少額)
4	静岡県立天竜高等学校外3施設可燃物収集運搬処分業務	㈱リサイクルクリーン					随契	7.4.3 ~ 8.3.31	7.5.30 7.6.30 7.7.31 小計	103,026 116,320 100,806	可燃ごみの収集、運搬及び処分業務 天竜高 週1~2回 春野校舎 週1回 佐久間分校 週1回 天竜特支 月2回	随契2号(不適) 単価契約 浜松湖北高 天竜特支
5	産業廃棄物収集運搬及び処分業務	㈱環吉					随契	7.4.22 ~ 8.3.31		0	産業廃棄物(不燃物)の収集運搬・処分	随契1号(少額) 単価契約
6	春野校舎 産業廃棄物収集運搬及び処分業務	サンワ環境整備㈱					随契	7.4.23 ~ 8.3.31		0	産業廃棄物(不燃物)の収集運搬・処分	随契1号(少額) 単価契約
7	家庭科実習棟アスベスト含有調査業務	㈱静岡検査センター	69,300	69,300	0	69,300	随契	7.4.29 ~ 7.6.30	7.6.30	69,300	家庭科実習棟庇裏の仕上げ塗材のアスベスト含有調査	随契1号(少額)
8	産業廃棄物収集運搬業務(廃薬品)	日本産業廃棄物処理㈱	53,299	53,299	0	53,299	随契	7.6.7 ~ 7.12.31		0	産業廃棄物(廃薬品)の収集運搬	随契1号(少額)
9	産業廃棄物処分業務(廃薬品)	三光㈱	57,497	57,497	0	57,497	随契	7.6.7 ~ 7.12.31		0	産業廃棄物(廃薬品)の処分	随契1号(少額)
合 計			9 件							1,008,862		
1	静岡県立浜松湖北高等学校外14校消防用設備等保守点検業務	静岡県消防設備保守点検業協同組合		19,250,000	0	19,250,000		7.4.1 ~ 8.3.31			火災報知・消火栓設備等機器点検1回 機器、総合点検1回	浜松湖北高
2	静岡県立浜松西高等学校外6校建築物環境衛生管理業務	㈱シーピーエム		8,401,470	0	8,401,470		7.4.1 ~ 8.3.31			建築物環境衛生管理 空気環境測定 害虫駆除作業 給水管理作業	浜松西高
3	静岡県立天竜特別支援学校外2校(5箇所)自家用電気工作物保安管理業務	遠鉄アシスト㈱		2,154,240	0	2,154,240		7.4.1 ~ 8.3.31			自家用電気工作物保守点検 定期点検隔月1回 年次点検年1回	天竜特支
4	静岡県立浜松東高等学校外25校ブルー浄化装置保守点検業務	清化工業㈱		995,500	37,400	958,100		7.4.10 ~ 7.12.26			ブルー浄化装置設備保守点検 始業点検1回 終業点検1回 緊急点検随時	浜松東高
計			4 件									

負 担 金 支 出 調

(令和6年度)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	全国高等学校長協会総会・研究協議会参加費	静岡県高等学校長協会	開催要項	全国高等学校長協会総会・研究協議会に参加	円 4,000	6.5.7
2	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 本校 総合学科 (4月分 1人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	9,900	6.6.5
3	東日本建築教育研究会総会研究協議会参加費	東日本建築教育研究会 総会研究協議会青森大会実行委員会	開催要項	東日本建築教育研究会総会研究協議会に参加	4,000	6.6.14
4	東日本建築教育研究会会費	東日本建築教育研究会	同会規約	東日本建築教育研究会	6,500	6.6.20
5	全国福祉高等学校長会年会費	全国福祉高等学校長会	同会規約	全国福祉高等学校長会	10,000	6.6.20
6	全国高等学校農場協会関東支部大会参加費	全国高等学校農場協会 関東支部大会実施委員長	開催要項	全国高等学校農場協会関東支部大会に参加	3,500	6.6.28
7	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会参加費	静岡県高等学校長協会 生徒指導専門委員会委員長	開催要項	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会に参加	2,000	6.7.8
8	東海地区総合学科高等学校長協会会費	東海地区総合学科高等学校長協会	同会規約	東海地区総合学科高等学校長協会	10,000	6.7.8
9	安全運転管理者講習手数料	静岡県公安委員会	道路交通法	安全運転管理者講習に参加	4,500	6.7.22
10	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 本校 農業科 福祉科 (第1期分 104人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	3,088,800	6.7.31
11	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 春野校舎 (第1期分 51人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	1,514,700	6.7.31
12	学校農業クラブ指導者養成講座参加費	日本学校農業クラブ連盟	開催要項	学校農業クラブ指導者養成講座に参加	3,000	6.8.1
13	天竜地区安全運転管理協会会費	天竜地区安全運転管理協会	同会規則	安全運転管理活動の推進 (車両5台)	30,000	6.8.5
14	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 本校 総合学科 (4～6月分 1人)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	29,700	6.8.30
15	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 春野校舎 (4～6月分 1人)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	29,700	6.8.30
16	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 春野校舎 (4～6月分 1人)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	29,700	6.9.20
17	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 本校 農業科 (7～9月分 1人)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	29,700	6.9.24
18	伐木等業務特別教育受講料	林業・木材製造業労働災害防止協会静岡県支部	開催通知	伐木等業務特別教育講習会に参加	42,020	6.10.4

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
19	全国高等学校総合学科教育研究大会参加費	全国高等学校総合学科教育研究大会高知大会実行委員会	開催要項	全国高等学校総合学科教育研究大会に参加	円 4,000	6.10.4
20	刈払機取扱作業安全衛生教育受講料	林業・木材製造業労働災害防止協会静岡県支部	開催通知	刈払機取扱作業安全衛生教育講習会に参加	36,300	6.10.10
21	日本学校農業クラブ全国大会岩手大会参加費	日本学校農業クラブ全国大会令和6年度岩手大会事務局長	開催要項	日本学校農業クラブ全国大会岩手大会に参加	5,000	6.10.11
22	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 本校 総合学科 (4～9月分 1人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	59,400	6.10.22
23	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 本校 農業科 福祉科 (第2期分 104人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	5,148,000	6.10.31
24	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 本校 総合学科 (前期分 278人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	16,216,200	6.10.31
25	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 春野校舎 (第2期分 52人分) (7月分 1人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	2,534,400	6.10.31
26	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 本校 総合学科 (7～9月分 1人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	29,700	6.11.12
27	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 本校 総合学科 (10月分 1人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	9,900	6.11.29
28	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 春野校舎 (7～11月分 1人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	49,500	7.1.7
29	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 本校 農業科 (12月分 1人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	9,900	7.1.24
30	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 本校 総合学科 (10～12月分 2人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	59,400	7.1.24
31	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 本校 農業科 福祉科 (第3期分 102人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	4,039,200	7.1.31
32	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 本校 総合学科 (後期分 270人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	16,018,200	7.1.31
33	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 春野校舎 (第3期分 52人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	2,059,200	7.1.31
34	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 本校 総合学科 (2・3月分 1人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	19,800	7.2.5
35	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 春野校舎 (4～6月分 1人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	29,700	7.2.17
	計	35 件			51,080,520	

負 担 金 支 出 調

(令和7年度)
(令和7年7月31日現在)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	自由研削といし取替等業務特別教育受講料	(一社)磐田労働基準協会	開催通知	自由研削といし取替等業務特別教育講習会に参加	円 14,850	7.4.15
2	玉掛け講習受講料	(株)総合自動車学校	開催通知	玉掛け講習会に参加	46,200	7.4.24
3	東日本建築教育研究会会費	東日本建築教育研究会	同会規約	東日本建築教育研究会	6,500	7.4.25
4	全国高等学校長協会総会・研究協議会参加費	静岡県高等学校長協会	開催要項	全国高等学校長協会総会・研究協議会に参加	4,000	7.4.30
5	全国福祉高等学校長会年会費	全国福祉高等学校長会	同会規約	全国福祉高等学校長会	10,000	7.4.30
6	東日本建築教育研究会総会研究協議会参加費	東日本建築教育研究会	開催通知	東日本建築教育研究会総会研究協議会に参加	4,000	7.5.21
7	東海地区建築教育研究会年会費	東海地区建築教育研究会事務局	同会規約	東海地区建築教育研究会	4,000	7.5.23
8	全国高等学校農場協会関東支部大会参加費	全国高等学校農場協会関東支部大会実施委員長	開催通知	全国高等学校農場協会関東支部大会に参加	3,500	7.6.27
9	東海地区総合学科高等学校長協会会費	東海地区総合学科高等学校長協会	同会規約	東海地区総合学科高等学校長協会	10,000	7.6.30
10	東海四県高等学校長連絡協議会総会・研究協議会参加費	静岡県高等学校長連絡協議会	開催要項	東海四県高等学校長連絡協議会総会・研究協議会に参加	2,000	7.7.8
11	安全運転管理者講習手数料	静岡県公安委員会	道路交通法	安全運転管理者講習に参加	5,100	7.7.29
12	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 本校 農業科 福祉科 (第1期分 111人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	3,296,700	7.7.31
13	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 春野校舎 (第1期分 58人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	1,722,600	7.7.31
計		13 件			5,129,450	

公 有 財 産 調 査

(本校)

(令和6年度)

区 分	6年3月31日現在		増		減		7年3月31日現在		摘 要
	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	
行政財産	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		3,326,496		4,772		106,979		3,224,289	
土地	㎡						㎡		
	414,186.88	1,622,543					414,186.88	1,622,543	
立木竹	本 ㎡						本 ㎡		
	449 3,865	5,718 34,939					449 3,865	5,718 34,939	
建物	㎡						㎡		
	13,997.48 27,878.93	1,543,758			88,073		13,997.48 27,878.93	1,455,685	
工作物	個		個		個		個		
	194	119,538	1	4,772		18,906	195	105,404	
普通財産									
		4,680		0		0		4,680	
土地	㎡						㎡		
	126.99	4,680					126.99	4,680	
公有財産に準ずるもの									
		334		0		0		334	
電話加入権	件						件		
	12	334					12	334	

「令和7年度中増減なし」

公 有 財 産 調

(春野校舎)

(令和6年度)

区 分	6年3月31日現在		増		減		7年3月31日現在		摘 要
	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	
行政財産	/	千円 368,839		千円	/	千円 18,950	/	千円 349,889	
土地	㎡ 41,727.91	283,028	㎡		㎡		㎡ 41,727.91	283,028	
立木竹	本 43	959	本		本		本 43	959	
建物	㎡ 4,170.22 ----- 7,019.59	65,135	㎡		㎡	17,515	㎡ 4,170.22 ----- 7,019.59	47,620	
工作物	個 58	19,717	個		個	1,435	個 58	18,282	
普通財産	/	18,807	/		/		/	18,807	
土地	㎡ 1,793.88	18,807	㎡		㎡		㎡ 1,793.88	18,807	
建物	㎡ 0.00 ----- 0.00	0	㎡		㎡		㎡ 0.00 ----- 0.00	0	
工作物	個 0	0	個		個		個 0	0	
公有財産に準ずるもの	/	127	/		/		/	127	
電話加入権	件 3	127	件		件		件 3	127	

令和7年度中増減なし

借 地 借 家 等 調

(本校)

(令和7年7月31日現在)

整理 番号	区分	種 別	所 在 地	地 目		数量又 は面積	借 料		契約期間	所有者又は 契約者氏名	用 途
				台帳	現 況		単 価	年 額			
1	土地	雑種地	浜松市天竜区 山東3968-7	雑種地	取水施設 用地	m ² 19.00	円	円 3,163	R7.4.1 ~ R10.3.31	浜松市長	取水小屋
2	土地	私設道路 敷地	浜松市天竜区 二俣町二俣 263-3	鉄道 用地	私設道路	m ² 17.00	204	3,468	R4.4.1 ~ R9.3.31	個人	管きよ 埋設
3	土地	私設道路 敷地	浜松市天竜区 二俣町二俣 290-3	鉄道 用地	私設道路	m ² 22.00	204	4,488	R4.4.1 ~ R9.3.31	個人	管きよ 埋設
4	土地	私設道路 敷地	浜松市天竜区 二俣町二俣 267-3	原野	私設道路	m ² 7.00	204	1,428	R4.4.1 ~ R9.3.31	個人	管きよ 埋設
5	土地	私設道路 敷地	浜松市天竜区 山東4059-5	原野	私設道路	m ² 22.00	204	4,488	R4.4.1 ~ R9.3.31	個人	管きよ 埋設
6	土地	私設道路 敷地	浜松市天竜区 二俣町二俣 292-2	山林	私設道路	m ² 4.00	204	816	R4.4.1 ~ R9.3.31	個人	管きよ 埋設
7	土地	学校敷地	浜松市天竜区 二俣町二俣 295-1	山林	山 林	m ² 2.692		無 償	R5.4.1 ~ R10.3.31	中 町 自治会長	土留壁 フェンス
8	土地	学校敷地	浜松市天竜区 二俣町二俣 152-4	学校 用地	グラウンド 用 地	m ² 82.00		無 償	R7.4.1 ~ R8.3.31	浜松市長	グラウンド
9	土地	学校敷地	浜松市天竜区 二俣町二俣 166-20	学校 用地	グラウンド 用 地	m ² 100.00		無 償	R7.4.1 ~ R8.3.31	浜松市長	グラウンド
10	土地	学校敷地	浜松市天竜区 二俣町二俣 181-8	学校 用地	グラウンド 用 地	m ² 236.00		無 償	R7.4.1 ~ R8.3.31	浜松市長	グラウンド
11	土地	学校敷地	浜松市天竜区 二俣町二俣 258-7	学校 用地	グラウンド 用 地	m ² 228.00		無 償	R7.4.1 ~ R8.3.31	浜松市長	グラウンド
12	土地	下 水 道 施 設	浜松市天竜区 二俣町二俣	水路	用悪水路 歩道橋	m ² 5.785		免 除	S61.8.13 ~ 永 久	浜松市長	通 行 用 (占有許可)
13	土地	道路敷地	浜松市天竜区 二俣町二俣 258-3	公衆用 道 路	道 路 ケーブル	m 5.40		免 除	R2.4.1 ~ R12.3.31	浜松市長	電気回路 (占有許可)
14	土地	道路敷地	浜松市天竜区 山東4051-1	公衆用 道 路	道 路 管きよ	m 267.00		免 除	R2.4.1 ~ R12.3.31	浜松市長	井水管 埋 設 (占有許可)
15	土地	道路敷地	浜松市天竜区 二俣町二俣 196-2	公衆用 道 路	道 路 排水管	m 34.2		免 除	R2.4.1 ~ R12.3.31	浜松市長	排水管 埋 設 (占有許可)

整理 番号	区分	種 別	所 在 地	地 目		数量又 は面積	借 料		契約期間	所有者又は 契約者氏名	用 途
				台帳	現 況		単 価	年 額			
16	土 地	道路敷地	浜松市天竜区 二俣町二俣 196-2	公衆用 道 路	道 路	m 7.10		免 除	R2. 4. 1 ~ R12. 3. 31	浜松市長	防球ネット 支 線 (占有許可)
17	土 地	下 水 道 施 設	浜松市天竜区 二俣町二俣	用 悪 水 路	水 路	m 暗きよ 0.3		免 除	R2. 4. 1 ~ R12. 3. 31	浜松市長	グランド 排水用 (占有許可)
18	土 地	下 水 道 施 設	浜松市天竜区 二俣町二俣	用 悪 水 路	水 路	m 暗きよ 0.3		免 除	R2. 4. 1 ~ R12. 3. 31	浜松市長	グランド 排水用 (占有許可)
19	土 地	水路敷地	浜松市天竜区 二俣町二俣 597-1	河川敷	橋梁設置	m ² 37.50		免 除	H30. 4. 1 ~ R10. 3. 31	浜松市長	橋梁設置 (占有許可)
20	土 地	水路敷地	浜松市天竜区 二俣町二俣 630-5	河川敷	橋梁設置	m ² 15.60		免 除	R4. 4. 1 ~ R9. 3. 31	浜松市長	橋梁設置 (占有許可)
21	土 地	水路敷地	浜松市天竜区 山東字大沢 23-1・23-3	河川敷	堰堤設置	m ² 10.70		免 除	R2. 4. 1 ~ R12. 3. 31	浜松市長	堰堤設置 (占有許可)
22	土 地	水路敷地	浜松市天竜区 二俣町二俣 601	河川敷	側溝設置	m ² 0.48		免 除	R2. 4. 1 ~ R12. 3. 31	浜松市長	側溝設置 (占有許可)
23	土 地	水路敷地	浜松市天竜区 二俣町二俣 597-1	河川敷	排水管 (VP250) 設 置	m 1.30		免 除	H31. 4. 1 ~ R11. 3. 31	浜松市長	排水管 設 置 (占有許可)
24	土 地	水路敷地	浜松市天竜区 二俣町二俣 597-1	河川敷	放流管 設 置	m ² 1.44		免 除	R5. 4. 1 ~ R10. 3. 31	浜松市長	放流管 設 置 (占有許可)
25	土 地	道路敷地	浜松市天竜区 山東字名古山 181-4	道路 敷地	案内標識 設 置	1 本		免 除	H29. 4. 1 ~ R9. 3. 31	浜松市長	案内標識 設 置 (占有許可)
26	土 地	水路敷地	浜松市天竜区 二俣町二俣 519-1	河川敷	架空電線 設 置	m 13.00		免 除	R3. 4. 1 ~ R8. 3. 31	浜松市長	架空電線 設 置 (占有許可)
小 計				(占有許可を除く)		739.692 m ²		17,851			
27	建 物	雑 屋 建	浜松市天竜区 二俣町二俣 196-2	鉄骨造	ｸﾗﾌﾞ 部室 2 階 建	m ² 50.70 97.50		無 償	R6. 4. 1 ~ R11. 3. 31	静岡県立 天竜高等学校 P T A 会長	ｸﾞ ﾚ ｰ ﾞ 部 室
28	建 物	雑 屋 建	浜松市天竜区 二俣町二俣 196-2	木造	投 球 練 習 場	m ² 55.00 55.00		無 償	R6. 4. 1 ~ R11. 3. 31	静岡県立 天竜高等学校 野球部父母の 会会長	投 球 練 習 場
29	建 物	住 宅 建	浜松市天竜区 二俣町二俣 530-1	木造	平 屋 建	m ² 349.54 327.58		無 償	R7. 4. 1 ~ R12. 3. 31	静岡県立 天竜高等学校 同窓会長	生 活 館
小 計						455.24 480.08 m ²		0			

整理 番号	区分	種 別	所 在 地	地 目		数量又 は面積	借 料		契約期間	所有者又は 契約者氏名	用 途
				台帳	現 況		単 価	年 額			
30	工 作 物	雑工作物	浜松市天竜区 二俣町二俣 196-2		防 球 ネット コンクリート柱4本 ネットH7m×L42m	1 個		無 償	R6. 4. 1 ～ R11. 3.31	静岡県立 天竜高等学校 PTA会長	防球ネット
31	工 作 物	橋りょう	浜松市天竜区 二俣町二俣 196-2		通 行 用 橋 コンクリート製 1.8m×4.45m	1 個		無 償	R6. 4. 1 ～ R11. 3.31	静岡県立 天竜高等学校 PTA会長	通行用橋
32	工 作 物	冷暖房 装 置	浜松市天竜区 二俣町二俣601			1 個		5,926,085	R3. 7. 1 ～ R16. 6.30	三井住友 ファイナンス& リース株式会社	普通教室 空 調
33	工 作 物	冷暖房 装 置	浜松市天竜区 二俣町二俣601			1 個		3,522,005	R6. 7. 1 ～ R19. 6.30	NTT・TCリ ース株式会社 静岡支店	特別教室 空 調
小 計						4 個		9,448,090			
合 計								9,465,941			

借 地 借 家 等 調

(春野校舎)

(令和7年7月31日現在)

整理番号	区分	種 別	所 在 地	地 目		数量又は面積	借 料		契約期間	所有者又は契約者氏名	用 途
				台帳	現 況		単 価	年 額			
1	土地	給水 管地	浜松市天竜区 春野町領家 32-1 ~ 66-5		道路	m 127.80	円 免除	円 免除	H29. 4. 1 ~ R9. 3.31	浜松市長	給水管 埋 設 (占用許可)
2	土地	給水 管地	浜松市天竜区 春野町領家 太田206-3		道路	m 26.50		免除	H29. 4. 1 ~ R9. 3.31	浜松市長	給水管 埋 設 (占用許可)
3	土地	給水 管地	浜松市天竜区 春野町堀之内		道路	m 123.50		免除	H29. 4. 1 ~ R9. 3.31	浜松市長	給水管 埋 設 (占用許可)
4	土地	給水 管地	浜松市天竜区 春野町領家 62		用水路	m 1.20		免除	R7. 4. 1 ~ R12. 3.31	浜松市長	給水管 埋 設 (占用許可)
5	土地	給水 管地	浜松市天竜区 春野町領家 59		用水路	m 0.80		免除	R7. 4. 1 ~ R12. 3.31	浜松市長	給水管 埋 設 (占用許可)
6	土地	給水 管地	浜松市天竜区 春野町領家 65-1		用水路	m 1.20		免除	R7. 4. 1 ~ R12. 3.31	浜松市長	給水管 埋 設 (占用許可)
7	土地	給水 管地	浜松市天竜区 春野町領家 160-2		用水路	m 12.30		免除	R7. 4. 1 ~ R12. 3.31	浜松市長	給水管 埋 設 (占用許可)
小 計						m 293.30		0			
8	建物	倉庫 建	浜松市天竜区 春野町堀之内 284	倉庫	鉄骨造 鉄板葺 平屋建	m ² 40.56 40.56		無償	R6. 4. 1 ~ R11. 3.31	天竜高等学 校春野校舎 後援会長	倉庫
9	建物	倉庫 建	浜松市天竜区 春野町堀之内 284	車庫	鉄骨造 スレート葺 平屋建	m ² 36.00 36.00		無償	R7. 4. 1 ~ R12. 3.31	天竜高等学 校春野校舎 後援会長	車庫
小 計						m ² 76.56 76.56		0			
10	工作物	雑工作物	浜松市天竜区 春野町堀之内 284		ポール型 時計	個 1		無償	R6. 4. 1 ~ R11. 3.31	天竜高等学 校春野校舎 後援会長	ポール型 時計
11	工作物	雑工作物	浜松市天竜区 春野町堀之内 284		国旗 掲揚柱	個 1		無償	R6. 4. 1 ~ R11. 3.31	天竜高等学 校春野校舎 後援会長	国旗 掲揚柱
12	工作物	冷暖 房置	浜松市天竜区 春野町堀之内 284			個 1		1,422,262	R3. 7. 1 ~ R16. 6.30	三井住 友 ファイナンス &リース株式 会社	普通教室 空調
13	工作物	冷暖 房置	浜松市天竜区 春野町堀之内 284			個 1		1,832,226	R6. 7. 1 ~ R19. 6.30	NTT・T Cリース株 式会社 静 岡支店	特別教室 空調
小 計						個 4		3,254,488			
合 計								3,254,488			

事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調

(令和7年度)

(令和7年7月31日現在)

区分	事業名 又は 契約名	内 容	契約額	(契約額の年度別内訳)					
				6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
長期継続契約	警備業務 委託契約	警報機器に よる警備業務 (契約日) R6.9.20	円 4,389,000	円 438,900	円 877,800	円 877,800	円 877,800	円 877,800	円 438,900
	電子複写機 賃貸借契約	電子複写機 4台の賃借 及び使用 (契約日) R6.7.19	5,029,640	718,520	1,077,780	1,077,780	1,077,780	1,077,780	

行政財産貸付・使用許可調

(本校)

(令和7年7月31日現在)

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は積 面	貸付料又は 使用料		貸付又は 使用許可 期	貸付又は使用許可を 受けた者の氏名	貸付・使用 許可目的
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	学校敷地	浜松市 天竜区 二俣町二俣 597-1	学校敷地	学校敷地	本柱 2 本 支線 3 条	1,500	7,500	R7. 4. 1 ~ R12. 3. 31	中部電力パワーグリッド(株)浜北営業所 配電建設グループ長	電力供給 (電柱敷地)
2	土地	学校敷地	浜松市 天竜区 二俣町二俣 530-1	学校敷地	学校敷地	支線 1 条	1,500	1,500	R7. 4. 1 ~ R12. 3. 31	中部電力パワーグリッド(株)浜北営業所 配電建設グループ長	電力供給 (電柱敷地)
3	土地	演習林地	浜松市 天竜区 山東字大沢 23-2	山林	山林	本柱 5 本 (支線 6条)	1,210	6,050	R7. 4. 1 ~ R12. 3. 31	中部電力パワーグリッド(株)浜北営業所 配電建設グループ長	電力供給 (電柱敷地)
4	土地	演習林地	浜松市 天竜区 山東字大沢 23-2	山林	山林	38.80 m ²	1,210	29,040	R6. 4. 1 ~ R11. 3. 31	中部電力 パワーグリッド(株) 執行役員用地部長	電力供給 (鉄塔敷地)
5	土地	学校敷地	浜松市 天竜区 二俣町二俣 597-1	学校敷地	学校敷地	本柱 2 本 支線 4 条	1,500	9,000	R6. 4. 1 ~ R11. 3. 31	西日本電信電話(株) 静岡支店長	電気通信 線 路
6	土地	学校敷地	浜松市 天竜区 二俣町二俣 630-5	学校敷地	学校敷地	ケーブル 1 本 (本柱 1本) (支線 1条)	870	870	R6. 4. 1 ~ R11. 3. 31	西日本電信電話(株) 静岡支店長	電気通信 線 路
7	土地	演習林地	浜松市 天竜区 山東字大沢 23-2	山林	山林	本柱 1 本 支線 5 条	-	免除	R5. 4. 1 ~ R10. 3. 31	西日本電信電話(株) 静岡支店長	電気通信 線 路
8	土地	学校敷地	浜松市 天竜区 二俣町二俣 601	学校敷地	学校敷地	0.60 m ²	-	免除	R4. 4. 1 ~ R9. 3. 31	浜松市長	避難地標識 設 置
9	物建	事務所建	浜松市 天竜区 二俣町二俣 601	体育館SRC 2階建		0.04 m ²	-	免除	R4. 4. 1 ~ R9. 3. 31	浜松市長	災害時特設 公衆電話用 端子箱設置
10	物建	事務所建	浜松市 天竜区 二俣町二俣 601	本館S造 4階建		0.26 m ²	-	免除	R4. 4. 1 ~ R9. 3. 31	浜松市長	同報無線機 戸別受信機 設 置
11	土地	学校敷地	浜松市 天竜区 二俣町二俣 601	学校敷地	学校敷地	7.40 m ²	-	免除	R4. 4. 1 ~ R9. 3. 31	浜松市長	防災倉庫 設 置
12	物建	事務所建	浜松市 天竜区 二俣町二俣 601	本館S造 4階建		0.63 m ²	-	免除	R6. 4. 1 ~ R11. 3. 31	浜松市長	地域防災 無線設置
13	土地	学校敷地	浜松市 天竜区 二俣町二俣 530-1	学校敷地	学校敷地	581.91 m ²	-	免除	R7. 4. 1 ~ R12. 3. 31	静岡県立 天竜高等学校 同窓会長	生活館兼 同窓会館 設 置
14	土地	学校敷地	浜松市 天竜区 二俣町二俣 530-1	学校敷地	学校敷地	28.00 m	-	免除	R7. 4. 1 ~ R12. 3. 31	静岡県立 天竜高等学校 同窓会長	下水道 設 置

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は積面	貸付料又は使用料		貸付又は使用許可期	貸付又は使用許可を受けた者の氏名	貸付・使用許可目的
				台帳	現況		単価	年額			
15	土地	学校敷地	浜松市天竜区二俣町二俣601	学校敷地	学校敷地	29.28 m ²	-	免除	R7. 4. 1 ~ R12. 3.31	静岡県立天竜高等学校PTA会長	タッグアウト設置
16	建物	事務所建	浜松市天竜区二俣町二俣601	本館S造4階建		33.14 m ²	-	免除	R6. 4. 1 ~ R9. 3.31	静岡県立天竜高等学校PTA会長	購買室設置
17	土地	学校敷地	浜松市天竜区二俣町二俣601	学校敷地	学校敷地	12.50 m ²	-	免除	R7. 4. 1 ~ R12. 3.31	静岡県立天竜高等学校PTA会長	団体職員通勤用車両駐車場所
	建物	事務所建	浜松市天竜区二俣町二俣601	本館S造4階建		3.30 m ²	-	免除	R7. 4. 1 ~ R12. 3.31	静岡県立天竜高等学校PTA会長	団体職員執務場所
18	建物	事務所建	浜松市天竜区二俣町二俣601	生徒昇降室棟S造2階建		2.00 m ²	-	31,470	R7. 4. 1 ~ R8. 3.31	静岡県立天竜高等学校PTA会長	自動販売機設置
19	土地	学校敷地	浜松市天竜区二俣町二俣601	学校敷地	学校敷地	2.00 m ²	-	651,000	R5. 4. 1 ~ R8. 3.31	サントリービバレッジソリューション(株)	飲料用自動販売機及び回収ボックス設置
20	土地	学校敷地	浜松市天竜区二俣町二俣196-2	学校敷地	学校敷地	本柱2 本 支柱1 本 支線3 条	1,500	9,000	R4. 4. 1 ~ R9. 3.31	中部電力パワーグリッド(株)浜北営業所長	電柱等設置
21	土地	学校敷地	浜松市天竜区二俣町二俣196-2	学校敷地	学校敷地	本柱6 本 支柱2 本 支線7 条	1,500	22,500	R6. 4. 1 ~ R11. 3.31	西日本電信電話(株)静岡支店長	電柱等設置
22	土地	学校敷地	浜松市天竜区二俣町二俣196-2	学校敷地	学校敷地	1.21 m ²	-	380	R7. 4. 1 ~ R10. 3.31	西日本電信電話(株)静岡支店長	公衆電話室設置
23	土地	学校敷地	浜松市天竜区二俣町二俣196-2	学校敷地	学校敷地	0.81 m ²	-	免除	R7. 4. 1 ~ R8. 3.31	国土地理院中部地方測量部長	二等水準点設置
24	土地	学校敷地	浜松市天竜区二俣町二俣196-2	学校敷地	学校敷地	42.00 m ²	-	免除	R7. 4. 1 ~ R12. 3.31	静岡県立天竜高等学校PTA会長	防球ネット設置
25	土地	学校敷地	浜松市天竜区二俣町二俣196-2	学校敷地	学校敷地	81.61 m ²	-	免除	R7. 4. 1 ~ R12. 3.31	静岡県立天竜高等学校PTA会長	クラブ部室設置
26	土地	学校敷地	浜松市天竜区二俣町二俣196-2	学校敷地	学校敷地	62.64 m ²	-	免除	R7. 4. 1 ~ R12. 3.31	静岡県立天竜高等学校野球部父母の会会長	投球練習場敷地
27	土地	公衆用道路・用悪水路	浜松市天竜区二俣町二俣196-2	公衆用道路・用悪水路	公衆用道路・用悪水路	597.98 m ²	-	免除	R6. 4. 1 ~ R11. 3.31	浜松市長	道路敷地水路敷地

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は積面	貸付料又は使用料		貸付又は使用許可期間	貸付又は使用許可を受けた者の氏名	貸付・使用許可目的
				台帳	現況		単価	年額			
28	土地	公衆用道路・用恵水路	浜松市天竜区二俣町二俣261	公衆用道路・用恵水路	公衆用道路・用恵水路	126.99 m ²	-	免除	R7. 4. 1 ~ R10. 3.31	浜松市長	道路敷地 水路敷地
29	土地	学校敷地	浜松市天竜区二俣町二俣601	学校敷地	学校敷地	15.00 m ²	-	免除	R7. 4. 1 ~ R8. 3.31	浜松市河川管理者	土のう設置
30	物土	事務所建	浜松市天竜区二俣町二俣196-2	柔剣道場S造 1階建		677.25 m ²	-	免除	R7. 4. 1 ~ R8. 3.31	危機管理部 危機対策課長	新型コロナウイルス感染症対策に係る休業・時短要請協力金、安心・安全認証(飲食店)、認証制度促進事業費補助金の関連書類保管
31	地建	学校敷地	浜松市天竜区二俣町二俣601	学校敷地	学校敷地	12.50 m ²	-	免除	R7. 5. 7 ~ R7.10.30	静岡県立天竜高等学校 PTA会長	団体職員 通勤用車両 駐車場所
	物土	事務所建	浜松市天竜区二俣町二俣601	本館S造 4階建		3.30 m ²	-	免除	R7. 5. 7 ~ R7.10.30	静岡県立天竜高等学校 PTA会長	団体職員 執務場所
32	工物	困障	浜松市天竜区二俣町二俣601			2.50 m ²	-	免除	R7. 6.20 ~ R7. 7.25	天竜区選挙管理委員会 委員長	選挙ポスター 掲示場設置
合計								768,310			

行政財産貸付・使用許可調

(春野校舎)

(令和7年7月31日現在)

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は積面	貸付料又は使用料		貸付又は使用許可期間	貸付又は使用許可を受けた者の氏名	貸付・使用許可目的
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	学校敷地	浜松市天竜区春野町堀之内284	学校敷地	学校敷地	支線 3 条	1,500	4,500	R3. 4. 1 ~ R8. 3. 31	西日本電信電話(株)静岡支店長	電力供給(電柱敷地)
2	土地	学校敷地	浜松市天竜区春野町堀之内284	学校敷地	学校敷地	本柱 2 本 支線 1 条	1,500	4,500	R4. 4. 1 ~ R9. 3. 31	中部電力パワーグリッド(株) 浜北営業所長	電力供給(電柱敷地)
3	土地	学校敷地	浜松市天竜区春野町堀之内284	学校敷地	学校敷地	10.83 m ²	-	免除	R7. 4. 1 ~ R12. 3. 31	静岡県立天竜高等学校春野校舎同窓会長	校碑敷地
4	土地	学校敷地	浜松市天竜区春野町堀之内284	学校敷地	学校敷地	36.00 m ²	-	免除	R7. 4. 1 ~ R12. 3. 31	静岡県立天竜高等学校春野校舎後援会長	車庫敷地
5	土地	学校敷地	浜松市天竜区春野町堀之内284	学校敷地	学校敷地	0.42 m ²	-	免除	R7. 4. 1 ~ R12. 3. 31	静岡県立天竜高等学校春野校舎後援会長	時計敷地
6	土地	学校敷地	浜松市天竜区春野町堀之内284	学校敷地	学校敷地	40.56 m ²	-	免除	R7. 4. 1 ~ R12. 3. 31	静岡県立天竜高等学校春野校舎後援会長	倉庫敷地
7	土地	学校敷地	浜松市天竜区春野町堀之内284	学校敷地	学校敷地	2.76 m ²	-	免除	R7. 4. 1 ~ R12. 3. 31	静岡県立天竜高等学校春野校舎後援会長	国旗掲揚柱敷地
8	土地	学校敷地	浜松市天竜区春野町堀之内284	学校敷地	学校敷地	4.16 m ²	-	免除	R7. 4. 1 ~ R12. 3. 31	静岡県立天竜高等学校春野校舎同窓会長	校訓碑敷地
9	建物	事務所建	浜松市天竜区春野町堀之内284	セミナーハウス	W 2階建	1.89 m ²	-	免除	R7. 4. 1 ~ R8. 3. 31	浜松市長	防災資材置場
10	建物	事務所建	浜松市天竜区春野町堀之内284	校舎	R C 4階建	3.30 m ²	-	免除	R5. 4. 1 ~ R8. 3. 31	静岡県立天竜高等学校春野校舎PTA会長	団体職員執務場所
		学校敷地		学校敷地	12.50 m ²	団体職員通勤用車両駐車場					
11	建物	事務所建	浜松市天竜区春野町堀之内284	校舎	R C 4階建	1.00 m ²	-	免除	R5. 4. 1 ~ R8. 3. 31	静岡県立天竜高等学校春野校舎PTA会長	パン販売
12	土地	学校敷地	浜松市天竜区春野町堀之内284	学校敷地	学校敷地	2.00 m ²	-	104,500	R6. 4. 1 ~ R9. 3. 31	(株)ガイドーピバレッジ静岡	飲料用自動販売機設置
13	土地	学校敷地	浜松市天竜区春野町堀之内284	学校敷地	学校敷地	電柱 1 本 支線 3 本	-	6,000	R5.10. 1 ~ R10. 9. 30	西日本電信電話(株)静岡支店長	電力供給(電柱敷地)
合計								119,500			

普通財産・借受財産等貸付調

(本校)

(令和7年7月31日現在)

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	貸付料又は使用料		貸付又は使用許可期間	貸付又は使用許可を受けた者の氏名	貸付・使用許可的 使用目的
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	公衆用道路・用悪水路	浜松市天竜区二俣町二俣261-3他	公衆用道路・用悪水路	公衆用道路・用悪水路	126.99 m ²	-	円 無償	7.4.1 ~ 10.3.31	浜松市長	道路敷地 水路敷地
合計								0			

備品・図書調

所属 0000221188 県立高校・中学校 天竜高等学校

区分	令和 6年 3月31日 現在	増		減		令和 7年 3月31日 現在
		数量	購入価格 (円)	数量	売却価格 (円)	
01-01 机類	11	(0) 0	0	(0) 0	0	11
01-02 台類	94	(0) 0	0	(0) 1	0	93
01-03 いす類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
01-04 収納保管庫類	86	(0) 0	0	(0) 1	0	85
01-05 印刷機器類	6	(0) 0	0	(0) 1	0	5
01-07 書類整理器具類	7	(0) 1	379,500	(0) 0	0	8
01-10 印判類	5	(0) 1	30,800	(0) 0	0	6
01-11 照明器具類	1	(0) 0	0	(0) 1	0	0
01-12 寝具類	16	(0) 0	0	(0) 0	0	16
01-13 厨房器具類	15	(0) 0	0	(0) 0	0	15
01-14 冷暖房器具類	11	(0) 0	0	(0) 0	0	11
01-15 電話器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
01-99 その他の庁用器具類	12	(2) 2	0	(0) 0	0	14
02-01 情報処理機器類	388	(4) 5	99,000	(0) 31	7,810	362
02-02 情報伝達機器類	20	(0) 0	0	(0) 0	0	20
02-03 再生機器類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
03-01 撮影機器類	4	(0) 0	0	(0) 1	0	3
03-02 観察・観測用光学機器類	20	(0) 1	173,800	(0) 4	0	17
03-03 視覚用再生等機器類	25	(0) 0	0	(0) 0	0	25

備品・図書調

所属 0000221188 県立高校・中学校 天竜高等学校

区 分	令和 6年 3月31日 現在	増		減		令和 7年 3月31日 現在
		数 量	購 入 価 格 (円)	数 量	売 却 価 格 (円)	
03-04 媒体関連機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
04-01 診療・診断用機器類	8	(0) 0	0	(0) 1	0	7
04-02 衛生検査用機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
04-03 看護用機器類	26	(0) 0	0	(0) 0	0	26
04-04 調剤用機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
04-99 その他の医療衛生機器類	6	(0) 0	0	(0) 0	0	6
05-01 強度（物性）試験計測機器類	13	(0) 0	0	(0) 0	0	13
05-02 波動・熱試験計測機器類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
05-03 電気試験計測機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
05-04 分析化学機器類	21	(0) 0	0	(0) 1	0	20
05-05 生物化学機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
05-06 環境化学機器類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
05-07 測量機器類	38	(0) 0	0	(0) 0	0	38
05-08 度量衡測定機器類	6	(0) 0	0	(0) 0	0	6
05-09 天体気象観測機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
05-10 身体測定用機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
05-99 その他の試験計測機器類	25	(0) 0	0	(0) 2	0	23
06-01 建設鉱山用機器類	9	(0) 0	0	(0) 2	0	7
06-02 金属加工用機器類	6	(0) 0	0	(0) 0	0	6

備品・図書調

(令和 6年度)

所属 0000221188 県立高校・中学校 天竜高等学校

区分	令和 6年 3月31日 現在	増		減		令和 7年 3月31日 現在
		数量	購入価格 (円)	数量	売却価格 (円)	
06-03 繊維染色縫製機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
06-04 電気電子機器類	15	(0) 1	134,200	(0) 0	0	16
06-05 自動車整備用機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
06-06 炉・ボイラー加熱装置類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
06-09 木工用機器類	30	(0) 0	0	(0) 1	0	29
06-99 その他の諸機器類	11	(0) 0	0	(0) 0	0	11
07-01 農産用機器類	21	(0) 0	0	(0) 2	0	19
07-02 林産用機器類	19	(0) 0	0	(0) 1	0	18
07-03 畜産用機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
08-01 車両類	8	(0) 0	0	(0) 0	0	8
08-02 船舶類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
08-99 その他の船車類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
09-01 標本美術品	12	(0) 0	0	(0) 0	0	12
10-03 社会用器具類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
10-05 生物物理化学用器具類	5	(0) 0	0	(0) 1	0	4
10-06 家庭科用器具類	27	(0) 0	0	(0) 0	0	27
10-07 音楽用器具類	40	(0) 1	297,000	(0) 1	0	40
10-08 芸術用器具類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
10-10 地学天文学用器具類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1

備品・図書調

(令和7年度)

所属 0000221188 県立高校・中学校 天竜高等学校

区分	令和7年 3月31日 現在	増		減		令和7年 7月31日 現在
		数量	購入価格 (円)	数量	売却価格 (円)	
01-01 机類	11	(0) 0	0	(0) 0	0	11
01-02 台類	93	(0) 0	0	(0) 0	0	93
01-03 いす類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
01-04 収納保管庫類	85	(0) 0	0	(0) 0	0	85
01-05 印刷機器類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
01-07 書類整理器具類	8	(0) 0	0	(0) 0	0	8
01-10 印判類	6	(0) 0	0	(0) 0	0	6
01-12 寝具類	16	(0) 0	0	(0) 0	0	16
01-13 厨房器具類	15	(0) 0	0	(0) 1	0	14
01-14 冷暖房器具類	11	(0) 0	0	(0) 0	0	11
01-15 電話器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
01-99 その他の庁用器具類	14	(0) 0	0	(0) 0	0	14
02-01 情報処理機器類	362	(0) 0	0	(0) 0	0	362
02-02 情報伝達機器類	20	(0) 0	0	(0) 0	0	20
02-03 再生機器類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
03-01 撮影機器類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
03-02 観察・観測用光学機器類	17	(0) 0	0	(0) 0	0	17
03-03 視覚用再生等機器類	25	(0) 1	238,700	(0) 1	0	25
03-04 媒体関連機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1

備品・図書調

所属 0000221188 県立高校・中学校 天竜高等学校

区分	令和 7年 3月31日 現在	増		減		令和 7年 7月31日 現在
		数量	購入価格 (円)	数量	売却価格 (円)	
04-01 診療・診断用機器類	7	(0) 0	0	(0) 0	0	7
04-02 衛生検査用機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
04-03 看護用機器類	26	(0) 0	0	(0) 0	0	26
04-04 調剤用機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
04-99 その他の医療衛生機器類	6	(0) 0	0	(0) 0	0	6
05-01 強度(物性)試験計測機器類	13	(0) 0	0	(0) 0	0	13
05-02 波動・熱試験計測機器類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
05-03 電気試験計測機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
05-04 分析化学機器類	20	(0) 0	0	(0) 0	0	20
05-05 生物化学機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
05-06 環境化学機器類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
05-07 測量機器類	38	(0) 0	0	(0) 0	0	38
05-08 度量衡測定機器類	6	(0) 0	0	(0) 0	0	6
05-09 天体気象観測機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
05-10 身体測定用機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
05-99 その他の試験計測機器類	23	(0) 0	0	(0) 0	0	23
06-01 建設鉱山用機器類	7	(0) 0	0	(0) 0	0	7
06-02 金属加工用機器類	6	(0) 0	0	(0) 0	0	6
06-03 繊維染色縫製機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1

備品・図書調

(令和7年度)

所属 0000221188 県立高校・中学校 天竜高等学校

区分	令和7年 3月31日 現在	増		減		令和7年 7月31日 現在
		数量	購入価格 (円)	数量	売却価格 (円)	
06-04 電気電子機器類	16	(0) 0	0	(0) 0	0	16
06-05 自動車整備用機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
06-06 炉・ボイラー加熱装置類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
06-09 木工用機器類	29	(0) 0	0	(0) 0	0	29
06-99 その他の諸機器類	11	(0) 0	0	(0) 0	0	11
07-01 農産用機器類	19	(0) 0	0	(0) 0	0	19
07-02 林産用機器類	18	(0) 0	0	(0) 0	0	18
07-03 畜産用機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
08-01 車両類	8	(0) 0	0	(0) 0	0	8
08-02 船舶類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
08-99 その他の船車類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
09-01 標本美術品	12	(0) 0	0	(0) 0	0	12
10-03 社会用器具類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
10-05 生物物理化学用器具類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
10-06 家庭科用器具類	27	(0) 0	0	(0) 0	0	27
10-07 音楽用器具類	40	(0) 0	0	(0) 0	0	40
10-08 芸術用器具類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
10-10 地学天文学用器具類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
10-12 体育保健用器具類	38	(0) 0	0	(0) 1	0	37

備品・図書調

(令和7年度)

所属 0000221188 県立高校・中学校 天竜高等学校

区分	令和7年 3月31日 現在	増		減		令和7年 7月31日 現在
		数量	購入価格 (円)	数量	売却価格 (円)	
10-99 その他の教育用器具類	10	(0) 0	0	(0) 0	0	10
12-01 雑機器	17	(0) 0	0	(0) 0	0	17
50-01 図書	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
計	1,130	(0) 1	238,700	(0) 3	0	1,128

主 要 備 品 調

(令和7年7月31日現在)

整理 番号	区 分		品 名・規 格	利用状況	購入年月	購入金額
	大・中	小				
1	2 - 1	パーソナルコンピュータ (一式)	CG実習装置 (サーバー、教師用PC 2台、生徒用PC 20台、提示 用PC、カラーレーザープリンター 2台、インクジェット プリンター 2台、大判プリンター、3Dプリンター 4台、 スキャナ 2台、3Dスキャナ、音響装置、撮影装置、 ネットワーク機器、ソフトウェア、什器)	美術科 CG実習 週5日 150日/年	H26.3	29,190,000 円
2	2 - 1	パーソナルコンピュータ (一式)	パーソナルコンピュータ(一式) プレゼンテーション実習用ICT機器 (サーバー、教師用PC 1台、生徒用PC 24台、液晶プロジェク ター、書画カメラ、ブルーレイプレーヤー、モノクロレーザープ リンター、カラーレーザー複合機、大判プリンター、電子黒 板、LAN機器、教材提示装置、ソフトウェア)	商業科 文書作成 表計算 週3日 90日/年	R4.3	17,105,000
3	2 - 1	パーソナルコンピュータ (一式)	パーソナルコンピュータ(一式) 建築コンピューターシステム機器 (サーバー、教師用PC 1台、生徒用PC 21台、レー ザープリンター、大判複合機、コンピューターデスク、 ネットワーク機器、センターモニター、ソフトウェア)	工業科 製図実習 週3日 90日/年	R4.2	16,148,000
4	7 - 2	切削用機器	製材機 (帯鋸、全自動送材車、搬送装置外)	農業科 建築デザイン系列 製材実習 週3回 90日/年	H10.3	16,006,500
5	6 - 9	木工用機械	数値制御工作機 NCルータ (小型NCルータ、集塵機、PC、レーザー 複合機、ソフトウェア)	農業科 木材加工実習 週1日 30日/年	H26.3	15,057,000
6	5 - 1	構造物機器	耐圧試験機 最大能力 2000kN (200t)	建築デザイン系列 耐震壁の実験 木材圧縮曲げ実験 月2回 10日/年	H8.3	13,905,000
7	5 - 1	材料試験・計測機器	木材万能試験機 (本体、レーザープリンター、実体顕微 鏡、PC、液晶プロジェクター、作業台、保 管庫)	農業科 木材加工実習 週2回 60日/年	H26.3	12,012,000
8	6 - 9	木工用機械	木工用機械 木材加工プラント (バンドソー、手押しかんな盤、自動一面 飽盤、横切り丸鋸盤、ボール盤、塗装 ブース、研磨機)	農業科 建築デザイン系列 木材加工実習 毎日使用 200日/年	H7.3	11,845,000
9	2 - 1	パーソナルコンピュータ (一式)	自動設計製図装置 CAD装置 (サーバー、教師用PC、生徒用PC 20 台、レーザープリンター、カラーレーザー 複合機、大判プリンター、提示装置、LAN 機器、ソフトウェア)	建築デザイン系列 住宅設計等設計 授業 文書作成 週3~4回 90日/年	H26.3	10,437,000
10	2 - 1	パーソナルコンピュータ (一式)	パーソナルコンピュータ(一式) (サーバー、教師用PC、生徒用PC40台、 提示装置、ソフトウェア)	商業科 農業科 文書作成 表計算 週4日 120日/年	R2.3	9,900,000

整理 番号	区 分		品 名・規 格	利用状況	購入年月	購入金額
	大・中	小				
11	5 - 4	培養機器	培養機器 組織培養装置 (クリーンベンチ、乾熱滅菌器、恒温乾燥器、蒸留水製造装置、恒温恒湿槽、人工気象室)	農業科 バイオの実験 栽培 0日/年	S63.3	9,382,000
12	6 - 99	その他の諸機器	モデリングマシン (モデリングマシン、集塵機、コンプレッサ、CAMソフト、エンドミルセット、ツールホルダー、プルボルト、コレットセット、加工スタートアップキットセット)	美術科 美術デザイン 月1日 10日/年	H26.3	8,316,000
13	5 - 1	圧縮機器	万能材料試験機 UH-1000kNX	建築デザイン系列 コンクリートの破壊 材料の強度試験装置 2学期6回 6日/年	R5.8	7,744,000
14	7 - 1	環境整備用機器	集塵装置 (集塵機、エアーコンプレッサー、空気タンク)	農業科 製材実習の 木くず収集装置 週3回 90日/年	H10.3	7,245,000
15	5 - 1	材料試験・計測機器	万能材料試験機制御装置 UH-1000kNX	建築デザイン系列 コンクリートの破壊 材料の強度試験装置 2学期6回 6日/年	R5.8	7,062,000
16	8 - 1	特殊自動車	バックホー	農業科 農業土木実習 週1日 30日/年	H26.3	5,754,000
17	6 - 9	木工用機械	レーザー加工機 Fusion Edge24	農業科 木材加工実習 月2回 20日/年	R5.8	5,742,000
18	7 - 1	育成用機器	複合環境制御システム (アーチハウス、複合環境制御システム)	農業科 きのこの栽培 実験 週1日 30日/年	R4.2	5,324,000
19	5 - 99	恒温(湿)維持器(槽)	恒温水供給装置 MO-200CF	建築デザイン系列 建築材料実習 15日/回 1回/年	R5.8	4,642,000
20	2 - 1	パーソナルコンピュータ (一式)	タブレット端末一式 iPad 80台 充電保管庫 電源タップ 2台	教科全般 授業 週1日 30日/年	H31.3	3,708,180

動物管理状況調

(令和6年度)

品名	区分 品 種	6年3月31日 現 在 頭 羽 数	増				減				頭羽数 差 引	摘 要	
			分類換	購入	管理換 その他	計	分類換 売 却		死亡	管理換 その他			計
							出生	購入					
チャボ	桂チャボ	1				0					0	1	雌1
	猩々桂チャボ	1				0					0	1	雌1
	黒チャボ	1				0					0	1	雌1
	赤笹チャボ	1				0					0	1	雌1
	チャボ 計	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
ウサギ	ネザーランド	1				0					0	1	雌1
	ロップイヤー	1		1		1					0	2	雌2
	ライオン	1				0					0	1	雌1
	ウサギ 計	3	0	1	0	1	0	0	0	0	0	4	
計		7	0	1	0	1	0	0	0	0	0	8	

「令和7年度中増減なし」

生産物受払調

(令和7年7月31日現在)

区分	品名(単位)	丸太(間伐) (m ³)				きのこ(生椎茸) (kg)				きのこ(乾燥椎茸) (kg)			
		5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b - a	5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b - a	5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b - a
	伐採面積(ha) (ア)												
受 高	前年度繰越高									8.759	12.939	28.539	4.180
	本年度生産高(イ)	9.209	0.240	0.24	8.969	98.909	100.920	7.05	2.011	14.007	15.600	0.85	1.593
	計	9.209	0.240	0.24	8.969	98.909	100.920	7.05	2.011	22.766	28.539	29.389	5.773
	単位数量(イ/ア)												
	同前年比(%) (b - a) / a × 100												
払 高	売払数量	9.209	0.240	0.24	8.969							13.5	
	売払金額	円 66,085	円 6,890	円 6,360	円 59,195	円	円	円	円	円	円	円 75,000	円
	非売品 数量					98.909	100.920	7.05	2.011				
	分類換 管理換 その他												
	計	9.209	0.240	0.24	8.969	98.909	100.920	7.05	2.011	9.827		17.279	9.827
	残高又は繰越数量									12.939	28.539	12.110	15.60
	摘要												

区分	品名(単位)	ペチュニア(花寄せ植え) (鉢)				計			
		5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b - a	5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b - a
	伐採面積(ha) (ア)								
受 高	前年度繰越高								
	本年度生産高(イ)	51	51	51					
	計	51	51	51					
	単位数量(イ/ア)								
	同前年比(%) (b - a) / a × 100								
払 高	売払数量	51	51	51					
	売払金額	円 112,200	円 112,200	円 112,200	円	円 178,285	円 119,090	円 193,560	円 59,195
	非売品 数量								
	分類換 管理換 その他								
	計	51	51	51					
	残高又は繰越数量								
	摘要								

職 員 調

(本校)

(令和 7 年 7 月 31 日現在)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	校長	渡邊 二三彦			年 月	
2	副校長	井上 千春			年 月	
3	教頭	須山 訓秀	国語		年 月	
4	事務長	大津 久美子			年 月	
5	教諭	山本 浩司	商業		年 月	
6	教諭	和田 弘光	理科		年 月	
7	教諭	新美 剛	保健体育		年 月	
8	教諭	大場 久義	農業		年 月	
9	教諭	吉田 満奈美	農業		年 月	
10	教諭	井戸 英之	英語		年 月	
11	教諭	赤堀 真也	保健体育		年 月	
12	教諭	飯塚 伸	音楽		年 月	
13	教諭	大庭 千歳	福祉		年 月	
14	教諭	鳥居 有子	国語		年 月	
15	教諭	井口 裕紀	地歴・公民		年 月	
16	教諭	竹田 恵美	国語		年 月	
17	教諭	松村 歩	美術		年 月	
18	教諭	鈴木 亮次	地歴・公民		年 月	
19	教諭	勝浦 千香子	家庭		年 月	
20	教諭	水野 朝弘	地歴・公民		年 月	
21	教諭	深川 彰久	数学		年 月	
22	教諭	粟飯原 匡伸	国語		年 月	
23	教諭	三浦 弘匡	英語		年 月	
24	教諭	藤井 邦光	工業		年 月	
25	教諭	船 芳	福祉		年 月	
26	教諭	岡本 紘典	農業		年 月	
27	教諭	山口 詔正	福祉		年 月	
28	教諭	柴田 康佑	農業		年 月	
29	教諭	小池 朋子	英語		年 月	
30	教諭	久保田 真緒	家庭		年 月	
31	教諭	袴田 悠介	商業		年 月	
32	教諭	武山 真也	工業		年 月	
33	教諭	後藤 優太	数学		年 月	
34	教諭	渡部 里夢	英語		年 月	
35	教諭	外岡 秀隆	農業		年 月	
36	教諭	鈴木 優太	理科		年 月	

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
37	教諭	渡辺 祥太	保健体育		年 月	
38	教諭	新井 悠可	数 学		年 月	
39	教諭	座馬 健人	保健体育		年 月	
40	教諭	杉山 翔	数 学		年 月	
41	教諭	青木 宏祐	国 語		年 月	
42	教諭	加茂 芳彦	理 科		年 月	
43	教諭	野沢 雅彦	美 術		年 月	
44	教諭	森田 昌明	商 業		年 月	
45	養護教諭	高田 裕美	養 護		年 月	
46	主任実習助手	芦川 正幸	理 科		年 月	
47	主任実習助手	鈴木 貴之	農 業		年 月	
48	実習助手	村井 壮	農 業		年 月	
49	実習助手	向中野 麗奈	農 業		年 月	
50	実習助手	中安 花の	福 祉		年 月	
51	実習助手	横澤 尚寿	農 業		年 月	
52	主 査	杉本 亜紀子	人事給与		年 月	
53	主 任	小木 健吾	会 計		年 月	
54	主 任	大石 真二	管 財		年 月	
55	主任技能員	内山 明久	演習林管理		年 月	
56	主任技能員	平野 充二	演習林管理		年 月	
平均年数					3 年 10 月	

臨時職員等

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	教諭(任)	金 沢 由 美	英 語		年 月	
2	教諭(臨)	伊 藤 壽 之	工 業		年 月	
3	教諭(臨)	永 岩 文 子	ジヨブ・ホ-ト		年 月	
4	教諭(臨)	大 竹 み どり	福 祉		年 月	
5	主事(臨)	松 本 志 保 里	庶 務		年 月	
6	外国語指導講師	Garduno Reyna Alicia	英 語		年 月	
7	非常勤講師	森 田 忍	保 健 体 育		年 月	
8	非常勤講師	野 口 め ぐ み	家 庭		年 月	
9	非常勤講師	青 鳶 孝 芳	情 報		年 月	
10	非常勤講師	渥 美 佐 代 子	書 道		年 月	
11	非常勤講師	袴 田 早 百 合	美 術		年 月	
12	非常勤講師	佐 藤 知 佳	美 術		年 月	
13	非常勤講師	鈴 木 三 枝 子	福 祉		年 月	
14	非常勤講師	木 田 敦 子	福 祉		年 月	
15	非常勤講師	山 田 真 弓	農 業		年 月	
16	非常勤講師	永 田 昌 和	工 業 実 習		年 月	
17	非常勤労務職員	吉 林 彦 好	用 務		年 月	
18	非常勤労務職員	大 林 弘	用 務		年 月	
19	非常勤労務職員	大 栗 健 市	演 習 林 管 理		年 月	
20	非常勤労務職員	渡 辺 圭 子	生 産 物 管 理		年 月	
21	部活動指導員	梅 林 弘	陸 上 競 技 部		年 月	
22	スクールカウンセラー	高 柳 弘 行	カ ウ ン セ リ ン グ *		年 月	
23	スクールカウンセラー	松 山 新 吾	カ ウ ン セ リ ン グ *		年 月	
24	スクールカウンセラー	矢 野 智	カ ウ ン セ リ ン グ *		年 月	
25	学 校 医 健康管理医	太 田 邦 明	内 科		年 月	
26	学 校 医	加 藤 勝	眼 科		年 月	
27	学 校 医	清 水 敏 也	耳 鼻 科		年 月	
28	学 校 歯 科 医	中 野 知 成	歯 科		年 月	
29	学 校 薬 剤 師	西 山 雅 善	薬 剤 師		年 月	

職 員 調

(春野校舎)

(令和 7 年 7 月 31 日現在)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	副校長	上山 万里子			年 月	
2	教頭	池谷 恵一	美術		年 月	
3	教諭	小池 秀彦	商業		年 月	
4	教諭	池村 弘樹	保健体育		年 月	
5	教諭	伊藤 嘉孝	地歴公民		年 月	
6	教諭	竹内 睦子	英語		年 月	
7	教諭	竹内 伸悟	国語		年 月	
8	教諭	チョードリー-真夢	英語		年 月	
9	教諭	戸嶋 優	理科		年 月	
10	教諭	榛葉 遼河	数学		年 月	
11	教諭	石川美和子	国語		年 月	
12	教諭	佐藤 和久	保健体育		年 月	
13	養護教諭	青柳 敦代	養護		年 月	
14	養護教諭	岡田 優香	養護		年 月	
15	主査	小長谷 泰右	会計		年 月	
16	主事	奥野 将伍	管財庶務		年 月	
17	主任技能員	梅林 良明	用務		年 月	
平均年数					3 年 1 月	

臨時職員等

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	教諭(臨)	瀧口 好美	家庭		年 月	
2	教諭(兼)	吉田 満奈美	農業		年 月	
3	教諭(兼)	大竹 みどり	福祉		年 月	
4	非常勤講師	天野 誠二	地歴公民		年 月	
5	非常勤講師	河田 仁志	数学		年 月	
6	非常勤講師	鈴木 光一	理科		年 月	
7	非常勤講師	鈴木 絢子	音楽		年 月	
8	非常勤講師	佐藤 知佳	美術		年 月	
9	非常勤講師	渥美 佐代子	書道		年 月	
10	非常勤講師	倉田 秀之	商業		年 月	
11	非常勤講師	藤田 則吉	自立活動		年 月	
12	非常勤講師	竹内 明美	自立活動		年 月	
13	非常勤嘱託員	鈴木 唯奈	庶務		年 月	
14	非常勤労務職員	太田 晴文	用務		年 月	
15	スクールカウンセラー	今泉 千夏子	カウンセリング		年 月	
16	学校医 健康管理医	小澤 靖	内科・耳鼻科・眼科		年 月	
17	学校歯科医	浅倉 達也	歯科		年 月	
18	学校薬剤師	松本 健	薬剤師		年 月	

職 員 の 年 齢 調

(本校)

(令和 7 年 7 月 31 日現在)

年 齢	人 員	摘 要
20歳未満	0人	
20歳以上30歳未満	9	
30歳以上40歳未満	7	
40歳以上50歳未満	17	
50歳以上56歳未満	8	
56歳以上61歳未満	8	
61歳以上	7	暫定再任用職員6名
計	56	平均年齢 45 . 8 歳

職 員 の 年 齢 調

(春野校舎)

(令和 7 年 7 月 31 日現在)

年 齢	人 員	摘 要
20歳未満	0人	
20歳以上30歳未満	3	
30歳以上40歳未満	4	
40歳以上50歳未満	2	
50歳以上56歳未満	4	
56歳以上61歳未満	0	
61歳以上	4	暫定再任用職員4名
計	17	平均年齢 46 . 1 歳

健康管理

1 6年度受診状況 (本校)

区 分	内 容
受 診 状 況	受診者数 58 人
	職員数 59 人
受 診 率	100.0 %
県平均受診率	100.0 %

(1)未受診の理由
育児休業のため

(春野校舎)

区 分	内 容
受 診 状 況	受診者数 17 人
	職員数 17 人
受 診 率	100.0 %
県平均受診率	100.0 %

2 7年度在籍者の健康管理区分結果 (本校、春野校舎)

健 康 管 理 区 分			人 数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。		0人
B 1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要 治 療	0人
B 2		要経過観察	0人
C 1	勤務をほぼ平常に行っていすが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要 治 療	0人
C 2		要経過観察	0人
D 1	平常の勤務でよい。	要 治 療	25(16)人
D 2		要経過観察	14(5)人
D 3		医 療 不 要	33(25)人
区 分 者 計			72(46)人
未区分者数			1人
合 計			73(46)人

(1)管理区分A～C 2 該当者
に対する措置状況

(2)未区分の理由

ア	産休・育休	1人
イ	新規採用	0人
ウ	自己都合による未受診	0人
エ	その他	0人